

人権に関する意識調査報告書

令和 6 年 3 月

赤 磐 市
赤磐市教育委員会

「人権に関する意識調査報告書」の刊行に当たって

赤磐市における人権教育・啓発の推進につきまして、平素より多大な御支援御協力をいただき、心より感謝いたしております。

「人権に関する意識調査報告書」は、赤磐市人権教育・啓発推進計画の基本方針をより具体的に計画し推進させる際の有力な資料として、人権に関する市民意識の現状を把握し、今後の人権施策を総合的・効果的に推進する上での参考とするため実施した調査結果を取りまとめたものです。

この報告書を、皆様御自身のお考えを深めていただくきっかけにいただければ幸いです。

令和6年3月

赤磐市・赤磐市教育委員会

目 次

I 調査の概要

1	調査の目的	4
2	調査項目	4
3	調査方法	4
4	回収結果	4
5	回収の属性	4
6	報告書の見方	4

II 調査結果

1	人権全般に対する意識について	
(1)	基本的人権に関する知識	5
(2)	人権尊重社会に関する意識	6
(3)	回答者自身の人権に関する意識	7
(4)	将来が人権尊重社会になるかどうかに関する意識	8
(5)	差別や偏見に関する意識	9
(6)	人権の学習に関する意識	10
(7)	人権の学習を経験した回答者自身の変容	11
(8)	個人の考えや生き方の重視に関する意識	13
2	人権問題への対応について	
(1)	人権課題に対する関心	14
(2)	差別や人権侵害の経験	17
(3)	差別や人権侵害の内容	18
(4)	人権問題解決のための取り組みに関する意識	20
(5)	人権問題解決のための回答者自身の方策に関する意識	22
(6)	他の人の人権を尊重することの有無に関する意識	23
(7)	他の人の人権を侵害したことの有無に関する意識	24
(8)	人権を話題にすることの有無に関する意識	25
(9)	人権問題解決のための方策に関する意識	26
(10)	人権問題解決のための効果的な教育・啓発活動に関する意識	28
3	赤磐市の人権に対する取り組みについて	
(1)	赤磐市人権教育・啓発推進計画の周知度	30
(2)	赤磐市男女共同参画基本計画の周知度	31
(3)	赤磐市の実施する人権教育・啓発事業への参加の有無	32
(4)	赤磐市の実施する人権教育・啓発事業へ参加しなかった理由	33
(5)	市内全戸配布の人権カレンダー活用の有無	34
(6)	人権の作品募集・表彰式・作品展開催などに関する事業の周知度	35
(7)	人権尊重のために心がけるべき行動指針に関する意識	36
4	さまざまな人権課題の意識や考え方について	
(1)	女性に関する人権上の問題点	38

(2)	女性の人権を尊重するために必要な方策	40
(3)	子どもに関する人権上の問題点	42
(4)	子どもの人権を尊重するために必要な方策	44
(5)	高齢者に関する人権上の問題点	46
(6)	高齢者の人権を尊重するために必要な方策	48
(7)	障害のある人に関する人権上の問題点	50
(8)	障害のある人の人権を尊重するために必要な方策	52
(9)	同和問題に関する人権上の問題点	54
(10)	同和問題を解決するために必要な方策	56
(11)	外国人に関しての人権問題	58
(12)	多様な性に関しての人権問題	60
(13)	インターネットに関しての人権問題	62
5	その他	64

Ⅲ 資料編

1	人権に関する意識調査票	66
---	-------------	----

I 調査の概要

1 調査の目的

社会状況の急速な変化に伴って新たな人権課題が生まれ、市民の人権意識も変化していると考えられる。そこで、前回平成 30 年度の意識調査の結果と比較しながら、人権問題に関する市民の意識について状況を把握し、今後の人権施策を総合的・効果的に推進するための参考資料とする。

2 調査項目

- (1) 人権全般に対する意識について (8 問)
- (2) 人権問題への対応について (10 問)
- (3) 赤磐市の人権に対する取り組みについて (7 問)
- (4) さまざまな人権課題の意識や考え方について (13 問)
- (5) その他 (1 問)

3 調査方法

- (1) 調査地域 赤磐市全域
- (2) 調査対象 無作為に抽出した 18 歳以上の男女 2,200 人
- (3) 調査方法 郵送配付・郵送回収
- (4) 実施時期 令和 5 年 8 月 1 日～令和 5 年 8 月 31 日

4 回収結果

単位：人、%

調査票発送数	転居等による返却	実調査対象者数	有効回収者数	有効回収率
2,200	9	2,191	708	32.3

5 回収の属性

- (1) 性別 単位：人、%

性別	人数	割合
男性	317	44.8
女性	379	53.6
性別不明	12	1.6
計	708	100.0

- (2) 年齢別(令和 5 年 4 月 1 日現在) 単位：人、%

年齢別	発送人数	回収人数	回収割合
18～19 歳	100	9	1.3
20～29 歳	350	57	8.1
30～39 歳	350	98	13.8
40～49 歳	350	115	16.2
50～59 歳	350	108	15.3
60～69 歳	350	153	21.6
70 歳以上	350	168	23.7
年齢不明	-	0	0.0
計	2,200	708	100.0

6 報告書の見方

- (1) 表中に示した調査結果の数値の単位は人であり、回答率は%(太字)で示した。
- (2) 百分率の数値は小数点以下第 1 位を四捨五入しているため、全項目の回答率の合計や複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が 100%とならない場合がある。
- (3) 調査結果の表では年齢別では男女の合計を示している。グラフでは、男女別になっている。
また、前回(平成 30 年度)との比較は、グラフ上の全年齢の男女別のみで表示している。

Ⅱ 調査結果

1 人権全般に対する意識について

(1) 基本的人権に関する知識

問1 あなたは、基本的な人権は侵すことのできない永久の権利として憲法で保障されていることを知っていますか。

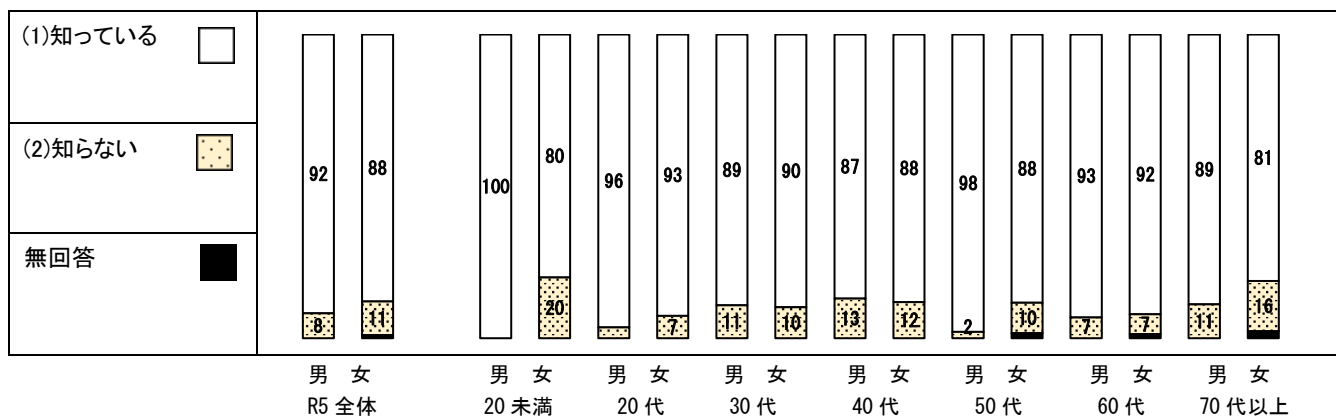
表1-1 基本的人権に関する知識

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) 知っている	634	90	291	92	333	88	10	83
(2) 知らない	70	10	26	8	42	11	2	17
無回答	4	1	0	0	4	1	0	0
計	708	100	317	100	379	100	12	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1) 知っている	8	89	53	93	88	90	101	88
(2) 知らない	1	11	4	7	10	10	14	12
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
計	9	100	57	100	98	100	115	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1) 知っている	100	93	141	92	143	85	0	0
(2) 知らない	7	6	11	7	23	14	0	0
無回答	1	1	1	1	2	1	0	0
計	108	100	153	100	168	100	0	0

図1-1

単位：%



基本的人権が憲法で保障されていることを知っている人の割合は 90%

基本的な人権が侵すことのできない永久の権利として憲法で保障されていることを知っている人は、どの年代層においても 80%を超えている。

年齢別で特徴的な差異はない。

(2) 人権尊重社会に関する意識

問 2 今の社会は、「人権」が尊重されている社会だと思いますか。

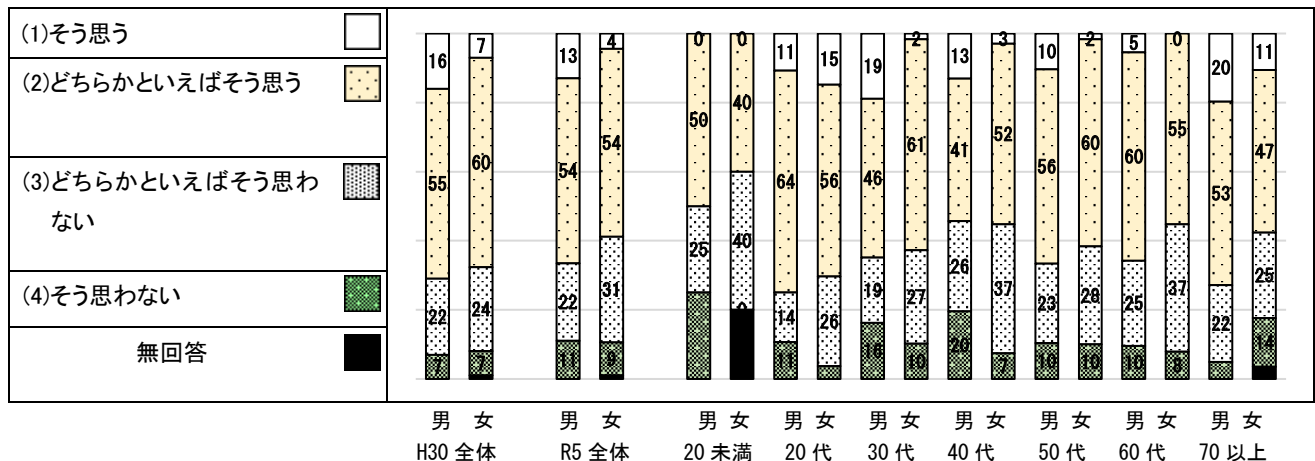
表 1-2 人権尊重社会に関する意識

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) そう思う	58	8	41	13	17	4	0	0
(2) どちらかといえばそう思う	382	54	170	54	206	54	6	50
(3) どちらかといえばそう思わない	189	27	71	22	116	31	2	17
(4) そう思わない	75	11	35	11	36	9	4	33
無回答	4	1	0	0	4	1	0	0
計	708	100	317	100	379	100	12	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1) そう思う	0	0	7	12	8	8	8	7
(2) どちらかといえばそう思う	4	44	33	58	54	55	56	49
(3) どちらかといえばそう思わない	3	33	11	19	24	24	37	32
(4) そう思わない	1	11	6	11	12	12	14	12
無回答	1	11	0	0	0	0	0	0
計	9	100	57	100	98	100	115	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1) そう思う	6	6	4	3	25	15	0	0
(2) どちらかといえばそう思う	63	58	87	57	85	51	0	0
(3) どちらかといえばそう思わない	28	26	47	31	39	23	0	0
(4) そう思わない	11	10	15	10	16	10	0	0
無回答	0	0	0	0	3	2	0	0
計	108	100	153	100	168	100	0	0

図 1-2

単位：%



現在を、人権尊重社会ととらえている人の割合は 62%

今の社会を、「人権」が尊重されている社会だととらえている人の割合は、「そう思う」(8%)と「どちらかといえばそう思う」(54%)とを合わせて 62%で、前回の 69%に比べて減少傾向を示している。

年齢別では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合を合計すると、18~19 歳では 44%、40 代で 56%、60 代で 60%と全体平均を下回る結果となっている。それに対し、20~29 歳では 70%となっている。

(3) 回答者自身の人権に関する意識

問3 あなたは、「人権」について、ふだんどのように思っていますか。

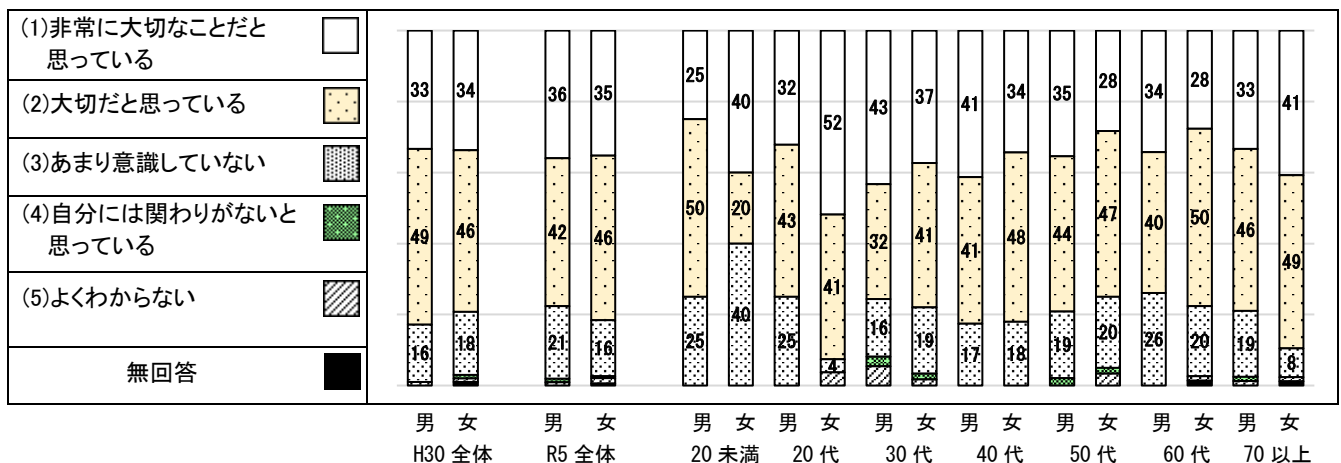
表1-3 回答者本人の人権に関する意識

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) 非常に大切なことだと思っている	252	36	114	36	134	35	4	33
(2) 大切だと思っている。	314	44	132	42	176	46	6	50
(3) あまり意識していない	127	18	65	21	60	16	2	17
(4) 自分には関わりがないと思っている	5	1	3	1	2	1	0	0
(5) よくわからない	9	1	3	1	6	2	0	0
無回答	2	0	0	0	2	1	0	0
計	709	100	317	100	380	100	12	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1) 非常に大切なことだと思っている	3	33	23	40	38	39	43	37
(2) 大切だと思っている。	3	33	24	42	38	39	52	45
(3) あまり意識していない	3	33	9	16	17	17	20	17
(4) 自分には関わりがないと思っている	0	0	0	0	2	2	0	0
(5) よくわからない	0	0	1	2	3	3	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
計	9	100	57	100	98	100	115	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1) 非常に大切なことだと思っている	34	31	49	32	62	37	0	0
(2) 大切だと思っている。	49	45	68	44	80	47	0	0
(3) あまり意識していない	21	19	34	22	23	14	0	0
(4) 自分には関わりがないと思っている	2	2	0	0	1	1	0	0
(5) よくわからない	2	2	1	1	2	1	0	0
無回答	0	0	1	1	1	1	0	0
計	108	100	153	100	169	100	0	0

図1-3

単位：%



平素から、人権を大切なことだと思っている人の割合は80%

平素から、人権について大切なことだと思っている人の割合は、「非常に大切なことだと思っている」(36%)と「大切だと思っている」(44%)との割合を合わせて、前回同様80%に達している。

人権について、大切なことだと思っている人の年齢別の割合では、「非常に大切なことだと思っている」と「大切だと思っている」との割合を合わせて、20～29歳、40～49歳と70歳以上の三世代で80%を超える高い割合となっている。

(3) 将来が人権尊重社会になるかどうかに関する意識

問4 子どもたちが支える未来は、「人権」が尊重される明るい社会になっていくと思いますか。

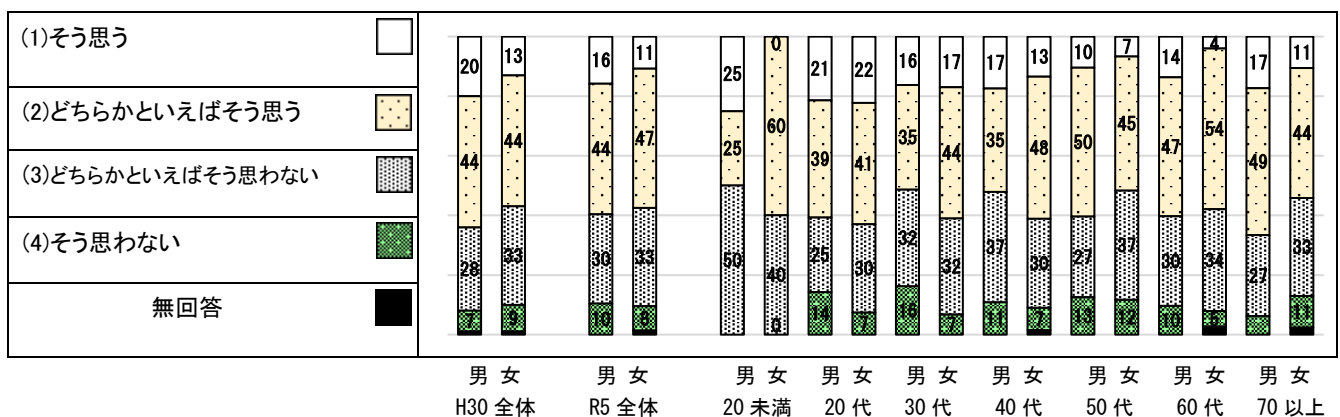
表1-4 将来が人権尊重社会になるかどうかに関する意識

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) そう思う	91	13	50	16	41	11	0	0
(2) どちらかといえばそう思う	322	45	139	44	177	47	6	50
(3) どちらかといえばそう思わない	224	32	95	30	125	33	4	33
(4) そう思わない	66	9	33	10	31	8	2	17
無回答	5	1	0	0	5	1	0	0
計	708	100	317	100	379	100	12	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1) そう思う	1	11	12	21	16	16	17	15
(2) どちらかといえばそう思う	4	44	22	39	41	42	49	43
(3) どちらかといえばそう思わない	4	44	16	28	31	32	38	33
(4) そう思わない	0	0	7	12	10	10	10	9
無回答	0	0	0	0	0	0	1	1
計	9	100	57	100	98	100	115	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1) そう思う	9	8	13	8	23	14	0	0
(2) どちらかといえばそう思う	51	47	76	50	79	47	0	0
(3) どちらかといえばそう思わない	35	32	50	33	50	30	0	0
(4) そう思わない	13	12	12	8	14	8	0	0
無回答	0	0	2	1	2	1	0	0
計	108	100	153	100	168	100	0	0

図1-4

単位：%



将来が人権尊重社会になると考えている人の割合は 58%

「そう思う」(13%)と「どちらかといえばそう思う」(45%)と回答した人の割合を合わせて 58%(前回 60%)の人が、将来は人権尊重社会になると考えている。性別では、「そう思う」(男性 16%・女性 11%)の割合は男性の方が高いが、「どちらかといえばそう思う」(男性 44%・女性 47%)の項目は、女性の割合が高くなっている。女性の割合が男性を上回ったのは、これまでの傾向と変わったところである。

将来は人権尊重社会になると考えている人の年齢別の割合では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」人の割合を合わせて、どの年代でも 50%以上である。

(5) 差別や偏見に関する意識

問 5 差別や偏見はなくなるとよく言われますが、どう思いますか。

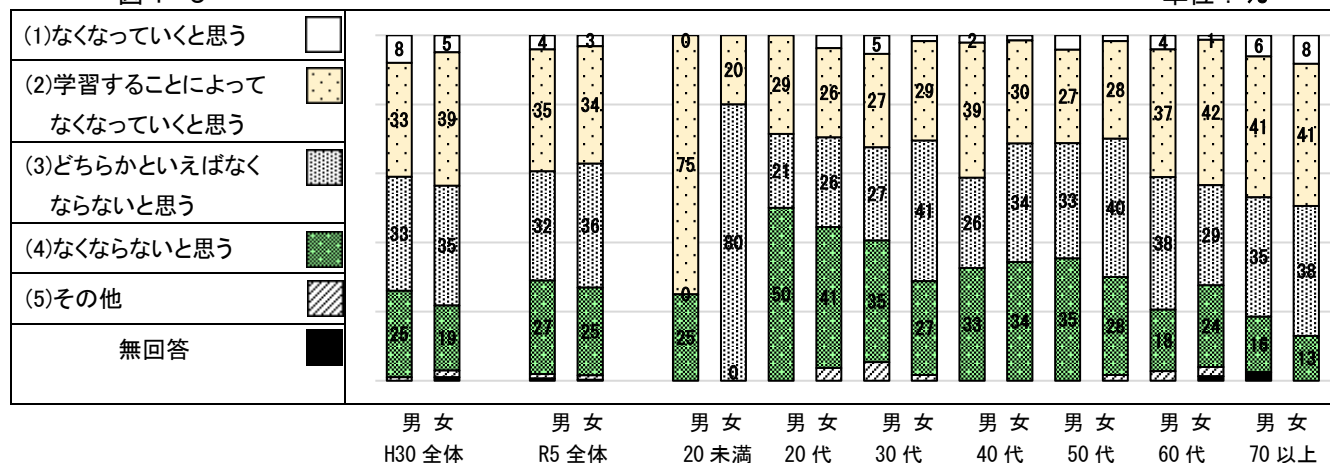
表 1-5 差別や偏見に関する意識

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) なくなっていくと思う	25	4	13	4	12	3	0	0
(2) 学習することによってなくなっていくと思う	244	34	112	35	129	34	3	25
(3) どちらかといえばなくならないと思う	241	34	100	32	136	36	5	42
(4) なくならないと思う	186	26	86	27	96	25	4	33
(5) その他	9	1	4	1	5	1	0	0
無回答	3	0	2	1	1	0	0	0
計	708	100	317	100	379	100	12	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1) なくなっていくと思う	0	0	1	2	3	3	2	2
(2) 学習することによってなくなっていくと思う	4	44	15	26	28	29	39	34
(3) どちらかといえばなくならないと思う	4	44	14	25	35	36	35	30
(4) なくならないと思う	1	11	26	46	29	30	39	34
(5) その他	0	0	1	2	3	3	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
計	9	100	57	100	98	100	115	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1) なくなっていくと思う	3	3	4	3	12	7	0	0
(2) 学習することによってなくなっていくと思う	30	28	59	39	69	41	0	0
(3) どちらかといえばなくならないと思う	40	37	52	34	61	36	0	0
(4) なくならないと思う	34	31	33	22	24	14	0	0
(5) その他	1	1	4	3	0	0	0	0
無回答	0	0	1	1	2	1	0	0
計	108	100	153	100	168	100	0	0

図 1-5

単位：%



差別や偏見はなくなると考えている人の割合は 38%
 なくならないと考えている人の割合は 60%

差別や偏見について「なくなっていくと思う」(4%)と「学習することによってなくなっていくと思う」(34%)との項目を合わせた割合は 38%であり、前回の 42%から減少傾向にある。

「なくなっていくと思う」と「学習することによってなくなっていくと思う」の項目を合わせた、年齢別の割合では、70 歳以上で 48%の人が差別や偏見はなくなっていくと考えている。しかし、前回に比べれば全体的に減少している。

反対に、「どちらかといえばなくならないと思う」と「なくならないと思う」の項目を合わせた割合が全体で 50%以上となっている。

(6) 人権の学習に関する意識

問 6 人権に関する学習をどう思いますか。

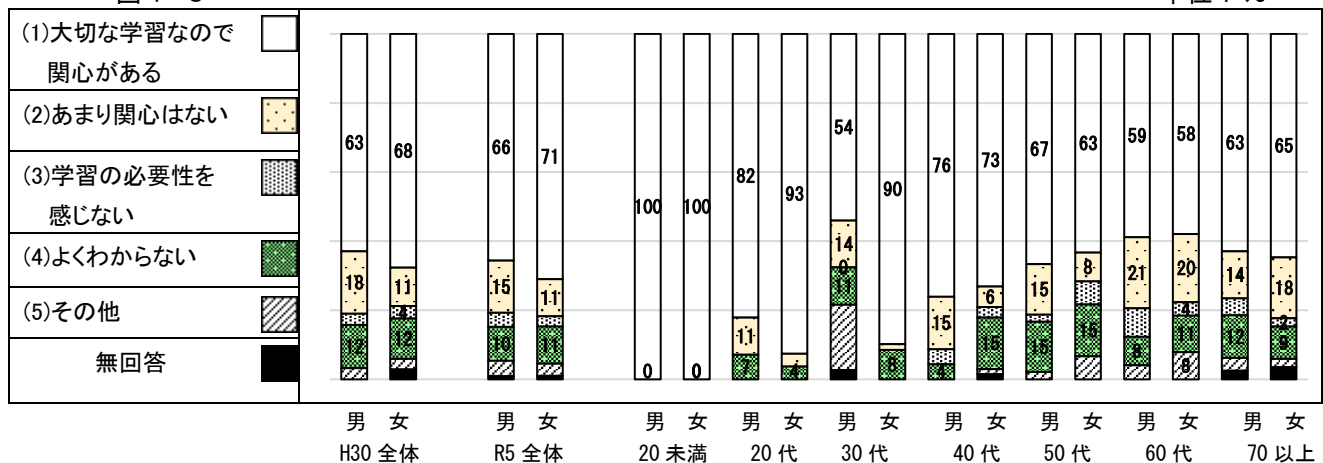
表 1-6 人権の学習に関する意識

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) 大切な学習なので関心がある	484	68	208	66	269	71	7	58
(2) あまり関心はない	91	13	48	15	41	11	2	17
(3) 学習の必要性を感じない	26	4	13	4	11	3	2	17
(4) よくわからない	73	10	31	10	41	11	1	8
(5) その他	27	4	14	4	13	3	0	0
無回答	7	1	3	1	4	1	0	0
計	708	100	317	100	379	100	12	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1) 大切な学習なので関心がある	9	100	49	86	75	77	85	74
(2) あまり関心はない	0	0	4	7	6	6	12	10
(3) 学習の必要性を感じない	0	0	0	0	0	0	4	3
(4) よくわからない	0	0	4	7	9	9	12	10
(5) その他	0	0	0	0	7	7	1	1
無回答	0	0	0	0	1	1	1	1
計	9	100	57	100	98	100	115	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1) 大切な学習なので関心がある	70	65	90	59	106	63	0	0
(2) あまり関心はない	12	11	30	20	27	16	0	0
(3) 学習の必要性を感じない	5	5	10	7	7	4	0	0
(4) よくわからない	16	15	14	9	18	11	0	0
(5) その他	5	5	9	6	5	3	0	0
無回答	0	0	0	0	5	3	0	0
計	108	100	153	100	168	100	0	0

図 1-6

単位：%



人権の学習は大切なので関心があるとする人の割合は 68%

人権に関する学習を、「大切な学習なので関心がある」と回答する人の割合は 68% となり、前回の 66% を若干上回った。年代別では、若い世代ほど関心が高くなっている。性別では、「大切な学習なので関心がある」とする割合が、20～30 代の世代で男性よりも女性の方が多くことが特徴的である。

前問の差別や偏見について「どちらかといえばなくならないと思う」と「なくならないと思う」の項目を合わせた割合が 71% で最も高い 20 代が、人権に関する学習を、「大切な学習なので関心がある」との回答が 86% と高い割合になっていることも特徴的である。

(7) 人権の学習を経験した回答者自身の変容

問7 今まで学習してきた人権学習を通じて、あなた自身に何か変化がありましたか。
該当するものすべてを選んでください。

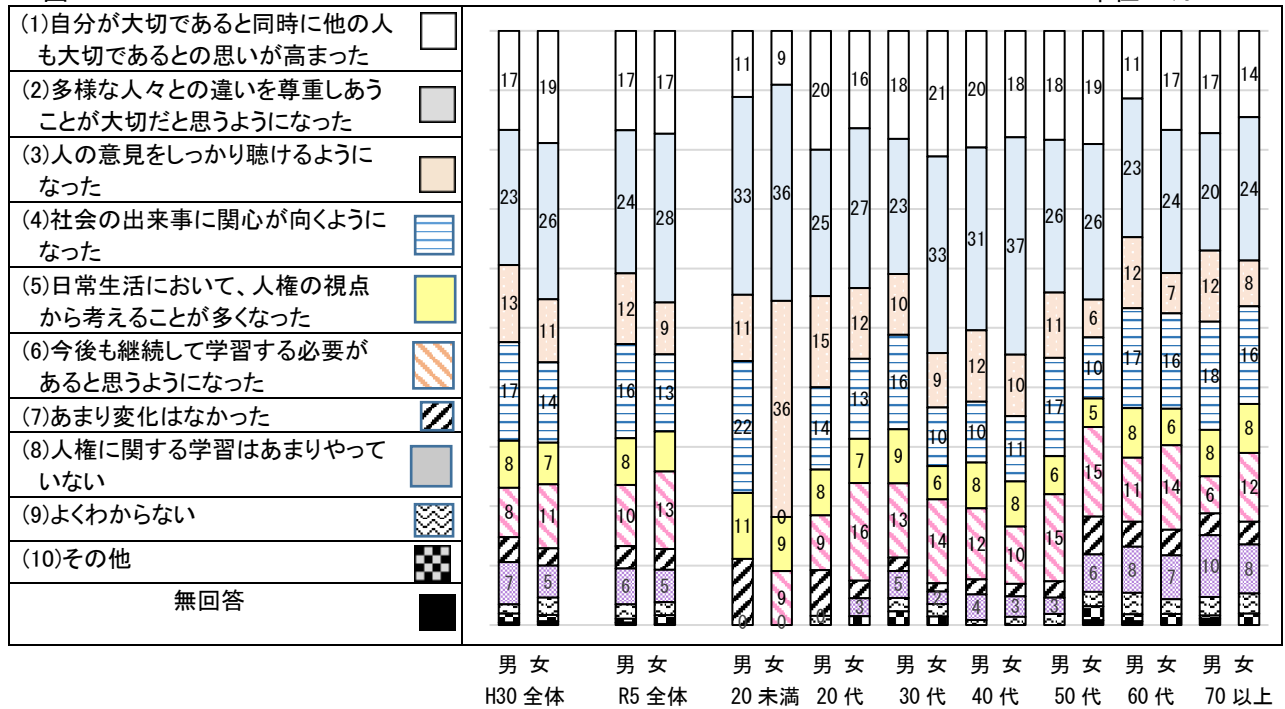
表1-7 人権の学習を経験した回答者自身の変容

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) 自分が大切であると同時に他の人も大切であるとの思いが高まった	279	17	125	17	149	17	5	17
(2) 多様な人々との違いを尊重しあうことが大切だと思うようになった	432	26	180	24	244	28	8	27
(3) 人の意見をしっかり聴けるようになった	169	10	89	12	75	9	5	17
(4) 社会の出来事に関心が向くようになった	233	14	118	16	112	13	3	10
(5) 日常生活において、人権の視点から考えることが多くなった	121	7	59	8	58	7	4	13
(6) 今後も継続して学習する必要があると思うようになった	189	12	77	10	112	13	0	0
(7) あまり変化はなかった	59	4	28	4	30	3	1	3
(8) 人権に関する学習はあまりやっていない	95	6	45	6	47	5	3	10
(9) よくわからない	38	2	18	2	19	2	1	3
(10) その他	18	1	5	1	13	2	0	0
無回答	4	0	3	0	1	0	0	0
計	1637	100	747	100	860	100	30	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1) 自分が大切であると同時に他の人も大切であるとの思いが高まった	2	10	25	18	48	20	49	18
(2) 多様な人々との違いを尊重しあうことが大切だと思うようになった	7	35	36	26	68	29	90	34
(3) 人の意見をしっかり聴けるようになった	5	25	19	14	24	10	29	11
(4) 社会の出来事に関心が向くようになった	2	10	19	14	30	13	28	11
(5) 日常生活において、人権の視点から考えることが多くなった	2	10	11	8	17	7	20	8
(6) 今後も継続して学習する必要があると思うようになった	1	5	17	12	31	13	28	11
(7) あまり変化はなかった	1	5	7	5	4	2	7	3
(8) 人権に関する学習はあまりやっていない	0	0	2	1	7	3	11	4
(9) よくわからない	0	0	1	1	5	2	3	1
(10) その他	0	0	1	1	4	2	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
計	20	100	138	100	238	100	265	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1) 自分が大切であると同時に他の人も大切であるとの思いが高まった	44	19	47	14	64	16	0	0
(2) 多様な人々との違いを尊重しあうことが大切だと思うようになった	61	26	81	24	89	22	0	0
(3) 人の意見をしっかり聴けるようになった	20	9	32	9	40	10	0	0
(4) 社会の出来事に関心が向くようになった	31	13	54	16	69	17	0	0
(5) 日常生活において、人権の視点から考えることが多くなった	13	6	26	8	32	8	0	0
(6) 今後も継続して学習する必要があると思うようになった	35	15	41	12	36	9	0	0
(7) あまり変化はなかった	11	5	14	4	15	4	0	0
(8) 人権に関する学習はあまりやっていない	11	5	26	8	38	9	0	0
(9) よくわからない	5	2	10	3	14	3	0	0
(10) その他	3	1	5	1	5	1	0	0
無回答	1	0	1	0	2	0	0	0
計	235	100	337	100	404	100	0	0

図 1-7

単位：％



人権の学習を通して、多様な人々との違いを尊重しあうことが大切だと思うようになった人の割合は 26%

これまでの人権の学習を振り返って、「多様な人々との違いを尊重しあうことが大切だと思うようになった」(26%) (前回 25%)と回答した人の割合が最も高く、次いで「自分が大切であると同時に他の人も大切であるとの思いが高まった」(17%) (前回 18%)、「社会の出来事に関心が向くようになった」(14%) (前回 15%)の順となっている。これらは前回と同じ順である。

年齢別に見ると、「多様な人々との違いを尊重しあうことが大切だと思うようになった」の項目では、18-19歳の回答が35%と最も高くなっているが、わずか1%の違いで40代の回答が34%となっている。前回この項目は、20代の割合が高くなっていたが、今回は40代の割合が高くなっている。

(8) 個人の考えや生き方の重視に関する意識

問 8 あなたの周りでは、個人の考え方や生き方が大切にされていると思いますか。

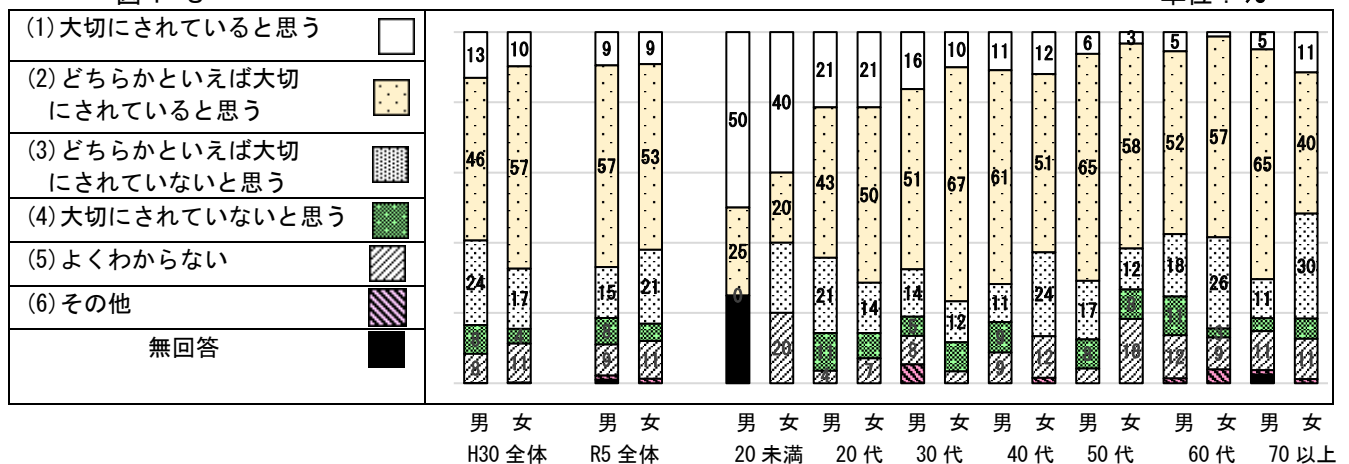
表 1-8 個人の考えや生き方の重視に関する意識

単位：人、%

全体・性別	全体	男性	女性	性別不明
(1)大切にされていると思う	65	9	30	9
(2)どちらかといえば大切にされていると思う	392	55	182	57
(3)どちらかといえば大切にされていないと思う	130	18	46	15
(4)大切にされていないと思う	45	6	24	8
(5)よくわからない	69	10	28	9
(6)その他	9	1	4	1
無回答	3	0	3	1
計	713	100	317	100
年齢別	18-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳
(1)大切にされていると思う	4	44	12	21
(2)どちらかといえば大切にされていると思う	2	22	27	47
(3)どちらかといえば大切にされていないと思う	1	11	10	17
(4)大切にされていないと思う	0	0	6	10
(5)よくわからない	1	11	3	5
(6)その他	0	0	0	2
無回答	1	11	0	0
計	9	100	58	100
年齢別	50-59 歳	60-69 歳	70 歳以上	年齢不明
(1)大切にされていると思う	5	5	5	3
(2)どちらかといえば大切にされていると思う	66	61	84	55
(3)どちらかといえば大切にされていないと思う	15	14	34	22
(4)大切にされていないと思う	9	8	11	7
(5)よくわからない	13	12	16	10
(6)その他	0	0	4	3
無回答	0	0	0	2
計	108	100	154	100

図 1-8

単位：%



周りで、個人の考え方や生き方が大切にされていると思っている人の割合は 64%

個人の考え方や生き方について、「大切にされていると思う」(9%)と「どちらかといえば大切にされていると思う」(55%)の回答を合わせて、64%(前回 63%)の人が重視されていると考えている。また、「どちらかといえば大切にされていないと思う」(18%)と「大切にされていないと思う」(6%)の項目の回答を合わせて、24%(前回 26%)の人が、自分の周りでは、個人の考え方や生き方が重視されていないと考えている。

2 人権問題への対応について

(1) 人権課題に対する関心

問 1 次の人権課題について、あなたの関心がある人権問題は何ですか。
該当するものをすべて選んでください。

表 2-1 人権課題に対する関心

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) 女性	246	7	88	6	155	8	3	7
(2) 子ども	315	9	121	8	190	10	4	9
(3) 高齢者	235	7	106	7	127	7	2	4
(4) 障害のある人	416	12	173	11	239	13	4	9
(5) 同和問題	135	4	59	4	74	4	2	4
(6) 外国人	130	4	70	4	59	3	1	2
(7) ハンセン病問題	83	2	40	3	42	2	1	2
(8) 患者等（エイズ・HIV感染）	73	2	38	2	34	2	1	2
(9) インターネットによる人権侵害	404	12	183	12	215	12	6	13
(10) プライバシーの侵害	243	7	110	7	128	7	5	11
(11) 消費生活上の問題	89	3	45	3	43	2	1	2
(12) 犯罪被害者等	154	4	77	5	75	4	2	4
(13) 刑を終えて出所した人	75	2	39	3	35	2	1	2
(14) 多様な性(体と心の性別に違和感がある人・性的指向)	253	7	96	6	155	8	2	4
(15) 帰国した中国残留邦人とその家族	31	1	24	2	7	0	0	0
(16) ホームレス（路上生活者）	78	2	42	3	36	2	0	0
(17) 北朝鮮当局による拉致の問題	161	5	85	5	71	4	5	11
(18) 自殺対策	175	5	75	5	96	5	4	9
(19) 人身取引	64	2	40	3	22	1	2	4
(20) アイヌの人々への偏見や差別	58	2	31	2	27	1	0	0
(21) その他	16	0	11	1	5	0	0	0
無回答	9	0	4	0	5	0	0	0
計	3443	100	1557	100	1840	100	46	100

年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1) 女性	5	9	22	9	48	9	43	8
(2) 子ども	3	5	25	10	65	12	63	12
(3) 高齢者	3	5	14	6	26	5	24	5
(4) 障害のある人	6	11	29	11	64	12	61	12
(5) 同和問題	2	4	6	2	14	3	15	3
(6) 外国人	3	5	15	6	25	5	17	3
(7) ハンセン病問題	1	2	7	3	12	2	6	1
(8) 患者等（エイズ・HIV感染）	2	4	8	3	13	2	9	2
(9) インターネットによる人権侵害	6	11	32	13	58	11	74	14
(10) プライバシーの侵害	4	7	16	6	36	7	48	9
(11) 消費生活上の問題	2	4	7	3	12	2	15	3
(12) 犯罪被害者等	2	4	16	6	21	4	18	3
(13) 刑を終えて出所した人	2	4	7	3	9	2	12	2
(14) 多様な性(体と心の性別に違和感がある人・性的指向)	3	5	22	9	48	9	51	10
(15) 帰国した中国残留邦人とその家族	0	0	1	0	5	1	4	1
(16) ホームレス（路上生活者）	5	9	4	2	7	1	10	2
(17) 北朝鮮当局による拉致の問題	2	4	5	2	12	2	13	2
(18) 自殺対策	1	2	15	6	33	6	27	5
(19) 人身取引	2	4	2	1	11	2	10	2
(20) アイヌの人々への偏見や差別	1	2	1	0	8	2	3	1
(21) その他	0	0	0	0	0	0	3	1
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
計	55	100	254	100	527	100	526	100

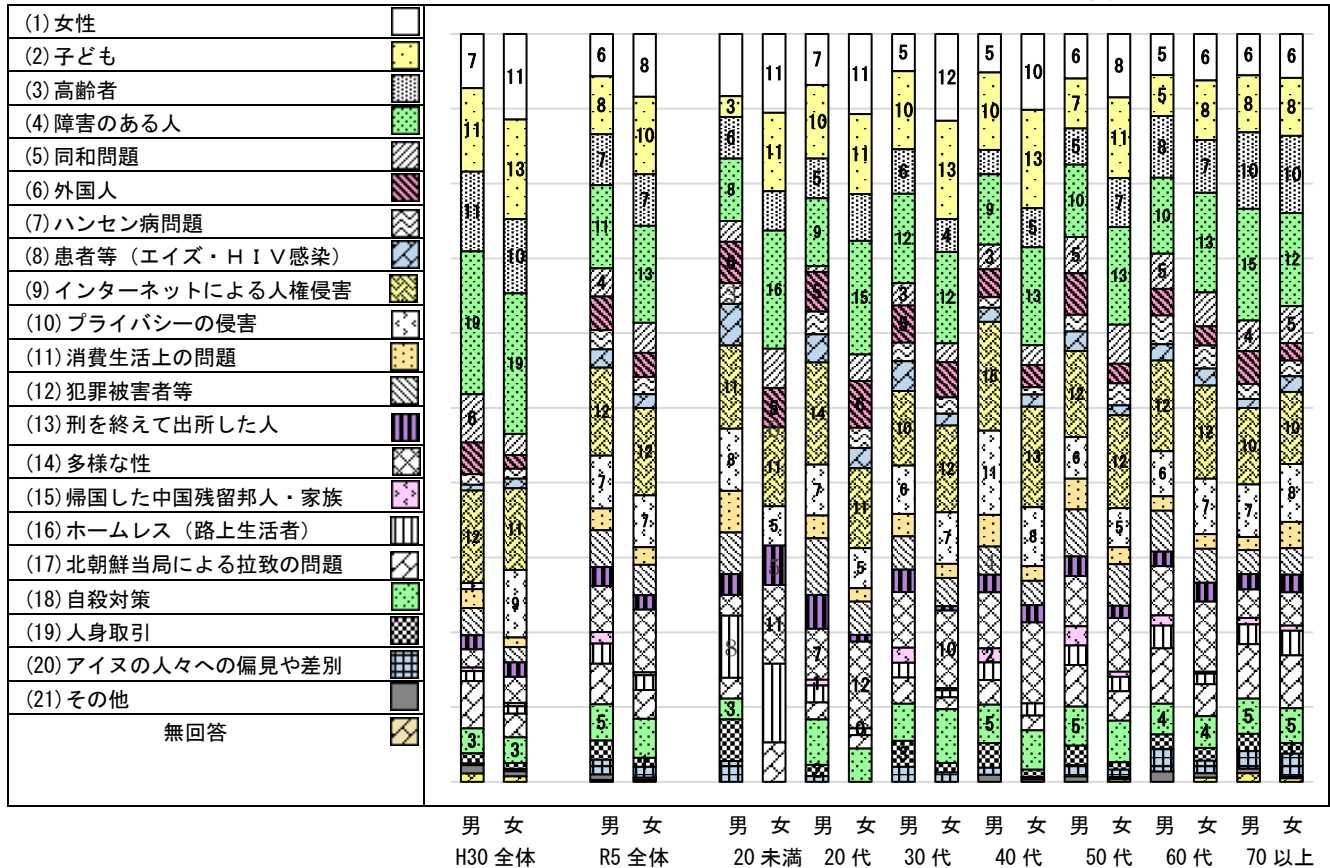
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1) 女性	42	7	42	6	44	6	0	0
(2) 子ども	51	9	49	7	59	8	0	0
(3) 高齢者	33	6	56	8	79	10	0	0
(4) 障害のある人	66	11	86	12	104	13	0	0
(5) 同和問題	29	5	34	5	35	5	0	0
(6) 外国人	23	4	22	3	25	3	0	0
(7) ハンセン病問題	15	3	26	4	16	2	0	0
(8) 患者等（エイズ・H I V感染）	11	2	17	2	13	2	0	0
(9) インターネットによる人権侵害	69	12	88	12	77	10	0	0
(10) プライバシーの侵害	31	5	51	7	57	7	0	0
(11) 消費生活上の問題	18	3	14	2	21	3	0	0
(12) 犯罪被害者等	34	6	36	5	27	3	0	0
(13) 刑を終えて出所した人	12	2	16	2	17	2	0	0
(14) 多様な性(体と心の性別に違和感がある人・性的指向)	40	7	57	8	32	4	0	0
(15) 帰国した中国残留邦人とその家族	9	2	6	1	6	1	0	0
(16) ホームレス（路上生活者）	13	2	16	2	23	3	0	0
(17) 北朝鮮当局による拉致の問題	27	5	46	6	56	7	0	0
(18) 自殺対策	31	5	32	4	36	5	0	0
(19) 人身取引	10	2	14	2	15	2	0	0
(20) アイヌの人々への偏見や差別	7	1	17	2	21	3	0	0
(21) その他	3	1	7	1	3	0	0	0
無回答	1	0	2	0	6	1	0	0
計	575	100	734	100	772	100	0	0

表 2-1-2 人権課題に対する関心

	1	2	3	4	5
全体	障害のある人・インターネット		子ども	女性・高齢者・プライバシー侵害・多様な性	
男性	インターネット	障害のある人	子ども	高齢者・プライバシー侵害	
女性	障害のある人	インターネット	子ども	女性・多様な性	
18-19 歳	障害のある人・インターネット		女性・ホームレス		プライバシー侵害
20-29 歳	インターネット	障害のある人	子ども	女性・多様な性	
30-39 歳	子ども・障害のある人		インターネット	女性・多様な性	
40-49 歳	インターネット	子ども・障害のある人		多様な性	プライバシー侵害
50-59 歳	インターネット	障害のある人	子ども	女性・多様な性	
60-69 歳	障害のある人・インターネット		高齢者・多様な性		子ども・プライバシー
70 歳以上	障害のある人	高齢者・インターネット		子ども	プライバシー・北朝鮮

図 2-1

単位：％



最も関心がある人権課題は「障害のある人」「インターネットによる人権侵害で 12%

人権課題に対する関心について、「障害のある人」と「インターネットによる人権侵害」と回答した人の割合が 12%(前回 18%)で最も高く、次いで「子ども」(9%)(前回 12%)、「女性」(7%)(前回 9%)、「高齢者」(7%)(前回 10%)「プライバシーの侵害」(7%)(前回 8%)「多様な性」(7%)(前回 4%)の順になっている。前回と大きく違うのは、「多様な性」の関心が高まっていることである。

性別で比較すると、「女性」(男性 6%・女性 8%)「子供」(男性 8%・女性 10%)「障害のある人」(男性 11%・女性 13%)「多様な性」(男性 6%・女性 8%)は、女性の関心が高く、総じて女性のほうが人権に対して関心が高くなっている。

年齢別で比較すると、前回の顕著なものとして、「外国人」に関心を示す人の割合が 20 代及び 20 歳未満の年齢の低い層が高く、30 代や 40 代の子育て世代が「子ども」に高い関心を示しており、高齢世代になるほど「高齢者」に関心が高くなっていたが、今回は年齢による顕著な傾向は見られない。

(2) 差別や人権侵害の経験

問2 あなたは差別や人権侵害を受けたと感じたことがありますか。

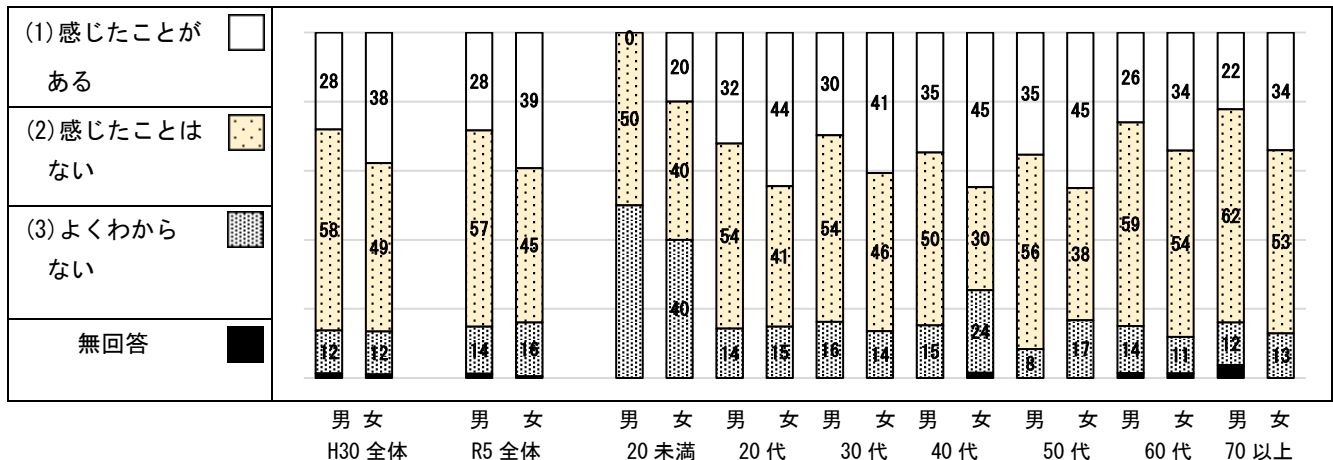
表2-2 差別や人権侵害の経験

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) 感じたことがある	248	35	90	28	149	39	9	75
(2) 感じたことはない	351	50	180	57	169	45	2	17
(3) よくわからない	103	15	43	14	59	16	1	8
無回答	6	1	4	1	2	1	0	0
計	708	100	317	100	379	100	12	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1) 感じたことがある	1	11	22	39	36	37	48	42
(2) 感じたことはない	4	44	26	46	48	49	43	37
(3) よくわからない	4	44	9	16	14	14	23	20
無回答	0	0	0	0	0	0	1	1
計	9	100	57	100	98	100	115	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1) 感じたことがある	44	41	49	32	48	29	0	0
(2) 感じたことはない	50	46	84	55	96	57	0	0
(3) よくわからない	14	13	18	12	21	13	0	0
無回答	0	0	2	1	3	2	0	0
計	108	100	153	100	168	100	0	0

図2-2

単位：%



差別を受けたり人権が侵害されたりしたと思ったことがある人の割合は 35%

差別や人権侵害の経験について、「感じたことはない」と回答した人の割合は 50%となっているものの、「感じたことがある」と回答した人は、35%(前回 33%)となっている。また、「感じたことがある」と回答した男女の割合は、前回の調査とほぼ同様で、男性が 28% (前回 28%)、女性 39% (前回 38%) と女性の割合が高くなっている。さらに、年齢別で、「感じたことがある」と回答した人は、40 代～50 代が 40%以上と高くなっている。

(3) 差別や人権侵害の内容

問3 問2で「感じたことがある」と回答された方は、どのようなことで人権が侵害されたと感じましたか。該当するものをすべて選んでください。

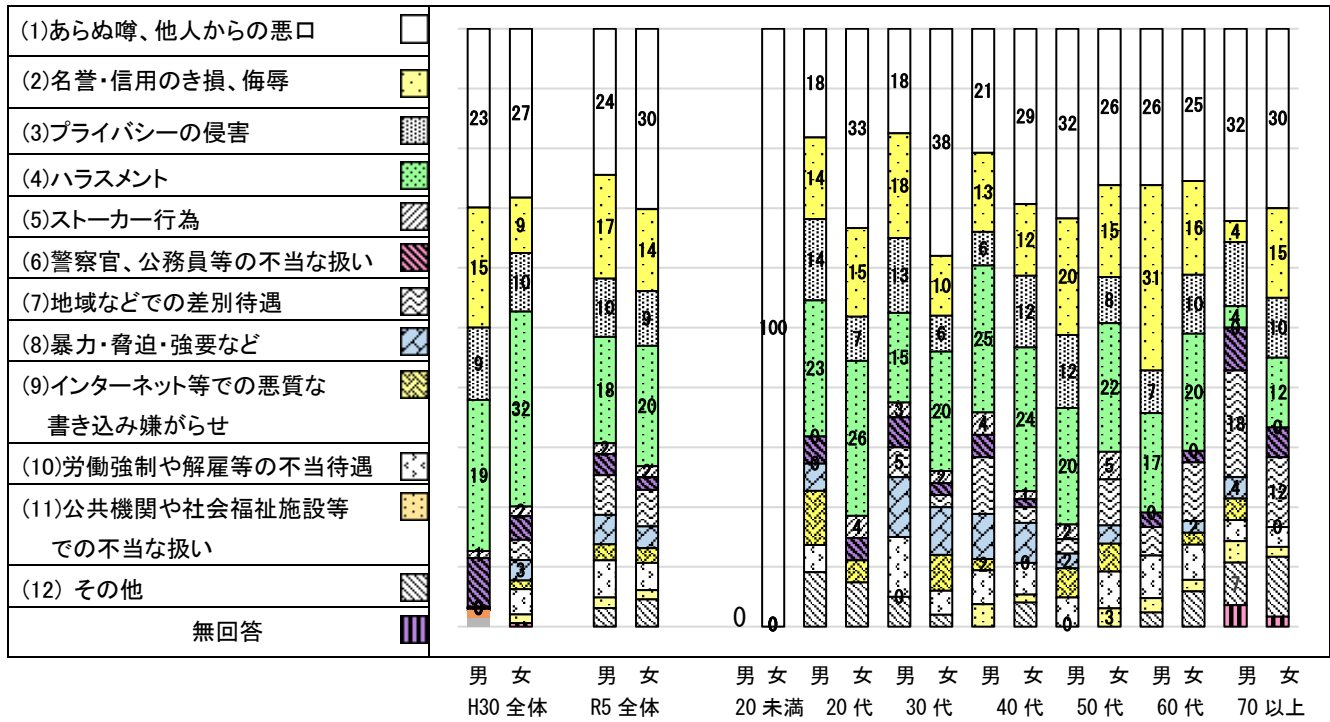
表2-3 差別や人権侵害の内容

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) あらぬ噂、他人からの悪口	160	27	55	24	99	30	6	21
(2) 名誉・信用のき損、侮辱	90	15	39	17	45	14	6	21
(3) プライバシーの侵害	57	10	22	10	30	9	5	18
(4) ハラスメント	108	19	40	18	66	20	2	7
(5) ストーカー行為	10	2	4	2	6	2	0	0
(6) 警察官、公務員等による不当な扱い	15	3	8	4	7	2	0	0
(7) 地域などでの差別待遇	37	6	15	7	20	6	2	7
(8) 暴力・脅迫・強要など	25	4	11	5	12	4	2	7
(9) インターネット等での悪質な書き込みや嫌がらせ	16	3	6	3	8	2	2	7
(10) 労働強制や解雇等の不当の待遇	29	5	14	6	15	5	0	0
(11) 公共機関や社会福祉施設等での不当な扱い	12	2	4	2	5	2	3	11
(12) その他	22	4	7	3	15	5	0	0
無回答	2	0	1	0	1	0	0	0
計	583	100	226	100	329	100	28	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1) あらぬ噂、他人からの悪口	1	100	14	28	27	29	35	26
(2) 名誉・信用のき損、侮辱	0	0	7	14	12	13	18	13
(3) プライバシーの侵害	0	0	5	10	9	10	13	10
(4) ハラスメント	0	0	12	24	16	17	32	24
(5) ストーカー行為	0	0	1	2	2	2	3	2
(6) 警察官、公務員等による不当な扱い	0	0	2	4	3	3	3	2
(7) 地域などでの差別待遇	0	0	0	0	3	3	7	5
(8) 暴力・脅迫・強要など	0	0	1	2	8	9	9	7
(9) インターネット等での悪質な書き込みや嫌がらせ	0	0	3	6	3	3	2	1
(10) 労働強制や解雇等の不当の待遇	0	0	1	2	6	7	7	5
(11) 公共機関や社会福祉施設等での不当な扱い	0	0	0	0	0	0	4	3
(12) その他	0	0	4	8	3	3	3	2
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	100	50	100	92	100	136	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1) あらぬ噂、他人からの悪口	30	28	25	24	28	30	0	0
(2) 名誉・信用のき損、侮辱	18	17	24	23	11	12	0	0
(3) プライバシーの侵害	10	9	10	10	10	11	0	0
(4) ハラスメント	22	21	17	16	9	10	0	0
(5) ストーカー行為	4	4	0	0	0	0	0	0
(6) 警察官、公務員等による不当な扱い	0	0	2	2	5	5	0	0
(7) 地域などでの差別待遇	6	6	9	9	12	13	0	0
(8) 暴力・脅迫・強要など	3	3	2	2	2	2	0	0
(9) インターネット等での悪質な書き込みや嫌がらせ	5	5	2	2	1	1	0	0
(10) 労働強制や解雇等の不当の待遇	6	6	6	6	3	3	0	0
(11) 公共機関や社会福祉施設等での不当な扱い	2	2	4	4	2	2	0	0
(12) その他	0	0	4	4	8	9	0	0
無回答	0	0	0	0	2	2	0	0
計	106	100	105	100	93	100	0	0

図 2-3

単位：％



「あらぬ噂、他人からの悪口」と回答した人の割合が全体の 28%

差別や人権侵害の内容としては、「あらぬ噂、他人からの悪口」と回答した人の割合が、28%(前回 25%)と最も高く、次いで「ハラスメント」(19%)、「名誉・信用のき損、侮辱」(15%)(前回 11%)、「プライバシーの侵害」(10%)(前回 9%)の順となっている。前回は、ハラスメントの項目を「パワー・ハラスメント」と「セクシュアル・ハラスメント」に分別していたが、今回は「ハラスメント」とした。

年齢別では、20代～50代は、「ハラスメント」の割合が高い傾向にあり、60代～70代では、「地域などでの差別待遇」の割合が他の年代に比べて高くなっている。

(4) 人権問題解決のための取り組みに関する意識

問 4 問 2 で「感じたことがある」と回答された方で、そのときあなたはこうされましたか。該当するものをすべて選んでください。

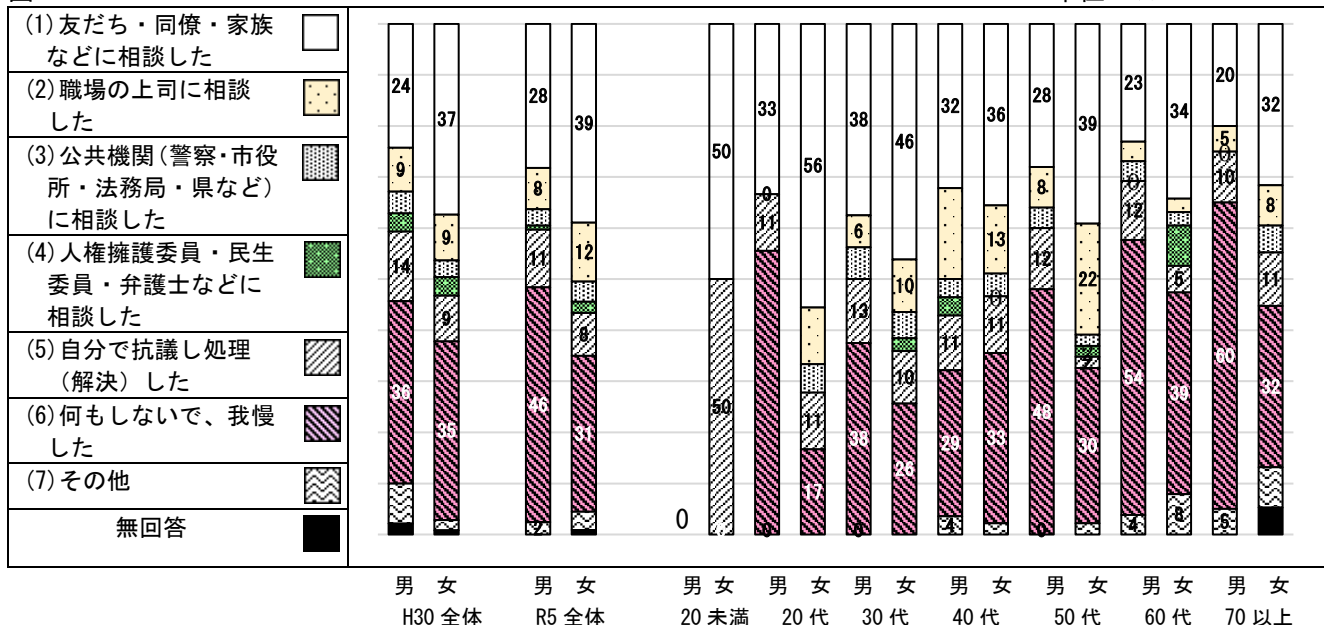
表 2-4 人権問題解決のための取り組みに関する意識

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) 友だち・同僚・家族などに相談した	129	35	35	28	88	39	6	43
(2) 職場の上司に相談した	37	10	10	8	26	12	1	7
(3) 公共機関(警察・市役所・法務局・県等)に相談した	13	4	4	3	9	4	0	0
(4) 人権擁護委員・民生委員・弁護士などに相談した	6	2	1	1	5	2	0	0
(5) 自分で抗議し処理(解決)した	34	9	14	11	19	8	1	7
(6) 何もしないで、我慢した	130	36	57	46	69	31	4	29
(7) その他	13	4	3	2	8	4	2	14
無回答	2	1	0	0	2	1	0	0
計	364	100	124	100	226	100	14	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1) 友だち・同僚・家族などに相談した	1	50	14	50	25	45	26	34
(2) 職場の上司に相談した	0	0	2	7	5	9	11	14
(3) 公共機関(警察・市役所・法務局・県等)に相談した	0	0	1	4	3	5	3	4
(4) 人権擁護委員・民生委員・弁護士などに相談した	0	0	0	0	1	2	1	1
(5) 自分で抗議し処理(解決)した	1	50	3	11	6	11	9	12
(6) 何もしないで、我慢した	0	0	8	29	16	29	24	32
(7) その他	0	0	0	0	0	0	2	3
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2	100	28	100	56	100	76	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1) 友だち・同僚・家族などに相談した	25	35	21	30	17	28	0	0
(2) 職場の上司に相談した	12	17	3	4	4	7	0	0
(3) 公共機関(警察・市役所・法務局・県等)に相談した	2	3	2	3	2	3	0	0
(4) 人権擁護委員・民生委員・弁護士などに相談した	1	1	3	4	0	0	0	0
(5) 自分で抗議し処理(解決)した	4	6	5	7	6	10	0	0
(6) 何もしないで、我慢した	26	37	31	44	25	41	0	0
(7) その他	1	1	5	7	5	8	0	0
無回答	0	0	0	0	2	3	0	0
計	71	100	70	100	61	100	0	0

図 2-4

単位：％



差別や人権侵害に対する態度として「何もしないで、がまんした」が最も高く 36%

人権問題に対する態度としては、「何もしないで、がまんした」(36%) (前回 35%) と回答した人の割合が最も高く、次いで「友だち・同僚・家族などに相談した」(35%) (前回 33%)、「職場の上司に相談した」(10%) (前回 9%) の順となっている。前回に比べて僅かではあるものの、他者に相談することが減少し、「何もしないで、我慢した」と回答した人の割合が増えている。

性別で比較すると、人権問題に対して、「何もしないで、我慢した」と回答した人は女性に比べて男性の方が多く(男性 46%・女性 31%)、「友だち・同僚・家族などに相談した」との回答は、男性 28%・女性 39%と女性が多まっている。

年齢別では、高齢になるほど「何もしないで、がまんした」と回答した人が多くなった。

また、「友だち・同僚・家族などに相談した」(35%)と身近な人に相談することは多いが、「公共機関」や「人権擁護委員・民生委員・弁護士」などに相談した人の割合は 6%と、前回(8%)と比べても少なくなっている。

(5) 人権問題解決のための回答者自身の方策に関する意識

問5 もし、あなたの人権が侵害された場合、どのような対応をしますか。
1つだけ選んでください。

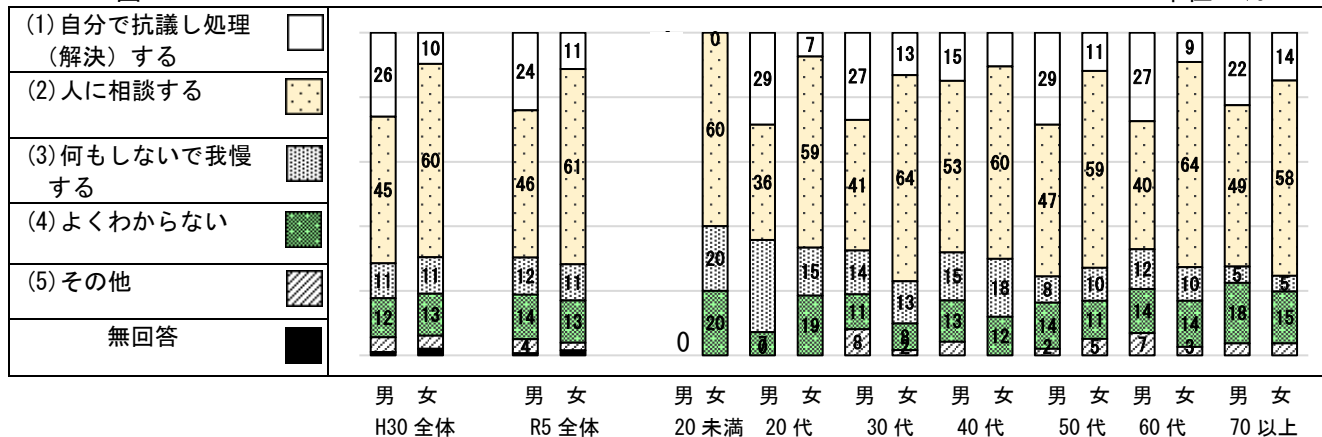
表2-5 人権問題解決のための回答者自身の方策に関する意識

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) 自分で抗議し処理（解決）する	123	17	77	24	43	11	3	25
(2) 人に相談する	384	54	146	46	232	61	6	50
(3) 何もしないでがまんする	81	11	37	12	43	11	1	8
(4) よくわからない	95	13	44	14	50	13	1	8
(5) その他	24	3	14	4	9	2	1	8
無回答	8	1	2	1	6	2	0	0
計	715	100	320	100	383	100	12	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1) 自分で抗議し処理（解決）する	0	0	10	18	18	18	15	13
(2) 人に相談する	7	78	28	49	56	56	65	56
(3) 何もしないでがまんする	1	11	12	21	13	13	19	16
(4) よくわからない	1	11	7	12	9	9	14	12
(5) その他	0	0	0	0	4	4	3	3
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
計	9	100	57	100	100	100	116	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1) 自分で抗議し処理（解決）する	21	19	28	18	31	18	0	0
(2) 人に相談する	59	54	80	52	89	53	0	0
(3) 何もしないでがまんする	10	9	17	11	9	5	0	0
(4) よくわからない	14	13	22	14	28	17	0	0
(5) その他	4	4	7	5	6	4	0	0
無回答	2	2	0	0	6	4	0	0
計	110	100	154	100	169	100	0	0

図2-5

単位：%



自分の人権が侵害された場合、人に相談する人の割合は54%

自分の人権が侵害された場合、「人に相談する」と回答した人が54%(前回54%)と最も高く、次いで「自分で抗議し処理（解決）する」(17%)(前回17%)の順となっている。前回と同様に人に相談する割合が半数を上回り、多くなっている。

性別で比較をすると、「自分で抗議し処理（解決）する」(男性24%・女性11%)と回答した人には、男性が多い。一方、「人に相談する」(男性46%・女性61%)と回答した人には、女性が多い。

年齢別で比較をすると、若い世代ほど「我慢する」と回答する割合が高くなっている。

(6) 他の人の人権を尊重することの有無に関する意識

問 6 あなたは、他の人の人権を尊重していると思いますか。

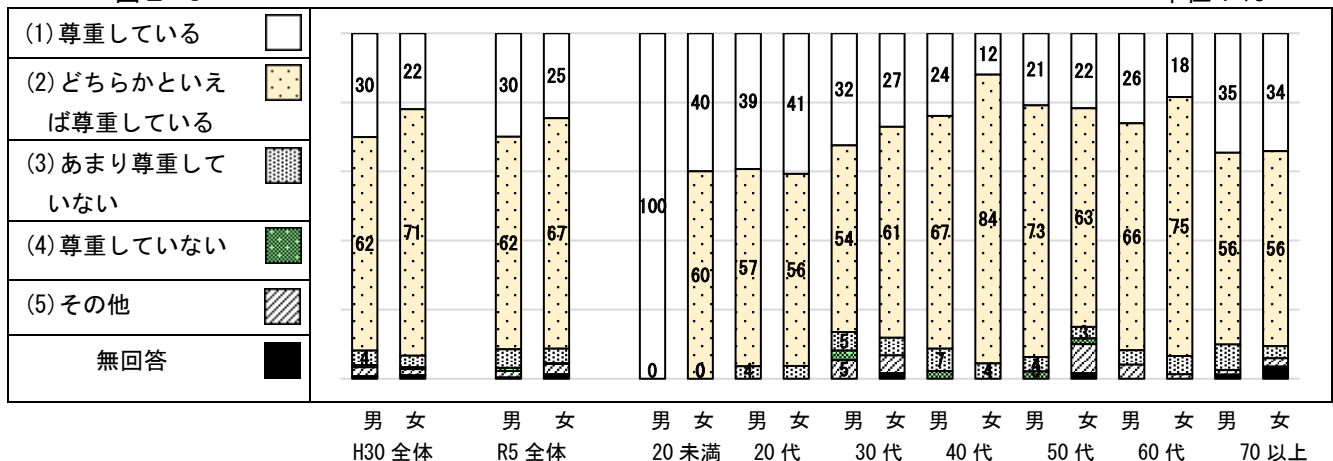
表 2-6 他の人の人権を尊重することの有無に関する意識

単位：人、%

全体・性別	全体	男性	女性	性別不明
(1) 尊重している	188 27	95 30	93 25	0 0
(2) どちらかといえば尊重している	460 65	195 62	253 67	12 100
(3) あまり尊重していない	33 5	17 5	16 4	0 0
(4) 尊重していない	4 1	3 1	1 0	0 0
(5) その他	17 2	6 2	11 3	0 0
無回答	6 1	1 0	5 1	0 0
計	708 100	317 100	379 100	12 100
年齢別	18-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳
(1) 尊重している	6 67	22 39	28 29	19 17
(2) どちらかといえば尊重している	3 33	33 58	58 59	89 77
(3) あまり尊重していない	0 0	2 4	5 5	6 5
(4) 尊重していない	0 0	0 0	1 1	1 1
(5) その他	0 0	0 0	5 5	0 0
無回答	0 0	0 0	1 1	0 0
計	9 100	57 100	98 100	115 100
年齢別	50-59 歳	60-69 歳	70 歳以上	年齢不明
(1) 尊重している	23 21	33 22	57 34	0 0
(2) どちらかといえば尊重している	73 68	109 71	95 57	0 0
(3) あまり尊重していない	4 4	7 5	9 5	0 0
(4) 尊重していない	2 2	0 0	0 0	0 0
(5) その他	5 5	4 3	3 2	0 0
無回答	1 1	0 0	4 2	0 0
計	108 100	153 100	168 100	0 0

図 2-6

単位：%



他の人の人権を大切にしていると思っている人の割合は 92%

「尊重している」(27%)と「どちらかといえば尊重している」(65%)の回答を合わせて、他人の人権を大切にしている人の割合は、92%と前回の 93%と同様に高くなっている。

性別による差はあまりなく、どの年代においても「尊重している」と「どちらかといえば尊重している」の回答を合わせると 90%前後と高くなっている。

(7) 他の人の人権を侵害したことの有無に関する意識

問 7 あなたは、今までに、他の人の人権を侵害したことがありますか。

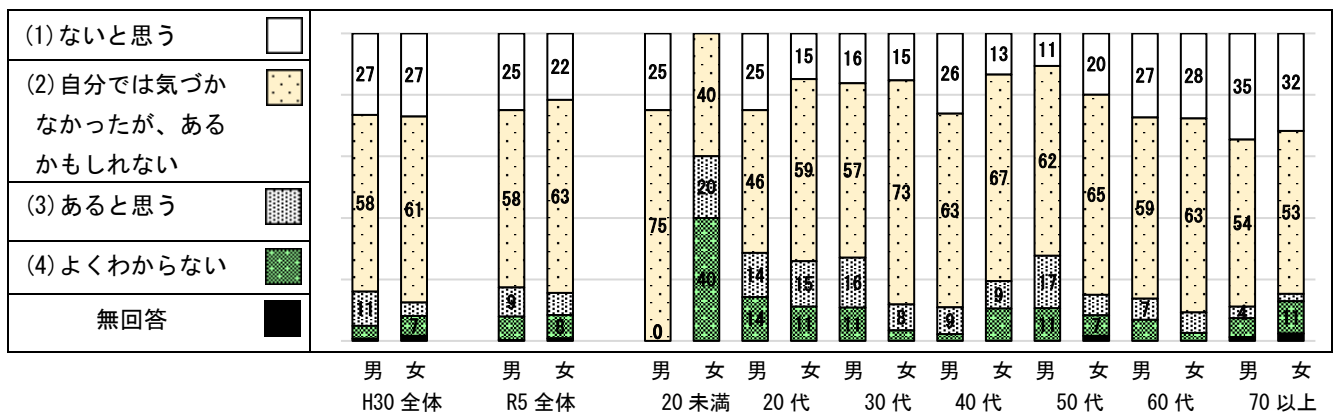
表 2-7 他の人の人権を侵害したことの有無に関する意識

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) ないと思う	162	23	79	25	82	22	1	8
(2) 自分では気づかなかったが、あるかもしれない	430	61	182	58	238	63	10	83
(3) あると思う	58	8	30	9	27	7	1	8
(4) よくわからない	53	7	24	8	29	8	0	0
無回答	4	1	1	0	3	1	0	0
計	707	100	316	100	379	100	12	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1) ないと思う	1	11	11	19	15	15	21	18
(2) 自分では気づかなかったが、あるかもしれない	5	56	30	53	66	67	76	66
(3) あると思う	1	11	9	16	11	11	10	9
(4) よくわからない	2	22	7	12	6	6	8	7
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
計	9	100	57	100	98	100	115	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1) ないと思う	17	16	42	27	55	33	0	0
(2) 自分では気づかなかったが、あるかもしれない	68	64	94	61	91	54	0	0
(3) あると思う	12	11	10	7	5	3	0	0
(4) よくわからない	9	8	7	5	14	8	0	0
無回答	1	1	0	0	3	2	0	0
計	107	100	153	100	168	100	0	0

図 2-7

単位：%



他人の人権を侵害したことがあるかもしれないと思う人の割合は 69%

「自分では気づかなかったが、あるかもしれない」(61%)と「あると思う」(8%)の項目を合わせて、他の人の人権を侵害したことがあるかもしれないと思う人の割合は 69%(前回 66%)となっている。

性別による差はどの年代もないが、30 代～60 代では、「自分では気づかなかったが、あるかもしれない」が 60%前後と高くなっており、「ないと思う」(20%前後)を大きく上回っているのに対して、70 代は「ないと思う」(33%)が他の年代と比較して高くなっているのが特徴的である。

(8) 人権を話題にすることの有無に関する意識

問 8 あなたは人権について、家族や知人と話すことがありますか。

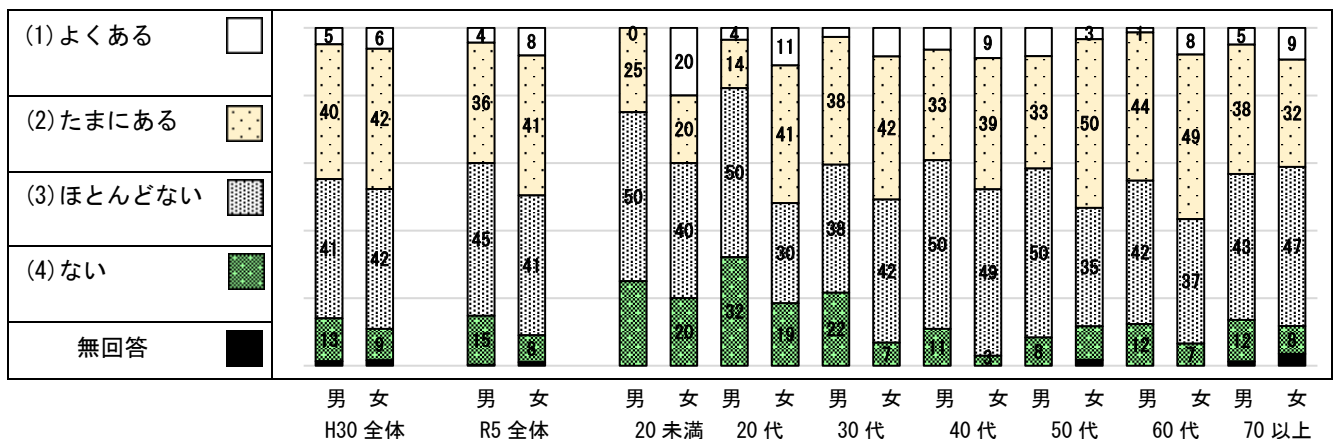
表 2-8 人権を話題にすることの有無に関する意識

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) よくある	46	6	14	4	31	8	1	8
(2) たまにある	276	39	113	36	157	41	6	50
(3) ほとんどない	302	43	143	45	157	41	2	17
(4) ない	79	11	46	15	30	8	3	25
無回答	5	1	1	0	4	1	0	0
計	708	100	317	100	379	100	12	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1) よくある	1	11	4	7	6	6	9	8
(2) たまにある	2	22	15	26	40	41	42	37
(3) ほとんどない	4	44	22	39	40	41	57	50
(4) ない	2	22	16	28	12	12	7	6
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
計	9	100	57	100	98	100	115	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1) よくある	6	6	8	5	12	7	0	0
(2) たまにある	46	43	71	46	60	36	0	0
(3) ほとんどない	45	42	59	39	75	45	0	0
(4) ない	10	9	15	10	17	10	0	0
無回答	1	1	0	0	4	2	0	0
計	108	100	153	100	168	100	0	0

図 2-8

単位：%



人権について、家族や知人と話す人は 45%

「よくある」(6%)と「たまにある」(39%)の項目とを合わせて、人権について家族や知人と話す人の割合は、45%である。前回の 47%から若干減少傾向にある。

性別で比較すると、「よくある」と「たまにある」の項目を合わせて、人権について家族や知人と話す人の割合は、70 代以外は女性の割合の方が高くなっている。

また、人権について、家族や知人と話すことが「ほとんどない」、「ない」とする人は、20 代以下の年齢の低い層が高い割合 (60%以上) を示している。

(9) 人権問題解決のための方策に関する意識

問 9 人権問題の解決のために、どのような方策が有効だと思いますか。
3 つまで選んでください。

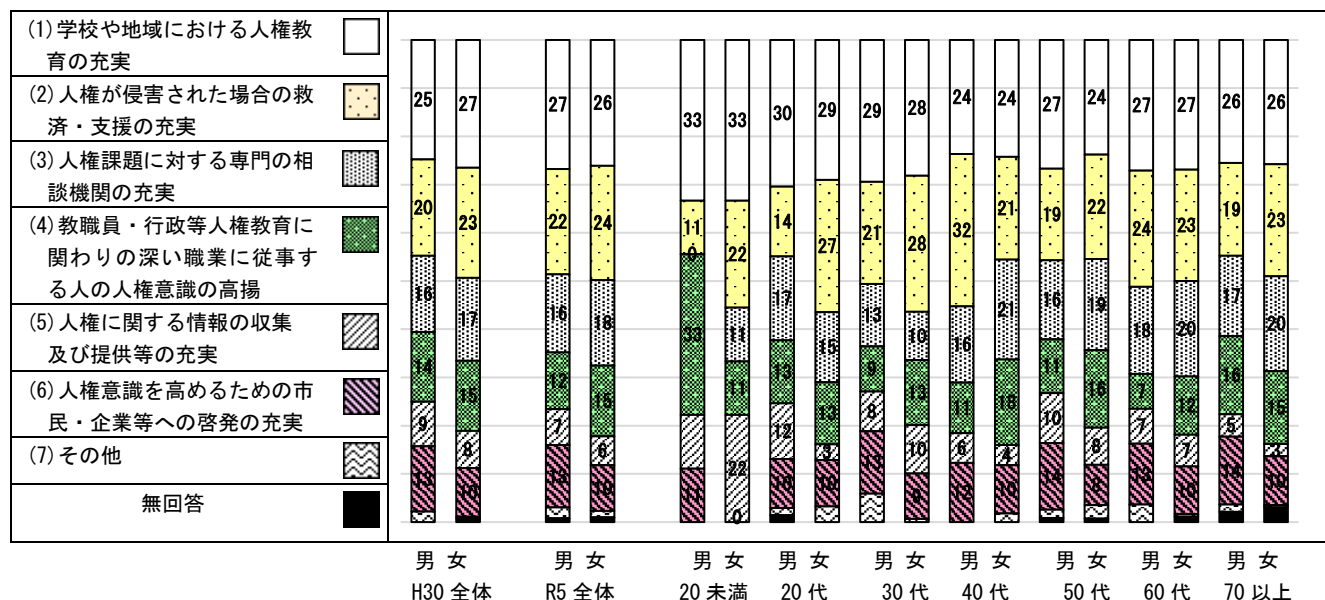
表 2-9 人権問題の解決のための方策に関する意識

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) 学校や地域における人権教育の充実	447	26	201	27	238	26	8	27
(2) 人権が侵害された場合の救済・支援の充実	387	23	164	22	216	24	7	23
(3) 人権課題に対する専門の相談機関の充実	289	17	122	16	162	18	5	17
(4) 教職員・行政など人権教育に関わりの深い職業に従事する人の人権意識の高揚	228	13	88	12	134	15	6	20
(5) 人権に関する情報の収集及び提供等の充実	112	7	56	7	54	6	2	7
(6) 人権意識を高めるための市民・企業などへの啓発の充実	185	11	97	13	87	10	1	3
(7) その他	30	2	17	2	12	1	1	3
無回答	15	1	6	1	9	1	0	0
計	1693	100	751	100	912	100	30	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1) 学校や地域における人権教育の充実	6	33	40	29	69	29	70	24
(2) 人権が侵害された場合の救済・支援の充実	3	17	29	21	61	25	73	25
(3) 人権課題に対する専門の相談機関の充実	1	6	22	16	27	11	54	19
(4) 教職員・行政など人権教育に関わりの深い職業に従事する人の人権意識の高揚	4	22	19	14	29	12	43	15
(5) 人権に関する情報の収集及び提供等の充実	3	17	10	7	23	10	15	5
(6) 人権意識を高めるための市民・企業などへの啓発の充実	1	6	13	9	25	10	31	11
(7) その他	0	0	3	2	6	3	3	1
無回答	0	0	1	1	0	0	0	0
計	18	100	137	100	240	100	289	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1) 学校や地域における人権教育の充実	65	25	96	27	101	26	0	0
(2) 人権が侵害された場合の救済・支援の充実	53	20	84	24	84	21	0	0
(3) 人権課題に対する専門の相談機関の充実	46	18	67	19	72	18	0	0
(4) 教職員・行政など人権教育に関わりの深い職業に従事する人の人権意識の高揚	36	14	36	10	61	15	0	0
(5) 人権に関する情報の収集及び提供等の充実	23	9	24	7	14	4	0	0
(6) 人権意識を高めるための市民・企業などへの啓発の充実	28	11	40	11	47	12	0	0
(7) その他	6	2	7	2	5	1	0	0
無回答	2	1	2	1	10	3	0	0
計	259	100	356	100	394	100	0	0

図 2-9

単位：％



人権問題解決のための方策について、「学校や地域における人権教育の充実」が26%、
「人権が侵害された場合の救済・支援の充実」が23%

人権問題の解決のための方策について、「学校や地域における人権教育の充実」と回答した人の割合が26%(前回 26%)と最も高く、次いで「人権が侵害された場合の救済・支援の充実」(23%)(前回 22%)、「人権課題に対する専門の相談機関の充実」(17%)(前回 17%)、「教職員・行政など人権教育に関わりの深い職業に従事する人の人権意識の高揚」(13%)(前回 14%)、の順となっている。

どの年代でも前出の4項目の回答が多くなっている。

(10) 人権問題解決のための効果的な教育・啓発活動に関する意識

問 10 人権問題の解決のために、どのような教育・啓発活動が効果的だと思いますか。
3 つまで選んでください。

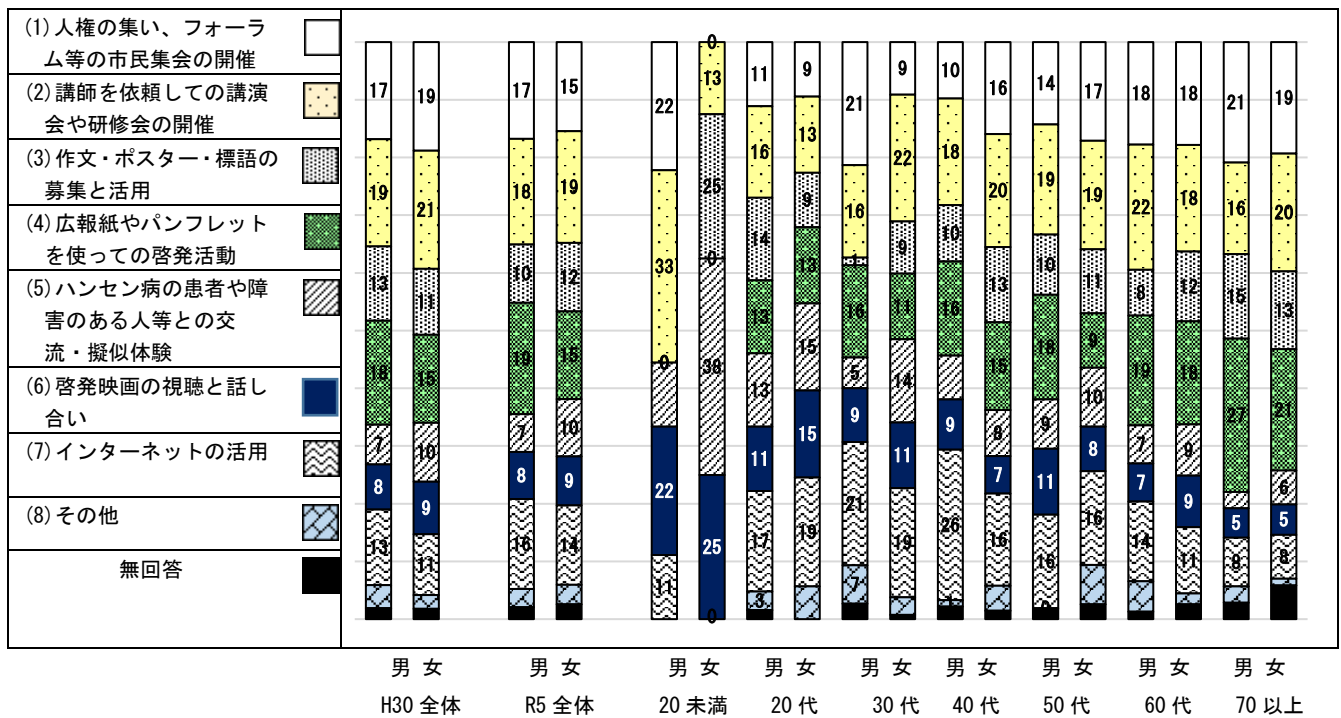
表 2-10 人権問題解決のための効果的な教育・啓発活動に関する意識

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) 人権のつどい、フォーラムなどの市民集会の開催	235	16	113	17	120	15	2	8
(2) 講師を依頼しての講演会や研修会の開催	277	19	123	18	150	19	4	16
(3) 作文・ポスター・標語の募集と活用 (カレンダー作成や作品展)	165	11	68	10	92	12	5	20
(4) 広報紙やパンフレットを使っでの啓発活動	252	17	130	19	118	15	4	16
(5) ハンセン病の患者や障害のある人等との 交流・疑似体験	121	8	44	7	77	10	0	0
(6) 啓発映画の視聴と話し合い	121	8	55	8	66	9	0	0
(7) インターネットの活用 (ホームページ等での啓発活動)	220	15	105	16	107	14	8	32
(8) その他	49	3	21	3	26	3	2	8
無回答	34	2	14	2	20	3	0	0
計	1474	100	673	100	776	100	25	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1) 人権のつどい、フォーラムなどの市民集会の開催	2	12	13	11	29	14	31	13
(2) 講師を依頼しての講演会や研修会の開催	4	24	18	15	43	20	44	19
(3) 作文・ポスター・標語の募集と活用 (カレンダー作成や作品展)	2	12	15	12	14	7	28	12
(4) 広報紙やパンフレットを使っでの啓発活動	0	0	16	13	27	13	37	16
(5) ハンセン病の患者や障害のある人等との 交流・疑似体験	4	24	16	13	23	11	18	8
(6) 啓発映画の視聴と話し合い	4	24	15	12	22	10	17	7
(7) インターネットの活用 (ホームページ等での啓発活動)	1	6	23	19	42	20	47	20
(8) その他	0	0	5	4	9	4	8	3
無回答	0	0	1	1	3	1	4	2
計	17	100	122	100	212	100	234	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1) 人権のつどい、フォーラムなどの市民集会の開催	35	16	55	18	70	20	0	0
(2) 講師を依頼しての講演会や研修会の開催	42	19	63	20	63	18	0	0
(3) 作文・ポスター・標語の募集と活用 (カレンダー作成や作品展)	24	11	31	10	51	14	0	0
(4) 広報紙やパンフレットを使っでの啓発活動	30	14	58	19	84	24	0	0
(5) ハンセン病の患者や障害のある人等との 交流・疑似体験	21	9	24	8	15	4	0	0
(6) 啓発映画の視聴と話し合い	21	9	24	8	18	5	0	0
(7) インターネットの活用 (ホームページ等での啓発活動)	36	16	41	13	30	8	0	0
(8) その他	8	4	11	4	8	2	0	0
無回答	5	2	6	2	15	4	0	0
計	222	100	313	100	354	100	0	0

図 2-10

単位：％



効果的な啓発活動について、「講演会や研修会」と回答した人が 19%

どのような啓発活動が効果的だと思うかについて、「講師を依頼しての講演会や研修会の開催」と回答した人の割合が 19%(前回 20%)と最も高く、次いで、「広報紙やパンフレットを使つての啓発活動」(17%)(前回 16%)、「人権のつどい、フォーラムなどの市民集会の開催」(16%)(前回 18%)の順となっている。前は、わずかの差で「啓発活動」と「市民集会の開催」の順番が入れ替わっていたが、前回と同様の回答割合となった。

年齢別では、「インターネットの活用(ホームページ等での啓発活動)」と回答した人の割合が年齢の低い層で高い割合を示しているのに対し、「広報紙やパンフレットを使つての啓発活動」と回答した割合は年齢の高い層で高い割合を示している。

3 赤磐市の人権に対する取り組みについて

(1) 赤磐市人権教育・啓発推進計画の周知度

問 1 赤磐市の「人権教育・啓発推進計画」があることを知っていますか。

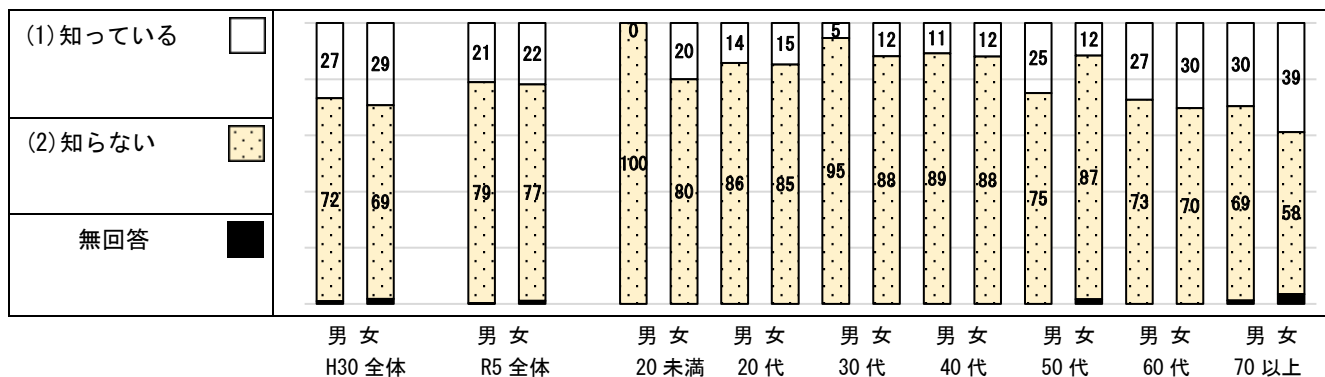
表 3-1 赤磐市人権教育・啓発推進計画の周知度

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) 知っている	158	22	67	21	83	22	8	80
(2) 知らない	543	77	249	79	292	77	2	20
無回答	5	1	1	0	4	1	0	0
計	706	100	317	100	379	100	10	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1) 知っている	1	11	10	18	11	11	15	13
(2) 知らない	8	89	47	82	87	89	100	87
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
計	9	100	57	100	98	100	115	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1) 知っている	19	18	44	29	58	34	0	0
(2) 知らない	88	81	107	71	104	62	0	0
無回答	1	1	0	0	7	4	0	0
計	108	100	151	100	169	100	0	0

図 3-1

単位：%



赤磐市の「人権教育・啓発推進計画」の周知度は 22%

赤磐市の「人権教育・啓発推進計画」の周知度について、「知っている」と回答した人の割合は 22%(前回 28%)、「知らない」と回答した人の割合は 77%(前回 70%)となっている。

年齢別では、年齢が高くなるにしたがって「知っている」と回答した人の割合は高くなっている。この傾向は、前回と同様である。

(2) 赤磐市男女共同参画基本計画の周知度

問2 赤磐市の「男女共同参画基本計画」があることを知っていますか。

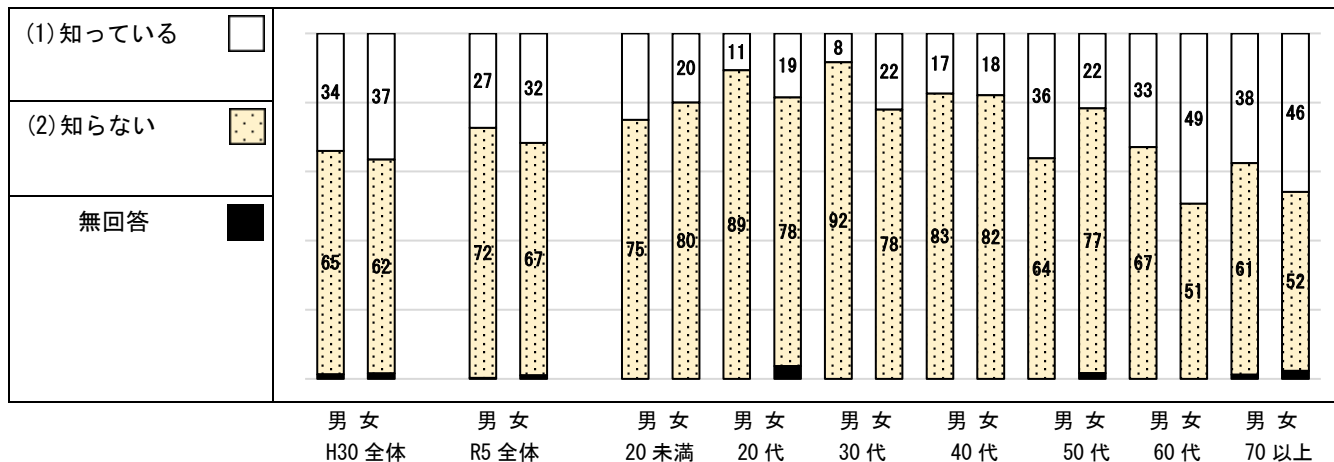
表3-2 赤磐市男女共同参画基本計画の周知度

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) 知っている	213	30	86	27	120	32	7	58
(2) 知らない	486	69	227	72	254	67	5	42
無回答	5	1	1	0	4	1	0	0
計	704	100	314	100	378	100	12	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1) 知っている	2	22	10	18	17	18	22	19
(2) 知らない	7	78	46	81	80	82	93	81
無回答	0	0	1	2	0	0	0	0
計	9	100	57	100	97	100	115	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1) 知っている	30	28	62	41	70	42	0	0
(2) 知らない	76	71	90	59	94	56	0	0
無回答	1	1	0	0	3	2	0	0
計	107	100	152	100	167	100	0	0

図3-2

単位：%



赤磐市の「男女共同参画基本計画」の周知度は30%

赤磐市の「男女共同参画基本計画」の周知度について、「知っている」と回答した人の割合は30%(前回35%)、「知らない」と回答した人の割合は69%(前回63%)となっている。

年齢別では、年齢が高くなるにしたがって「知っている」と回答した人の割合は高くなっている。

(3) 赤磐市の実施する人権教育・啓発事業への参加の有無

問3 あなたは、これまでに赤磐市が実施している人権に関するつどい・講演会・研修会・講座等に参加したことがありますか。

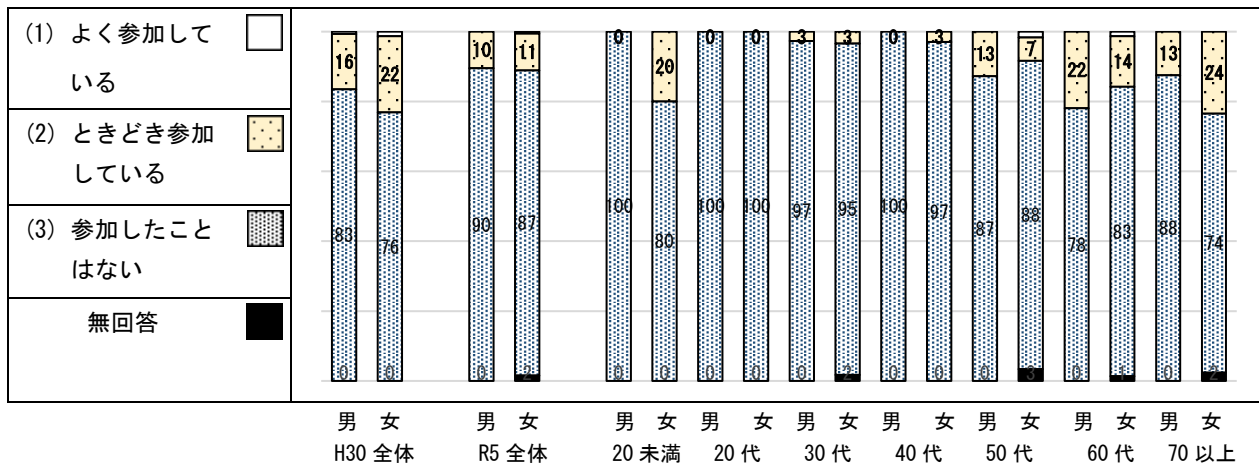
表3-3 赤磐市の実施する人権教育・啓発事業への参加の有無

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)よく参加している	2	0	0	0	2	1	0	0
(2)ときどき参加している	74	11	33	10	40	11	1	10
(3)参加したことはない	622	88	282	90	331	87	9	90
無回答	6	1	0	0	6	2	0	0
計	704	100	315	100	379	100	10	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1)よく参加している	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)ときどき参加している	1	11	0	0	3	3	2	2
(4)参加したことはない	8	89	57	100	94	96	113	98
無回答	0	0	0	0	1	1	0	0
計	9	100	57	100	98	100	115	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1)よく参加している	1	1	1	1	0	0	0	0
(2)ときどき参加している	10	9	27	18	31	19	0	0
(4)参加したことはない	94	88	122	81	134	80	0	0
無回答	2	2	1	1	2	1	0	0
計	107	100	151	100	167	100	0	0

図3-3

単位：%



赤磐市が実施する人権講演会・研修会・講座等に参加したことがある人の割合は11%

赤磐市が実施している人権に関する講演会・研修会・講座等への参加の有無に関する設問で、「よく参加している」(1%)(前回1%)と「ときどき参加している」(10%)(前回8%)を合わせて、参加したことがある人の割合は、11%であった。前回と比べると微増となっている。また、「参加したことはない」(88%)(前回90%)人の割合は、微減であった。

年齢別では、年齢が高くなるにしたがって「よく参加している」「ときどき参加している」と回答した人の割合は高くなっている。

(4) 赤磐市の実施する人権教育・啓発事業へ参加しなかった理由

問4 講演会・研修会・講座等に参加しなかった理由は何ですか。

問3で参加したことはないとは回答した方のみ(3番の回答者)お答えください。

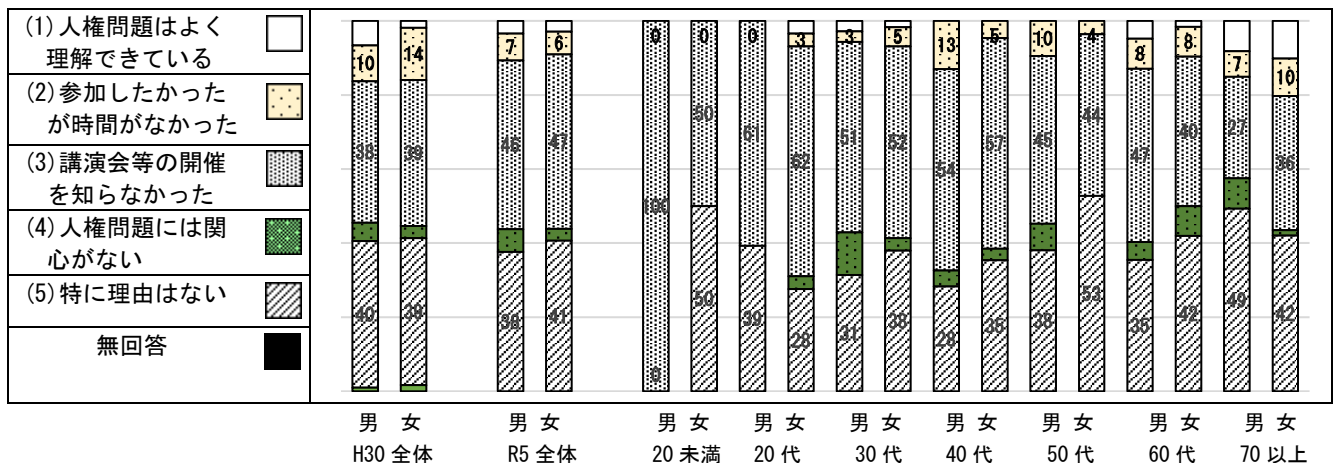
表3-4 赤磐市の実施する人権教育・啓発事業へ参加しなかった理由

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) 人権問題はよく理解できている	20	3	10	3	10	3	0	0
(2) 参加したかったが時間がなかった	42	7	21	7	21	6	0	0
(3) 講演会等の開催を知らなかった	301	47	132	46	161	47	8	80
(4) 人権問題には関心がない	29	5	18	6	11	3	0	0
(5) 特に理由はない	250	39	109	38	139	41	2	20
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
計	642	100	290	100	342	100	10	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1) 人権問題はよく理解できている	0	0	1	2	2	2	0	0
(2) 参加したかったが時間がなかった	0	0	1	2	4	4	9	8
(3) 講演会等の開催を知らなかった	6	75	36	61	50	53	64	57
(4) 人権問題には関心がない	0	0	1	2	6	6	4	4
(5) 特に理由はない	2	25	20	34	33	35	36	32
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
計	8	100	59	100	95	100	113	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1) 人権問題はよく理解できている	0	0	4	3	13	9	0	0
(2) 参加したかったが時間がなかった	6	6	10	8	12	8	0	0
(3) 講演会等の開催を知らなかった	43	44	57	45	45	32	0	0
(4) 人権問題には関心がない	3	3	8	6	7	5	0	0
(5) 特に理由はない	45	46	49	38	65	46	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
計	97	100	128	100	142	100	0	0

図3-4

単位：%



講演会・研修会・講座等に参加しなかった理由は、「知らなかった」人の割合は47%

人権の講演会・研修会・講座等に参加しなかった理由について、「講演会等の開催を知らなかった」47%(前回 39%)が最も高く、次いで、「特に理由はない」39%(前回 40%)、「参加したかったが時間がなかった」7%(前回 12%)の順となっている。前は、「特に理由はない」が最も多かったが、今回は「知らなかった」が最も多くなっている。

年齢別では、年齢が高くなるにつれて「講演会や講座の開催を知らなかった」と回答する人の割合が減少するのに対し、「特に理由はない」と回答する割合が増加している。

(5) 市内全戸配布の人権カレンダー活用の有無

問5 赤磐市では、人権カレンダーを全戸に配布していますが、家庭内に掲示し、活用していますか。

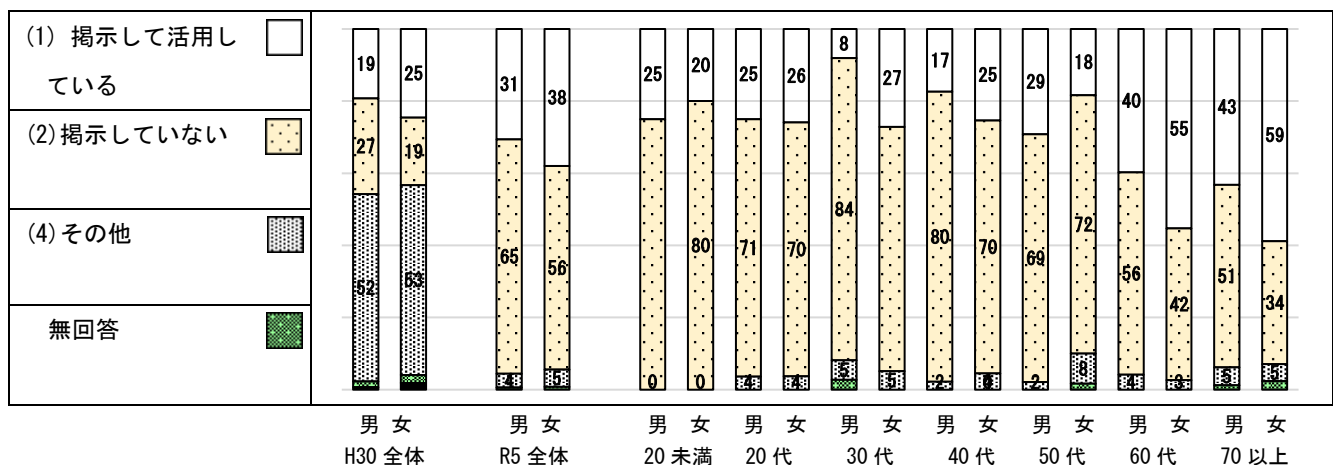
表3-5 市内全戸配布の人権カレンダー活用の有無

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) 掲示して活用している	244	35	97	31	144	38	3	27
(2) 掲示していない	427	60	206	65	214	56	7	64
(3) その他	31	4	12	4	18	5	1	9
無回答	5	1	2	1	3	1	0	0
計	707	100	317	100	379	100	11	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1) 掲示して活用している	2	22	14	25	20	20	25	22
(2) 掲示していない	7	78	41	72	72	73	86	75
(3) その他	0	0	2	4	5	5	4	3
無回答	0	0	0	0	1	1	0	0
計	9	100	57	100	98	100	115	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1) 掲示して活用している	25	23	73	48	85	51	0	0
(2) 掲示していない	76	70	73	48	72	43	0	0
(3) その他	6	6	6	4	8	5	0	0
無回答	1	1	0	0	3	2	0	0
計	108	100	152	100	168	100	0	0

図3-5

単位：%



市内全戸配布の人権カレンダーを掲示している家庭は 35%

市内全戸配布の人権カレンダーについて、「掲示していない」と回答した人の割合は 60%(前回 52%)、「掲示して活用している」と回答した人の割合は 35%(前回 44%)で、前回とほぼ同様の結果である。

性別では、「掲示していない」と回答した人の割合は、男性の方が高く、「掲示して活用している」と回答した人の割合は、女性の方が高い。

年齢別では、「掲示して活用している」と回答した人の割合が、60 代～70 代で 50%前後となっている。

(6) 人権の作品募集・表彰式・作品展開催などに関する事業の周知度

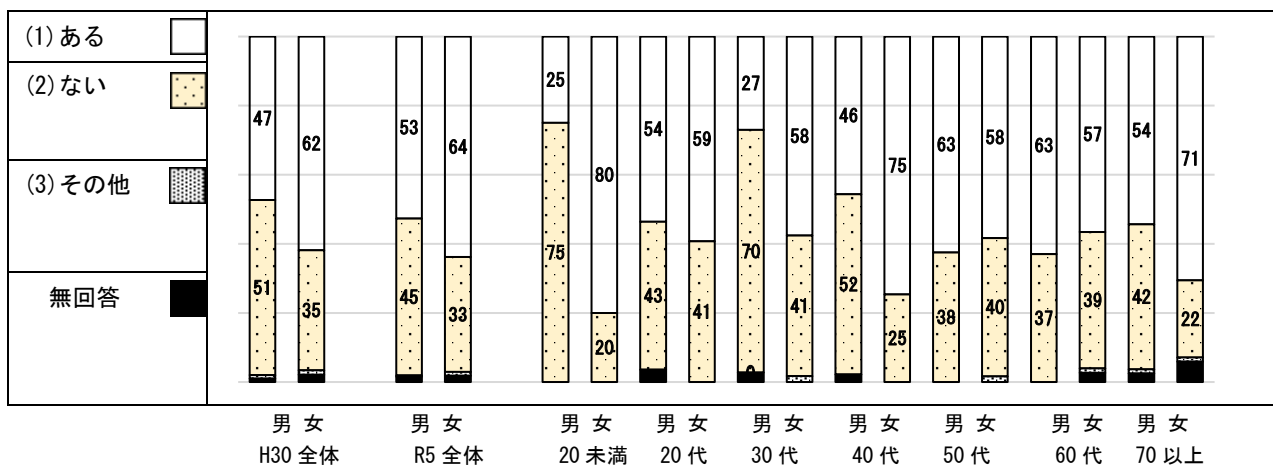
問 6 人権作文・ポスター・標語を募集し、優秀作品を表彰したり、作品展を開催したりしていますが、ご覧になったことはありますか。

表3-6 人権の作品募集・表彰式・作品展開催などに関する事業の周知度 単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) ある	416	59	167	53	242	64	7	58
(2) ない	275	39	144	45	126	33	5	42
(3) その他	5	1	1	0	4	1	0	0
無回答	12	2	5	2	7	2	0	0
計	708	100	317	100	379	100	12	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1) ある	5	56	31	54	45	46	72	63
(2) ない	4	44	25	44	51	52	42	37
(3) その他	0	0	0	0	1	1	0	0
無回答	0	0	1	2	1	1	1	1
計	9	100	57	100	98	100	115	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1) ある	65	60	92	60	106	63	0	0
(2) ない	42	39	58	38	53	32	0	0
(3) その他	1	1	1	1	2	1	0	0
無回答	0	0	2	1	7	4	0	0
計	108	100	153	100	168	100	0	0

図 3-6

単位：%



人権の作品募集・表彰式・作品展開催などの事業を見たことがある人の割合は 59%

「人権作文・ポスター・標語の表彰式・作品展などをご覧になったことはありますか」との設問に対して、「ある」と回答した人の割合は 59%(前回 55%)となっている。

性別では、女性が「ある」(男性 53%・女性 64%)との回答が多く、「ない」(男性 45%・女性 33%)と回答した人は、男性が多い。この比率は前回と同じである。

年齢別では、若い世代で「ない」と回答した人の割合が高くなっている。

(7) 人権尊重のために心がけるべき行動指針に関する意識

問 7 市民一人ひとりの人権を尊重しあうために、心がけたり行動したりすべきことはどのようなことだと思いますか。3 つまで選んでください。

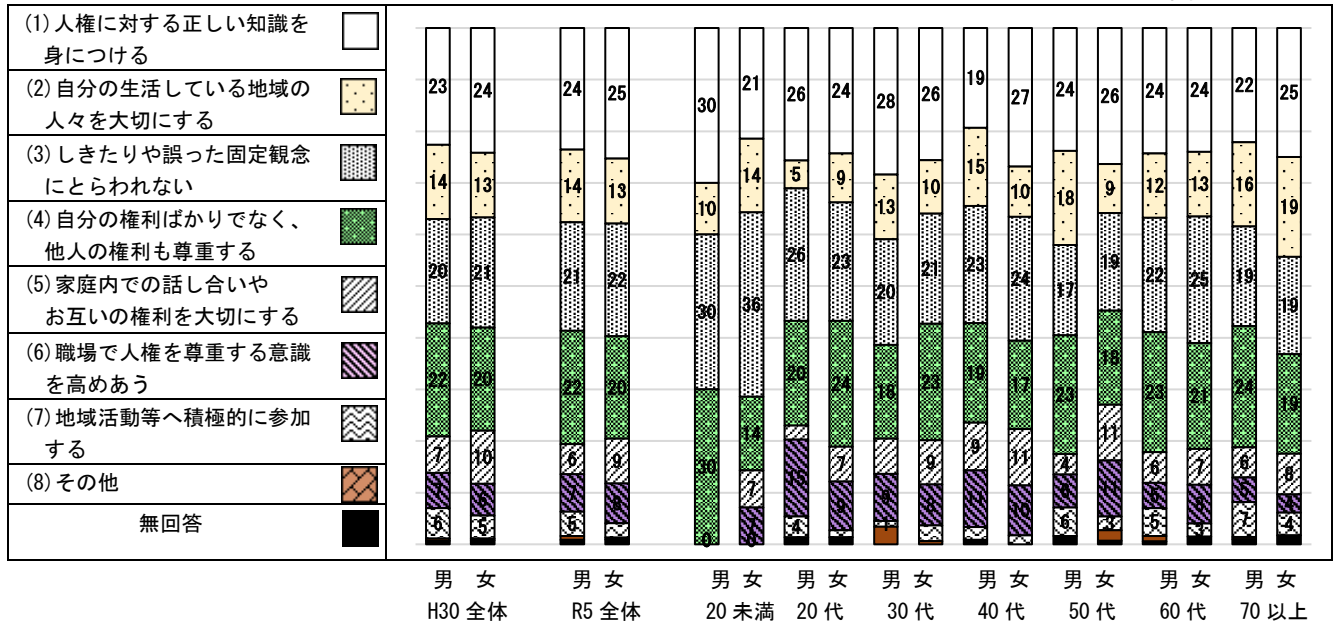
表 3-7 人権尊重のために心がけるべき行動指針に関する意識

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) 人権に対する正しい知識を身につけること	451	24	191	24	254	25	6	18
(2) 自分の生活している地域の人々を大切にすること	246	13	114	14	126	13	6	18
(3) しきたりや誤った固定観念にとらわれないこと	397	22	170	21	219	22	8	24
(4) 自分の権利ばかりでなく、他人の権利も尊重すること	385	21	178	22	199	20	8	24
(5) 家庭内での話し合いやお互いの権利を大切にすること	137	7	47	6	87	9	3	9
(6) 職場で人権を尊重する意識を高めあうこと	137	7	59	7	77	8	1	3
(7) 地域活動等へ積極的に参加すること	66	4	38	5	28	3	0	0
(8) その他	11	1	6	1	4	0	1	3
無回答	16	1	7	1	9	1	0	0
計	1846	100	810	100	1003	100	33	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1) 人権に対する正しい知識を身につけること	6	25	38	25	68	26	71	24
(2) 自分の生活している地域の人々を大切にすること	3	13	12	8	29	11	35	12
(3) しきたりや誤った固定観念にとらわれないこと	8	33	38	25	54	21	70	23
(4) 自分の権利ばかりでなく、他人の権利も尊重すること	5	21	35	23	54	21	55	18
(5) 家庭内での話し合いやお互いの権利を大切にすること	1	4	7	5	21	8	31	10
(6) 職場で人権を尊重する意識を高めあうこと	1	4	18	12	22	9	30	10
(7) 地域活動等へ積極的に参加すること	0	0	4	3	6	2	6	2
(8) その他	0	0	0	0	4	2	0	0
無回答	0	0	2	1	0	0	1	0
計	24	100	154	100	258	100	299	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1) 人権に対する正しい知識を身につけること	69	25	95	24	104	24	0	0
(2) 自分の生活している地域の人々を大切にすること	37	14	51	13	79	18	0	0
(3) しきたりや誤った固定観念にとらわれないこと	50	18	94	24	83	19	0	0
(4) 自分の権利ばかりでなく、他人の権利も尊重すること	56	20	86	22	94	21	0	0
(5) 家庭内での話し合いやお互いの権利を大切にすること	21	8	26	7	30	7	0	0
(6) 職場で人権を尊重する意識を高めあうこと	24	9	24	6	18	4	0	0
(7) 地域活動等へ積極的に参加すること	11	4	15	4	24	5	0	0
(8) その他	3	1	2	1	2	0	0	0
無回答	3	1	4	1	6	1	0	0
計	274	100	397	100	440	100	0	0

図 3-7

単位：%



自他の人権を尊重するためには、人権に対する正しい知識を身につけることだと考えている人の割合は 24%

市民一人ひとりの人権を尊重しあうために、心がけたり行動したりすべきことについて、「人権に対する正しい知識を身につけること」と回答した人の割合は 24%(前回 24%)と最も高く、次いで「しきたりや誤った固定観念にとらわれないこと」(22%) (前回 21%)、「自分の権利ばかりでなく、他人の権利も尊重すること」(21%) (前回 21%)の順となっている。前回調査とほぼ同じ結果になっている。

4 さまざまな人権課題の意識や考え方について

(1) 女性に関する人権上の問題点

問 1(1) あなたは女性に関して、現在どのような人権上の問題があると思われますか。
3 つまで選んでください。

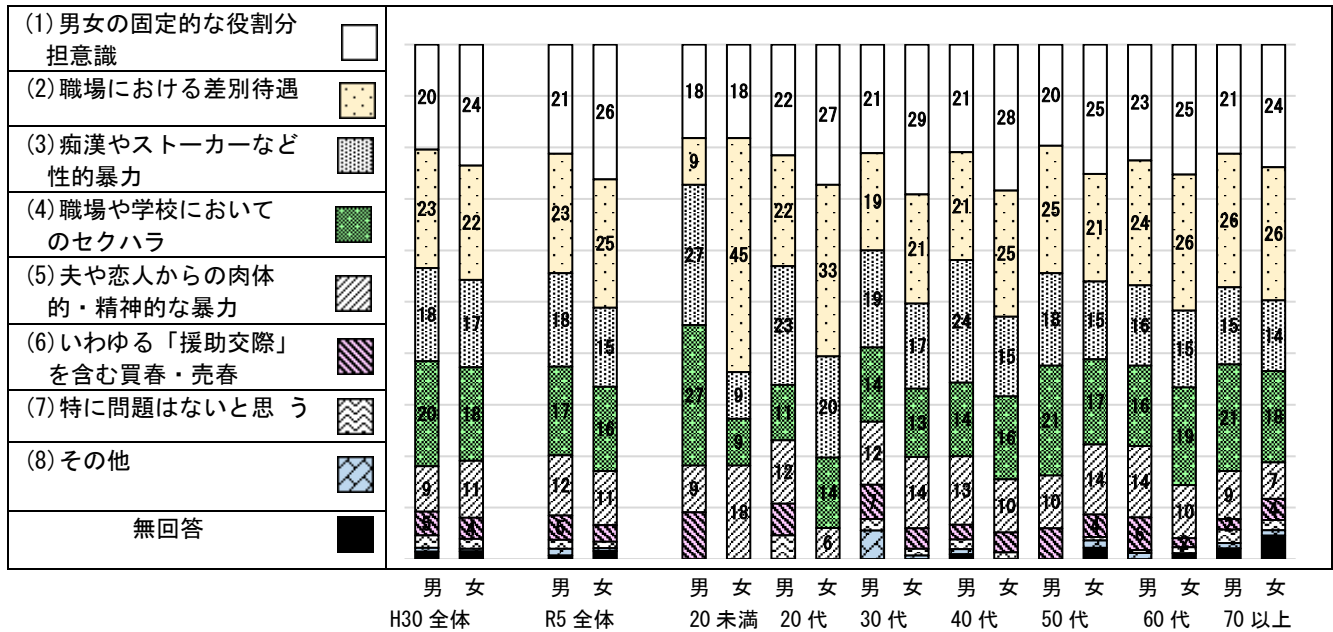
表 4-1 女性に関する人権上の問題点

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) 男女の固定的な役割分担意識 (男は仕事、女は家庭など)	400	24	160	21	234	26	6	23
(2) 職場における差別待遇 (賃金、昇給、昇格、職種など)	401	24	175	23	223	25	3	12
(3) 痴漢やストーカーなど性的暴力	278	17	137	18	137	15	4	15
(4) 職場や学校におけるハラスメント	281	17	130	17	146	16	5	19
(5) 夫や恋人からの肉体的・精神的な暴力 (DV)	186	11	88	12	94	11	4	15
(6) いわゆる「援助交際」を含む買春・売春	68	4	36	5	29	3	3	12
(7) 特に問題はないと思う	25	1	13	2	11	1	1	4
(8) その他	15	1	10	1	5	1	0	0
無回答	19	1	5	1	14	2	0	0
計	1673	100	754	100	893	100	26	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1) 男女の固定的な役割分担意識 (男は仕事、女は家庭など)	4	18	33	24	65	27	68	26
(2) 職場における差別待遇 (賃金、昇給、昇格、職種など)	6	27	36	27	49	20	62	23
(3) 痴漢やストーカーなど性的暴力	4	18	30	22	43	18	49	18
(4) 職場や学校におけるハラスメント	4	18	16	12	34	14	41	15
(5) 夫や恋人からの肉体的・精神的な暴力 (DV)	3	14	12	9	32	13	30	11
(6) いわゆる「援助交際」を含む買春・売春	1	5	5	4	12	5	9	3
(7) 特に問題はないと思う	0	0	3	2	4	2	4	2
(8) その他	0	0	0	0	6	2	1	0
無回答	0	0	0	0	0	0	1	0
計	22	100	135	100	245	100	265	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1) 男女の固定的な役割分担意識 (男は仕事、女は家庭など)	58	23	84	24	88	22	0	0
(2) 職場における差別待遇 (賃金、昇給、昇格、職種など)	58	23	89	25	101	26	0	0
(3) 痴漢やストーカーなど性的暴力	42	16	53	15	57	14	0	0
(4) 職場や学校におけるハラスメント	48	19	62	17	76	19	0	0
(5) 夫や恋人からの肉体的・精神的な暴力 (DV)	31	12	45	13	33	8	0	0
(6) いわゆる「援助交際」を含む買春・売春	13	5	16	4	12	3	0	0
(7) 特に問題はないと思う	1	0	3	1	10	3	0	0
(8) その他	2	1	2	1	4	1	0	0
無回答	3	1	2	1	13	3	0	0
計	256	100	356	100	394	100	0	0

図 4-1

単位：％



女性に関する人権問題について、「男女の固定的な役割分担意識」「職場における差別待遇」が24%、「痴漢やストーカーなど性的暴力」「職場や学校におけるハラスメント」が17%

女性に関する人権上の問題点について、「男女の固定的な役割分担意識（男は仕事、女は家庭など）」（24%）（前回 22%）、「職場における差別待遇（賃金、昇給、昇格、職種など）」（24%）（前回 23%）と高く、次いで「痴漢やストーカーなど性的暴力」（17%）（前回 18%）「職場や学校におけるハラスメント」（17%）（前回 19%）の順となり、前回と同様の傾向を示している。

性別で比較すると、女性の方が「男女の固定的な役割分担意識」と回答した人の割合が 26%（前回 23%）と、男性の 21%（前回 20%）と比べて高くなっている。

年齢別では、上記の傾向と差はみられない。

(2) 女性の人権を尊重するために必要な方策

問 1 (2) 女性の人権を尊重するために必要なことはどのようなことだと思いますか。
3 つまで選んでください。

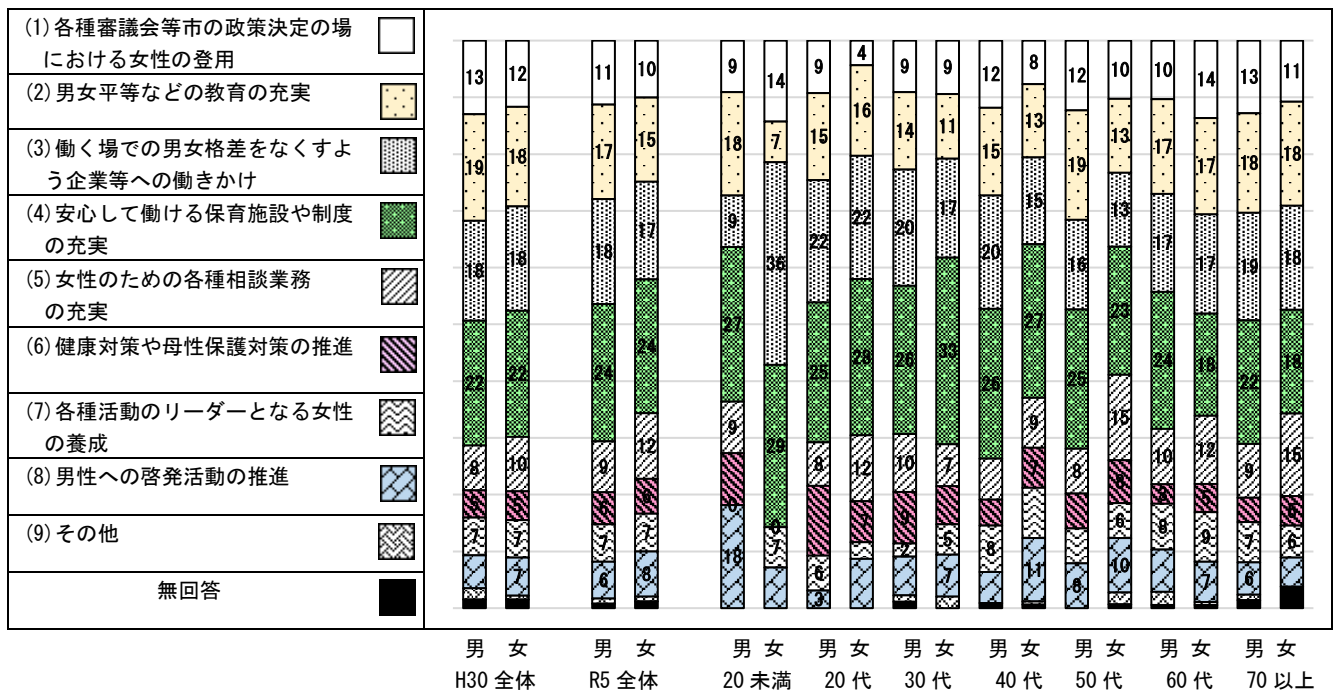
表 4-2 女性の人権を尊重するために必要な方策

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)各種審議会など市の政策決定の場における女性の登用	187	11	87	11	95	10	5	16
(2)男女平等などの教育の充実	275	16	129	17	140	15	6	19
(3)働く場での男女格差をなくすよう企業等への働きかけ	309	18	143	18	162	17	4	13
(4)安心して働くための保育施設や制度の充実	418	24	187	24	223	24	8	26
(5)女性のための各種相談業務の充実	182	10	69	9	109	12	4	13
(6)健康対策や母性保護対策の推進	104	6	44	6	58	6	2	6
(7)各種活動のリーダーとなる女性の養成	116	7	51	7	63	7	2	6
(8)男性への啓発活動の推進	125	7	50	6	75	8	0	0
(9)その他	15	1	7	1	8	1	0	0
無回答	17	1	6	1	11	1	0	0
計	1748	100	773	100	944	100	31	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1)各種審議会など市の政策決定の場における女性の登用	3	12	10	7	23	9	27	9
(2)男女平等などの教育の充実	3	12	22	16	31	13	40	14
(3)働く場での男女格差をなくすよう企業等への働きかけ	6	24	29	21	45	19	49	17
(4)安心して働くための保育施設や制度の充実	7	28	36	26	74	30	77	27
(5)女性のための各種相談業務の充実	1	4	15	11	20	8	23	8
(6)健康対策や母性保護対策の推進	1	4	13	9	18	7	17	6
(7)各種活動のリーダーとなる女性の養成	1	4	6	4	10	4	25	9
(8)男性への啓発活動の推進	3	12	8	6	17	7	25	9
(9)その他	0	0	0	0	4	2	1	0
無回答	0	0	0	0	1	0	2	1
計	25	100	139	100	243	100	286	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1)各種審議会など市の政策決定の場における女性の登用	29	11	44	12	51	12	0	0
(2)男女平等などの教育の充実	41	16	61	17	77	18	0	0
(3)働く場での男女格差をなくすよう企業等への働きかけ	37	14	64	18	79	18	0	0
(4)安心して働くための保育施設や制度の充実	61	23	77	21	86	20	0	0
(5)女性のための各種相談業務の充実	31	12	40	11	52	12	0	0
(6)健康対策や母性保護対策の推進	18	7	16	4	21	5	0	0
(7)各種活動のリーダーとなる女性の養成	16	6	30	8	28	7	0	0
(8)男性への啓発活動の推進	23	9	26	7	23	5	0	0
(9)その他	3	1	5	1	2	0	0	0
無回答	1	0	2	1	11	3	0	0
計	260	100	365	100	430	100	0	0

図 4-2

単位：％



女性の人権を尊重するために必要なことについて、「安心して働くための保育施設や制度の充実」が24%で最も多く、次いで「働く場での男女格差をなくすよう企業等への働きかけ」が18%

女性の人権を尊重するために必要なことについて、「安心して働くための保育施設や制度の充実」と回答した人の割合は24%（前回22%）と最も高く、次いで「働く場での男女格差をなくすよう企業等への働きかけ」（18%）（前回18%）、「男女平等などの教育の充実」（16%）（前回18%）の順となっている。

性別による差異は、前回調査と同様にほとんどなくなっている。

年齢別では、30～39歳の「安心して働くための保育施設や制度の充実」と回答した人の割合が30%（前回28%）と、他の年齢層よりも高くなっており、前回よりも微増している。それ以外の項目では、年代別の特徴的な差異は認められない。

(3) 子どもに関する人権上の問題点

問2(1) あなたは子どもに関して、現在どのような人権上の問題があると思いますか。
3つまで選んでください。

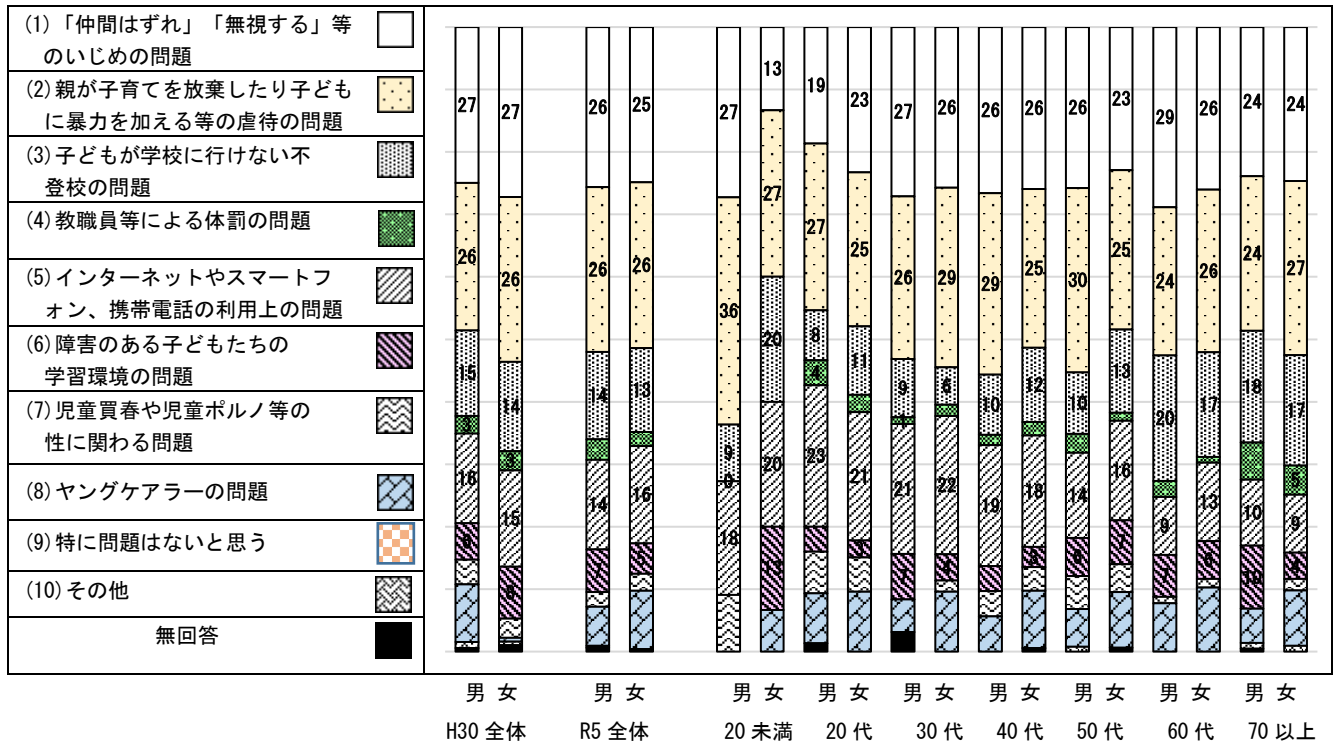
表4-3 子どもに関する人権上の問題点

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)「仲間はずれ」や相手を「無視する」などのいじめの問題	485	25	218	26	255	25	12	33
(2)親が子育てを放棄したり、子どもに暴力を加えるなどの虐待の問題	506	26	224	26	273	26	9	25
(3)子どもが学校に行けない不登校の問題	259	13	119	14	138	13	2	6
(4)教職員等による体罰の問題	53	3	28	3	23	2	2	6
(5)インターネットやスマートフォン、携帯電話の利用上の問題	286	15	122	14	160	16	4	11
(6)障害のある子どもたちの学習環境の問題	110	6	58	7	50	5	2	6
(7)児童買春や児童ポルノ等の性に関わる問題	50	3	20	2	28	3	2	6
(8)ヤングケアラーの問題	152	8	53	6	96	9	3	8
(9)特に問題はないと思う	5	0	3	0	2	0	0	0
(10)その他	7	0	5	1	2	0	0	0
無回答	9	0	4	0	5	0	0	0
計	1922	100	854	100	1032	100	36	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1)「仲間はずれ」や相手を「無視する」などのいじめの問題	5	19	33	21	71	26	83	26
(2)親が子育てを放棄したり、子どもに暴力を加えるなどの虐待の問題	8	31	40	26	75	28	84	27
(3)子どもが学校に行けない不登校の問題	4	15	14	9	19	7	34	11
(4)教職員等による体罰の問題	0	0	5	3	4	1	6	2
(5)インターネットやスマートフォン、携帯電話の利用上の問題	5	19	33	21	58	22	58	18
(6)障害のある子どもたちの学習環境の問題	2	8	5	3	15	6	11	3
(7)児童買春や児童ポルノ等の性に関わる問題	1	4	10	6	3	1	13	4
(8)ヤングケアラーの問題	1	4	13	8	21	8	25	8
(9)特に問題はないと思う	0	0	0	0	0	0	0	0
(10)その他	0	0	1	1	3	1	1	0
無回答	0	0	0	0	0	0	1	0
計	26	100	154	100	269	100	316	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1)「仲間はずれ」や相手を「無視する」などのいじめの問題	70	24	116	28	107	24	0	0
(2)親が子育てを放棄したり、子どもに暴力を加えるなどの虐待の問題	79	27	104	25	116	26	0	0
(3)子どもが学校に行けない不登校の問題	34	12	76	18	78	17	0	0
(4)教職員等による体罰の問題	6	2	8	2	24	5	0	0
(5)インターネットやスマートフォン、携帯電話の利用上の問題	43	15	46	11	43	10	0	0
(6)障害のある子どもたちの学習環境の問題	19	7	27	6	31	7	0	0
(7)児童買春や児童ポルノ等の性に関わる問題	14	5	5	1	4	1	0	0
(8)ヤングケアラーの問題	22	8	39	9	31	7	0	0
(9)特に問題はないと思う	1	0	0	0	4	1	0	0
(10)その他	1	0	0	0	1	0	0	0
無回答	0	0	0	0	8	2	0	0
計	289	100	421	100	447	100	0	0

図 4-3

単位：％



子どもに関する人権問題について、「親が子育てを放棄したり、子どもに暴力を加えるなどの虐待の問題」と回答した人が最も多く 29%

子どもに関する人権上の問題点について、「親が子育てを放棄したり、子どもに暴力を加えるなどの虐待の問題」(26%) (前回 26%) と最も高く、次いで『仲間はずれ』や相手を『無視する』などのいじめの問題」(25%) (前回 27%)、「インターネットやスマートフォン、携帯電話の利用上の問題」(15%) (前回 16%)、「子どもが学校に行けない不登校の問題」(13%) (前回 15%) の順となっている。前回調査では、『仲間はずれ』や相手を『無視する』などのいじめの問題」の方が高い割合を示していたが、今回は「親が子育てを放棄したり、子どもに暴力を加えるなどの虐待の問題」が最も高くなっている。その他の項目においては前回とほぼ同様の結果である。

今回は「ヤングケアラーの問題」項目を追加したが、どの年代も 10% 近くの割合を示している。

(4) 子どもの人権を尊重するために必要な方策

問 2(2) 子どもの人権を尊重するために必要なことはどのようなことだと思いますか。
3 つまで選んでください。

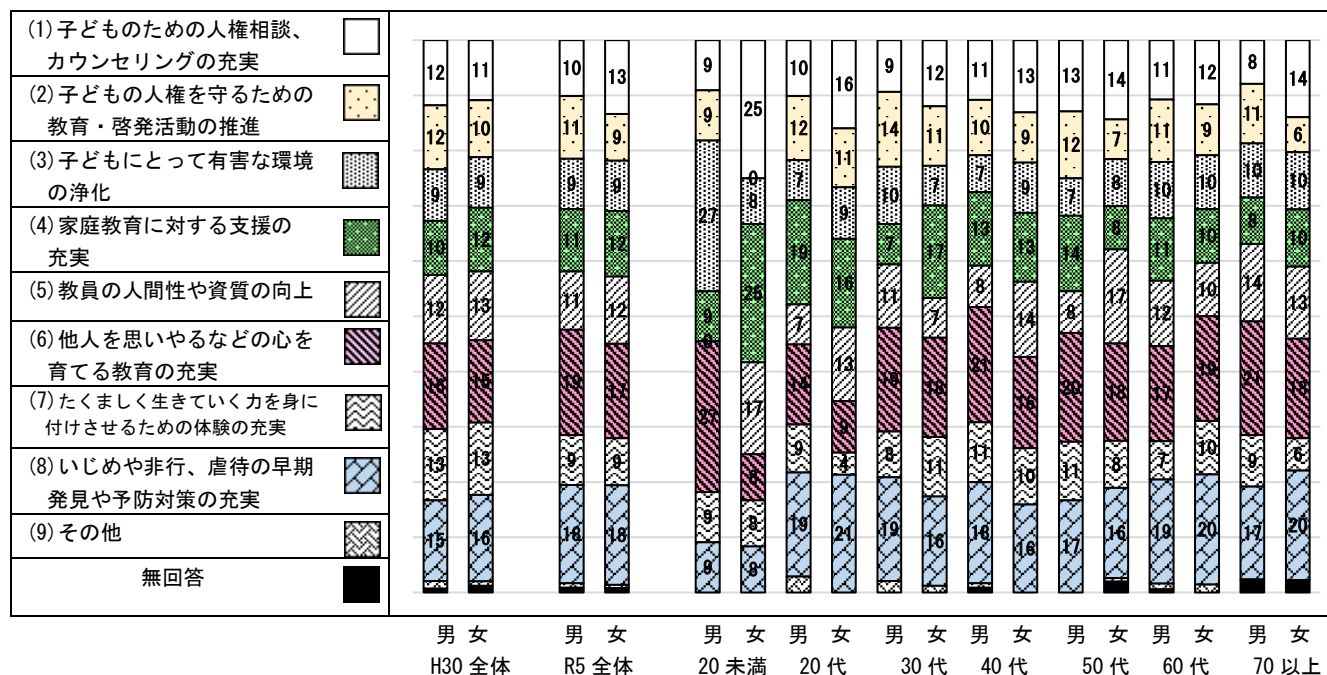
表 4-4 子どもの人権を尊重するために必要な方策

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)子どものための人権相談、カウンセリングの充実	223	12	84	10	135	13	4	11
(2)子どもの人権を守るための教育・啓発活動の推進	185	10	94	11	86	9	5	14
(3)子どもにとって有害な環境の浄化	168	9	75	9	92	9	1	3
(4)家庭教育に対する支援の充実	217	12	94	11	120	12	3	8
(5)教員の人間性や資質の向上	216	12	87	11	123	12	6	16
(6)他人を思いやるなどの心を育てる教育の充実	336	18	158	19	173	17	5	14
(7)たくましく生きていく力を身に付けさせるための体験の充実	165	9	75	9	86	9	4	11
(8)いじめや非行、虐待の早期発見や予防対策の充実	337	18	147	18	182	18	8	22
(9)その他	14	1	7	1	6	1	1	3
無回答	15	1	7	1	8	1	0	0
計	1876	100	828	100	1011	100	37	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1)子どものための人権相談、カウンセリングの充実	4	17	20	13	30	11	36	12
(2)子どもの人権を守るための教育・啓発活動の推進	1	4	17	11	33	12	29	10
(3)子どもにとって有害な環境の浄化	4	17	12	8	22	8	24	8
(4)家庭教育に対する支援の充実	4	17	26	17	36	13	38	13
(5)教員の人間性や資質の向上	2	9	17	11	23	9	34	11
(6)他人を思いやるなどの心を育てる教育の充実	4	17	17	11	50	19	55	18
(7)たくましく生きていく力を身に付けさせるための体験の充実	2	9	9	6	26	10	32	11
(8)いじめや非行、虐待の早期発見や予防対策の充実	2	9	31	21	45	17	52	17
(9)その他	0	0	2	1	4	1	1	0
無回答	0	0	0	0	0	0	1	0
計	23	100	151	100	269	100	302	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1)子どものための人権相談、カウンセリングの充実	39	14	45	11	49	11	0	0
(2)子どもの人権を守るための教育・啓発活動の推進	27	9	41	10	37	8	0	0
(3)子どもにとって有害な環境の浄化	22	8	40	10	44	10	0	0
(4)家庭教育に対する支援の充実	30	11	41	10	42	10	0	0
(5)教員の人間性や資質の向上	36	13	44	11	60	14	0	0
(6)他人を思いやるなどの心を育てる教育の充実	53	19	73	18	84	19	0	0
(7)たくましく生きていく力を身に付けさせるための体験の充実	27	9	35	9	34	8	0	0
(8)いじめや非行、虐待の早期発見や予防対策の充実	47	16	79	20	81	18	0	0
(9)その他	1	0	5	1	1	0	0	0
無回答	3	1	1	0	10	2	0	0
計	285	100	404	100	442	100	0	0

図 4-4

単位：％



子どもの人権を尊重するために必要なことについて、「他人を思いやるなどの心を育てる教育の充実」、「いじめや非行、虐待の早期発見や予防対策の充実」と回答した人が 18%

子どもの人権を尊重するために必要なことについて、「他人を思いやるなどの心を育てる教育の充実」（前回 15%）「いじめや非行、虐待の早期発見や予防対策の充実」（前回 15%）と回答した人の割合が 18%と最も高く、次いで、「子どものための人権相談、カウンセリングの充実」、「家庭教育に対する支援の充実」、「教員の人間性や資質の向上」（12%）が同じ割合となっている。

前回調査と同様に、性別による差異はあまり見られない。

(5) 高齢者に関する人権上の問題点

問3(1) あなたは高齢者に関して、現在どのような人権上の問題があると思いますか。
3つまで選んでください。

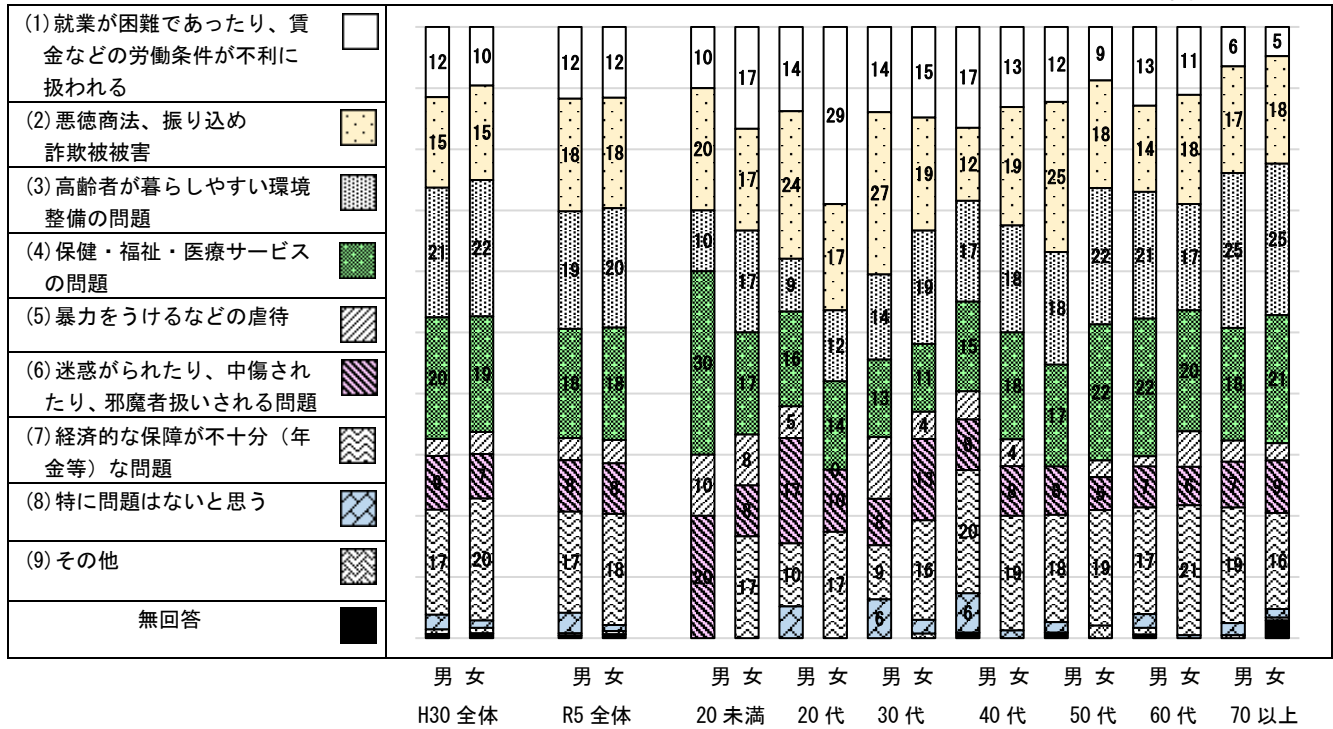
表4-5 高齢者に関する人権上の問題点

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)就業が困難であったり、賃金などの労働条件が不利に扱われる	202	12	88	12	109	12	5	17
(2)悪徳商法、振り込め詐欺被害	314	18	138	18	170	18	6	20
(3)高齢者が暮らしやすい環境整備の問題	330	19	144	19	184	20	2	7
(4)保健・福祉・医療サービスの問題	314	18	134	18	173	18	7	23
(5)暴力をうけるなどの虐待	64	4	27	4	36	4	1	3
(6)迷惑がられたり、中傷されたり、邪魔者扱いされる問題	144	8	63	8	78	8	3	10
(7)経済的な保障が不十分(年金等)な問題	301	18	124	17	171	18	6	20
(8)特に問題はないと思う	34	2	25	3	9	1	0	0
(9)その他	8	0	3	0	5	1	0	0
無回答	9	1	3	0	6	1	0	0
計	1720	100	749	100	941	100	30	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1)就業が困難であったり、賃金などの労働条件が不利に扱われる	3	14	29	22	32	15	40	15
(2)悪徳商法、振り込め詐欺被害	4	18	28	21	46	21	45	16
(3)高齢者が暮らしやすい環境整備の問題	3	14	13	10	36	17	48	17
(4)保健・福祉・医療サービスの問題	5	23	19	15	26	12	45	16
(5)暴力をうけるなどの虐待	2	9	3	2	14	6	12	4
(6)迷惑がられたり、中傷されたり、邪魔者扱いされる問題	3	14	17	13	24	11	22	8
(7)経済的な保障が不十分(年金等)な問題	2	9	19	15	30	14	53	19
(8)特に問題はないと思う	0	0	3	2	8	4	9	3
(9)その他	0	0	0	0	1	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	1	0
計	22	100	131	100	217	100	275	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1)就業が困難であったり、賃金などの労働条件が不利に扱われる	27	10	48	12	23	6	0	0
(2)悪徳商法、振り込め詐欺被害	54	21	63	16	74	18	0	0
(3)高齢者が暮らしやすい環境整備の問題	54	21	73	18	103	25	0	0
(4)保健・福祉・医療サービスの問題	52	20	85	21	82	20	0	0
(5)暴力をうけるなどの虐待	4	2	15	4	14	3	0	0
(6)迷惑がられたり、中傷されたり、邪魔者扱いされる問題	17	6	26	7	35	8	0	0
(7)経済的な保障が不十分(年金等)な問題	48	18	78	20	71	17	0	0
(8)特に問題はないと思う	2	1	5	1	7	2	0	0
(9)その他	3	1	2	1	2	0	0	0
無回答	1	0	1	0	6	1	0	0
計	262	100	396	100	417	100	0	0

図 4-5

単位：%



高齢者に関する人権問題について、「高齢者が暮らしやすい環境整備の問題」が 19%

高齢者に関する人権上の問題点について、「高齢者が暮らしやすい環境整備の問題」と回答した人の割合が 19%（前回 22%）と最も高く、次いで「悪徳商法、振り込め詐欺被害」（18%）（前回 15%）「保健・福祉・医療サービスの問題」（18%）（前回 19%）、「経済的な保障が不十分（年金等）な問題」（18%）（前回 19%）が同じ割合となっている。前回調査で 15%であった「悪徳商法、振り込め詐欺被害」（18%）の割合が増えてきている。

年齢別では、年齢が高くなるにつれて、「高齢者が暮らしやすい環境整備の問題」「保健・福祉・医療サービスの問題」「経済的な保障が不十分（年金等）な問題」等を回答した人の割合は高くなっている。

(6) 高齢者の人権を尊重するために必要な方策

問 3(2) 高齢者の人権を尊重するために必要なことはどのようなことだと思いますか。
3 つまで選んでください。

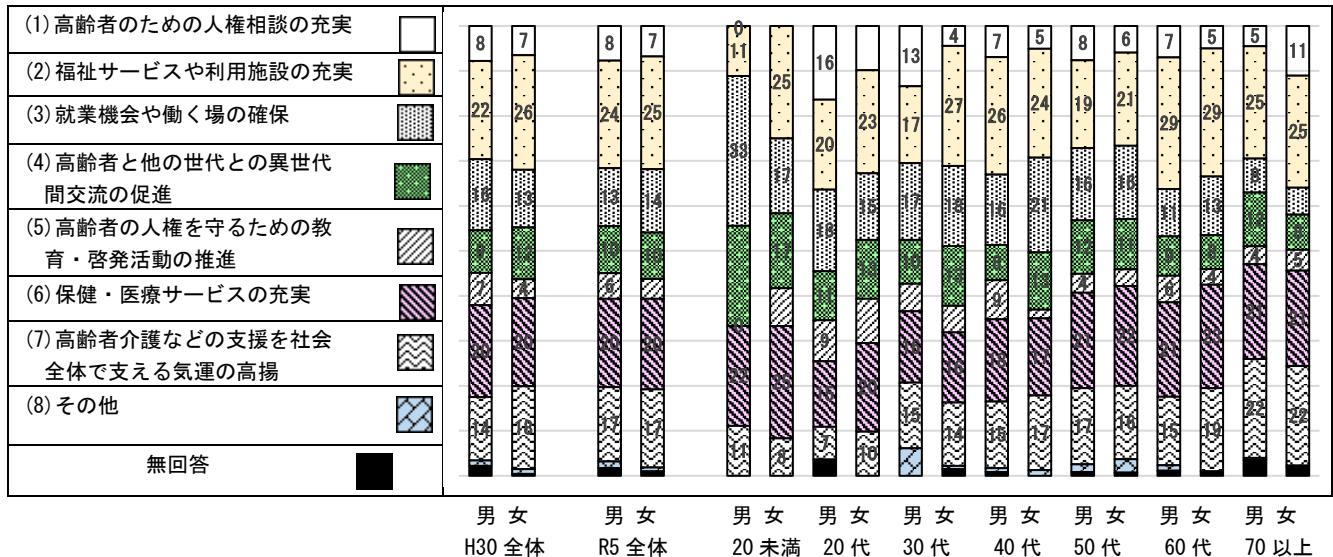
表 4-6 高齢者の人権を尊重するために必要な方策

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) 高齢者のための人権相談の充実	122	7	58	8	62	7	2	8
(2) 福祉サービスや利用施設の充実	414	24	179	24	230	25	5	20
(3) 就業機会や働く場の確保	231	14	97	13	129	14	5	20
(4) 高齢者和其他の世代との異世代間交流の促進	174	10	78	10	95	10	1	4
(5) 高齢者の人権を守るための教育・啓発活動の推進	84	5	43	6	40	4	1	4
(6) 保健・医療サービスの充実	338	20	147	20	185	20	6	24
(7) 高齢者介護などの支援を社会全体で支える気運の高揚	287	17	124	17	159	17	4	16
(8) その他	20	1	11	1	8	1	1	4
無回答	22	1	13	2	9	1	0	0
計	1692	100	750	100	917	100	25	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1) 高齢者のための人権相談の充実	0	0	15	13	17	8	16	6
(2) 福祉サービスや利用施設の充実	4	19	26	22	51	23	69	25
(3) 就業機会や働く場の確保	5	24	20	17	38	17	53	19
(4) 高齢者和其他の世代との異世代間交流の促進	4	19	14	12	26	12	29	10
(5) 高齢者の人権を守るための教育・啓発活動の推進	1	5	12	10	13	6	13	5
(6) 保健・医療サービスの充実	5	24	21	18	34	16	49	18
(7) 高齢者介護などの支援を社会全体で支える気運の高揚	2	10	10	8	31	14	44	16
(8) その他	0	0	0	0	6	3	3	1
無回答	0	0	2	2	2	1	1	0
計	21	100	120	100	218	100	277	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1) 高齢者のための人権相談の充実	17	7	23	6	34	8	0	0
(2) 福祉サービスや利用施設の充実	51	20	109	29	104	25	0	0
(3) 就業機会や働く場の確保	41	16	45	12	29	7	0	0
(4) 高齢者和其他の世代との異世代間交流の促進	29	11	30	8	42	10	0	0
(5) 高齢者の人権を守るための教育・啓発活動の推進	10	4	17	4	18	4	0	0
(6) 保健・医療サービスの充実	55	22	86	23	88	21	0	0
(7) 高齢者介護などの支援を社会全体で支える気運の高揚	42	17	65	17	93	22	0	0
(8) その他	6	2	2	1	3	1	0	0
無回答	2	1	4	1	11	3	0	0
計	253	100	381	100	422	100	0	0

図 4-6

単位：％



高齢者の人権を尊重するために必要なことについて、「福祉サービスや利用施設の充実」24%、次いで「保健・医療サービスの充実」と回答した人が20%

高齢者の人権を尊重するために必要なことについて、「福祉サービスや利用施設の充実」と回答した人の割合が24%（前回24%）と最も高く、次いで「保健・医療サービスの充実」（20%）（前回20%）、「高齢者介護などの支援を社会全体で支える気運の高揚」（17%）（前回17%）の順となっている。この傾向は前回調査と変わっていない。

前回調査で、女性の方が男性に比べて高い回答率を示した、「福祉サービスや利用施設の充実」（女性25%、男性22%）、「高齢者介護などの支援を社会全体で支える気運の高揚」（女性18%、男性14%）、「高齢者和其他の世代との異世代間交流の促進」（女性12%、男性9%）に対し、男性の方が女性に比べて高い回答率を示したのは、「就業機会や働く場の確保」（男性16%、女性13%）、「高齢者のための人権相談の充実」（男性8%、女性6%）、「高齢者の人権を守るための教育・啓発活動の推進」（男性7%、女性4%）であったが、今回は性別による大きな差異はみられない。

年齢別では、「就業機会や働く場の確保」と回答した人の割合は、高齢になるほど低い割合となっている。

(7) 障害のある人に関する人権上の問題点

問 4(1) あなたは障害のある人に関して、現在どのような人権上の問題があると思いますか。3 つまで選んでください。

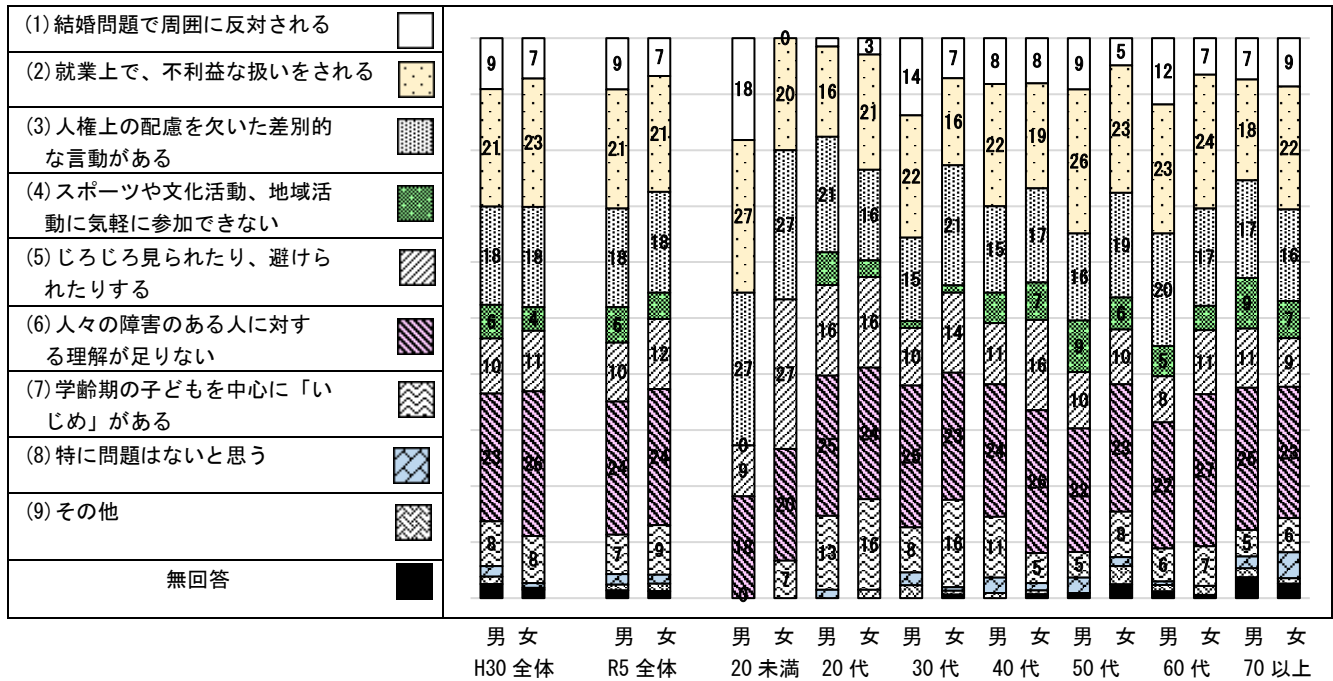
表 4-7 障害のある人に関する人権上の問題点

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) 結婚問題で周囲に反対される	132	8	68	9	60	7	4	13
(2) 就業上で、不利益な扱いをされる	349	21	158	21	184	21	7	23
(3) 人権上の配慮を欠いた差別的な言動がある	296	18	131	18	160	18	5	17
(4) スポーツや文化活動、地域活動に気軽に参加できない	90	5	47	6	42	5	1	3
(5) じろじろ見られたり、避けられたりする	194	12	78	10	111	12	5	17
(6) 人々の障害のある人に対する理解が足りない	398	24	177	24	216	24	5	17
(7) 学齢期の子どもを中心に「いじめ」がある	132	8	52	7	79	9	1	3
(8) 特に問題はないと思う	30	2	14	2	14	2	2	7
(9) その他	20	1	8	1	12	1	0	0
無回答	21	1	10	1	11	1	0	0
計	1662	100	743	100	889	100	30	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1) 結婚問題で周囲に反対される	2	8	4	3	23	9	22	8
(2) 就業上で、不利益な扱いをされる	6	23	26	18	44	18	54	20
(3) 人権上の配慮を欠いた差別的な言動がある	7	27	27	19	46	19	42	16
(4) スポーツや文化活動、地域活動に気軽に参加できない	0	0	6	4	4	2	16	6
(5) じろじろ見られたり、避けられたりする	5	19	23	16	33	13	38	14
(6) 人々の障害のある人に対する理解が足りない	5	19	33	23	59	24	64	24
(7) 学齢期の子どもを中心に「いじめ」がある	1	4	21	15	31	13	20	8
(8) 特に問題はないと思う	0	0	1	1	3	1	5	2
(9) その他	0	0	1	1	3	1	2	1
無回答	0	0	0	0	1	0	1	0
計	26	100	142	100	247	100	264	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1) 結婚問題で周囲に反対される	16	7	34	9	31	8	0	0
(2) 就業上で、不利益な扱いをされる	56	24	86	24	77	20	0	0
(3) 人権上の配慮を欠いた差別的な言動がある	40	17	69	19	65	17	0	0
(4) スポーツや文化活動、地域活動に気軽に参加できない	17	7	17	5	30	8	0	0
(5) じろじろ見られたり、避けられたりする	23	10	35	10	37	10	0	0
(6) 人々の障害のある人に対する理解が足りない	52	22	91	25	94	24	0	0
(7) 学齢期の子どもを中心に「いじめ」がある	15	6	23	6	21	5	0	0
(8) 特に問題はないと思う	5	2	1	0	15	4	0	0
(9) その他	4	2	5	1	5	1	0	0
無回答	4	2	3	1	12	3	0	0
計	232	100	364	100	387	100	0	0

図 4-7

単位：％



障害のある人に関する人権問題について、「人々の障害のある人に対する理解が足りない」24%、「就業上で、不利益な扱いをされる」が21%

障害のある人に関する人権上の問題点について、「人々の障害のある人に対する理解が足りない」と回答した人の割合が24%（前回24%）と最も高く、次いで「就業上、不利益な扱いをされる」（21%）（前回22%）、「人権上の配慮を欠いた差別的な言動がある」（18%）（前回18%）の順となっている。

性別では、約2%程度の差があるものの、男女による大きな割合の差はみられない。

年齢別では、「じろじろ見られたり、避けられたりする」と回答した人は、年齢が高くなると割合は低くなる。

(8) 障害のある人の人権を尊重するために必要な方策

問 4(2) 障害のある人の人権を尊重するために必要なことはどのようなことだと思いますか。 3 つまで選んでください。

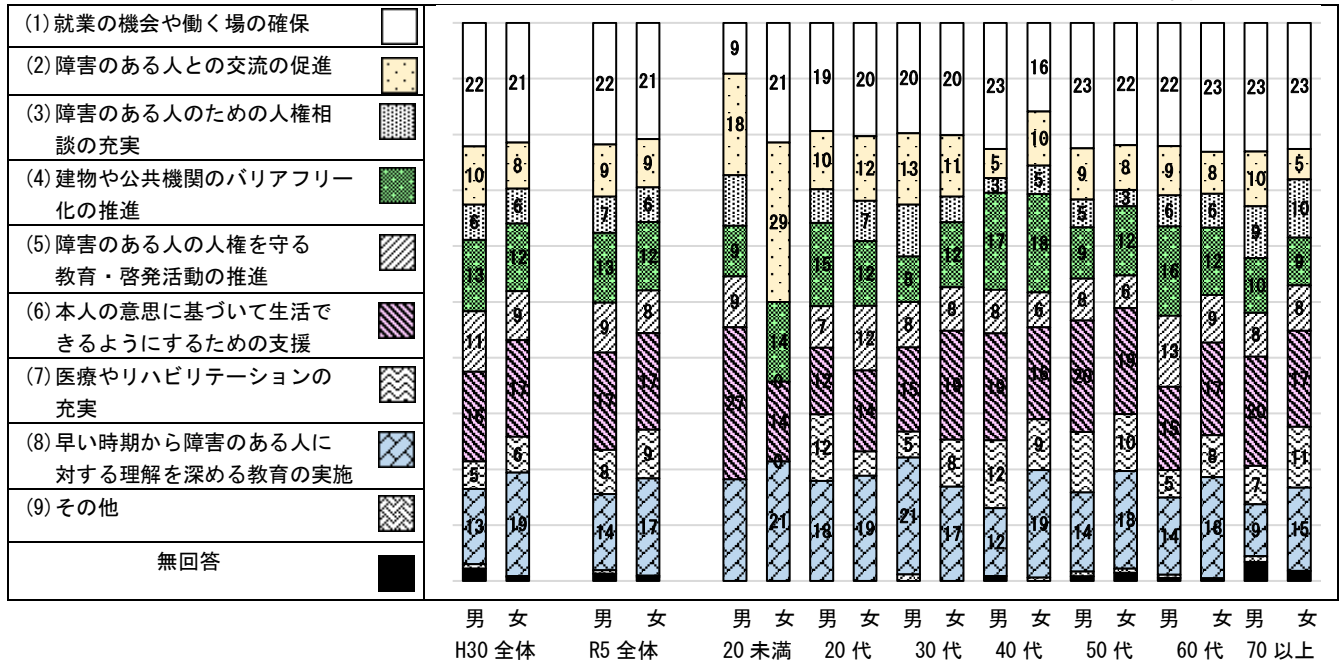
表 4-8 障害のある人の人権を尊重するために必要な方策

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) 就業の機会や働く場の確保	381	21	171	22	202	21	8	24
(2) 障害のある人との交流の促進	158	9	73	9	84	9	1	3
(3) 障害のある人の人権相談の充実	115	6	51	7	60	6	4	12
(4) 建物や公共機関のバリアフリー化の推進	221	12	98	13	119	12	4	12
(5) 障害のある人の人権を守る教育・啓発活動の推進	147	8	70	9	74	8	3	9
(6) 本人の意思に基づいて生活できるようにするための支援	311	17	137	17	168	17	6	18
(7) 医療やリハビリテーションの充実	149	8	62	8	85	9	2	6
(8) 早い時期から障害のある人に対する理解を深める教育の実施	280	16	107	14	169	17	4	12
(9) その他	8	0	5	1	2	0	1	3
無回答	17	1	10	1	7	1	0	0
計	1787	100	784	100	970	100	33	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1) 就業の機会や働く場の確保	4	16	28	20	50	20	56	19
(2) 障害のある人との交流の促進	6	24	15	11	28	11	24	8
(3) 障害のある人の人権相談の充実	1	4	10	7	15	6	12	4
(4) 建物や公共機関のバリアフリー化の推進	3	12	19	13	25	10	52	18
(5) 障害のある人の人権を守る教育・啓発活動の推進	1	4	14	10	20	8	20	7
(6) 本人の意思に基づいて生活できるようにするための支援	5	20	19	13	44	18	53	18
(7) 医療やリハビリテーションの充実	0	0	11	8	18	7	30	10
(8) 早い時期から障害のある人に対する理解を深める教育の実施	5	20	26	18	44	18	48	16
(9) その他	0	0	0	0	1	0	1	0
無回答	0	0	0	0	0	0	1	0
計	25	100	142	100	245	100	297	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1) 就業の機会や働く場の確保	57	22	88	22	98	23	0	0
(2) 障害のある人との交流の促進	22	9	31	8	32	7	0	0
(3) 障害のある人の人権相談の充実	10	4	24	6	43	10	0	0
(4) 建物や公共機関のバリアフリー化の推進	28	11	55	14	39	9	0	0
(5) 障害のある人の人権を守る教育・啓発活動の推進	17	7	41	10	34	8	0	0
(6) 本人の意思に基づいて生活できるようにするための支援	50	19	62	16	78	18	0	0
(7) 医療やリハビリテーションの充実	27	11	24	6	39	9	0	0
(8) 早い時期から障害のある人に対する理解を深める教育の実施	41	16	64	16	52	12	0	0
(9) その他	2	1	1	0	3	1	0	0
無回答	3	1	2	1	11	3	0	0
計	257	100	392	100	429	100	0	0

図 4-8

単位：％



障害のある人の人権を尊重するために必要なことについて、「就業の機会や働く場の確保」が21%

障害のある人の人権を尊重するために必要なことについて、「就業の機会や働く場の確保」と回答した人の割合は21%（前回22%）と最も高く、次いで「本人の意思に基づいて生活できるようにするための支援」（17%）（前回17%）、「早い時期から障害のある人に対する理解を深める教育の実施」（16%）（前回16%）の順となっており、この傾向は前回と変わらない。

性別で比較すると、「早い時期から障害のある人に対する理解を深める教育の実施」と回答した人の割合は女性が17%で、男性の14%と比べて高くなっている。

年齢別で比較すると、20歳以下と20～30代で「早い時期から障害のある人に対する理解を深める教育の実施」と回答した人が18～20%と他の年代に比べて高くなっている。

(9) 同和問題に関する人権上の問題点

問 5(1) あなたは同和問題に関して、現在どのような人権上の問題があると思いますか。
3 つまで選んでください。

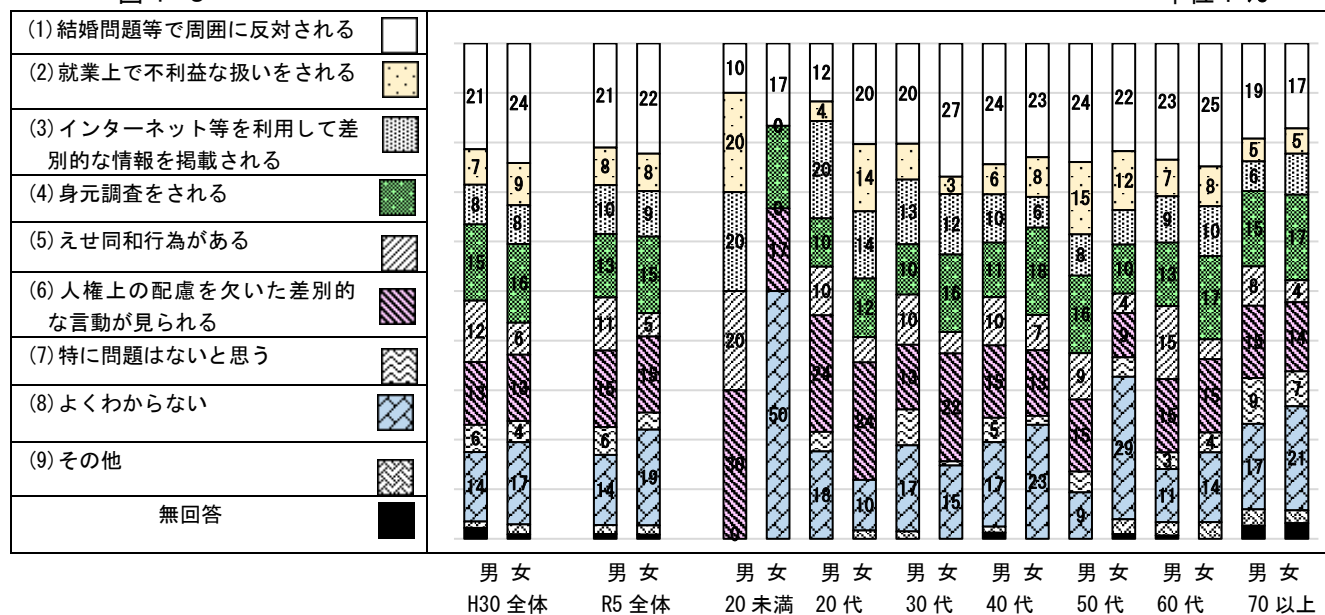
表 4-9 同和問題に関する人権上の問題点

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1)結婚問題等で周囲に反対される	288	22	128	21	156	22	4	17
(2)就業上で不利益な扱いをされる	101	8	46	8	53	8	2	9
(3)インターネット等を利用して差別的な 情報を掲載される	125	9	60	10	64	9	1	4
(4)身元調査をされる	192	14	78	13	108	15	6	26
(5)えせ同和行為がある	101	8	65	11	33	5	3	13
(6)人権上の配慮を欠いた差別的な 言動が見られる	204	15	94	15	108	15	2	9
(7)特に問題はないと思う	59	4	34	6	24	3	1	4
(8)よくわからない	225	17	86	14	135	19	4	17
(9)その他	24	2	11	2	13	2	0	0
無回答	12	1	6	1	6	1	0	0
計	1331	100	608	100	700	100	23	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1)結婚問題等で周囲に反対される	2	13	19	17	46	24	47	24
(2)就業上で不利益な扱いをされる	2	13	10	9	10	5	14	7
(3)インターネット等を利用して差別的な 情報を掲載される	2	13	18	16	23	12	15	8
(4)身元調査をされる	1	6	13	11	26	14	30	15
(5)えせ同和行為がある	2	13	8	7	12	6	16	8
(6)人権上の配慮を欠いた差別的な 言動が見られる	4	25	27	24	34	18	27	14
(7)特に問題はないと思う	0	0	2	2	6	3	6	3
(8)よくわからない	3	19	16	14	30	16	40	20
(9)その他	0	0	1	1	1	1	1	1
無回答	0	0	0	0	0	0	1	1
計	16	100	114	100	188	100	197	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1)結婚問題等で周囲に反対される	45	23	73	24	56	18	0	0
(2)就業上で不利益な扱いをされる	26	13	24	8	15	5	0	0
(3)インターネット等を利用して差別的な 情報を掲載される	15	8	30	10	22	7	0	0
(4)身元調査をされる	25	13	47	15	50	16	0	0
(5)えせ同和行為がある	13	7	30	10	20	6	0	0
(6)人権上の配慮を欠いた差別的な 言動が見られる	23	12	45	15	44	14	0	0
(7)特に問題はないと思う	8	4	11	4	26	8	0	0
(8)よくわからない	38	19	37	12	61	20	0	0
(9)その他	3	2	9	3	9	3	0	0
無回答	1	1	1	0	9	3	0	0
計	197	100	307	100	312	100	0	0

図 4-9

単位：％



同和問題に関する人権問題について、「結婚問題等で周囲に反対される」が22%

同和問題に関する人権上の問題点について、「結婚問題等で周囲に反対される」と回答した人の割合は22%（前回23%）と最も高く、次いで「よくわからない」（17%）（前回15%）、「人権上の配慮を欠いた差別的な言動が見られる」（15%）（前回13%）の順となっている。前回調査では、「身元調査をする」が2番目に高かったが、今回は「よくわからない」と回答した人の割合が高くなっている。

性別で比較すると、女性の方が「結婚問題等で周囲に反対される」（22%）、「身元調査をされる」（15%）、「よくわからない」（19%）と回答した人の割合が、男性の21%、13%、14%と比べて高くなっている。また、男性の方が「えせ同和行為がある」（11%）、「特に問題はないと思う」（6%）と回答した人の割合が、女性の5%、3%と比べて高くなっている。

年齢別で比較すると、「結婚問題等で周囲に反対される」と回答した人の割合は30～60代で23～24%と高くなっている。

(10) 同和問題を解決するために必要な方策

問 5(2) 同和問題を解決するために必要なことはどのようなことだと思いますか。
3 つまで選んでください。

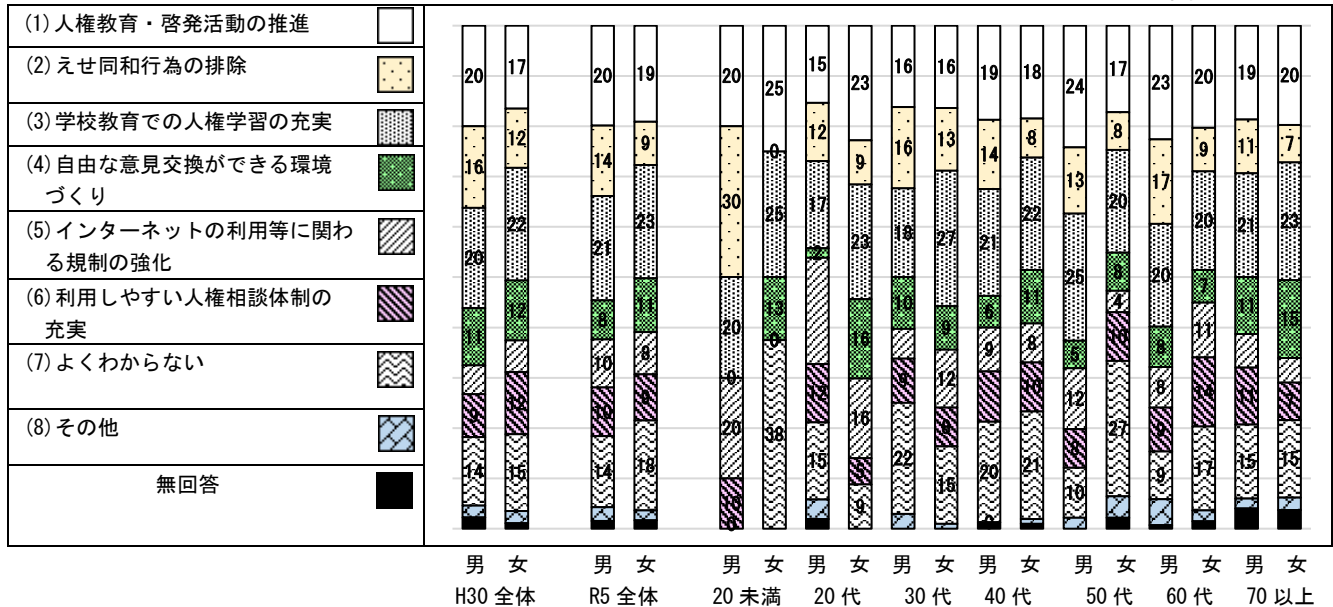
表 4 - 10 同和問題を解決するために必要な方策

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) 人権教育・啓発活動の推進	246	19	117	20	127	19	2	10
(2) えせ同和行為の排除	142	11	82	14	57	9	3	14
(3) 学校教育での人権学習の充実	276	22	122	21	150	23	4	19
(4) 自由な意見交換ができる環境づくり	122	10	46	8	71	11	5	24
(5) インターネットの利用等に関わる規制の強化	112	9	56	10	56	8	0	0
(6) 利用しやすい人権相談体制の充実	120	9	57	10	61	9	2	10
(7) よくわからない	206	16	83	14	119	18	4	19
(8) その他	30	2	16	3	13	2	1	5
無回答	20	2	9	2	11	2	0	0
計	1274	100	588	100	665	100	21	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1) 人権教育・啓発活動の推進	4	22	22	19	28	16	34	18
(2) えせ同和行為の排除	3	17	11	10	24	14	19	10
(3) 学校教育での人権学習の充実	4	22	24	21	41	24	40	22
(4) 自由な意見交換ができる環境づくり	1	6	12	10	16	9	16	9
(5) インターネットの利用等に関わる規制の強化	2	11	20	17	16	9	15	8
(6) 利用しやすい人権相談体制の充実	1	6	10	9	14	8	18	10
(7) よくわからない	3	17	13	11	32	18	38	21
(8) その他	0	0	2	2	3	2	2	1
無回答	0	0	1	1	0	0	2	1
計	18	100	115	100	174	100	184	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1) 人権教育・啓発活動の推進	38	21	60	21	60	19	0	0
(2) えせ同和行為の排除	19	10	37	13	29	9	0	0
(3) 学校教育での人権学習の充実	42	23	56	20	69	22	0	0
(4) 自由な意見交換ができる環境づくり	12	7	21	7	44	14	0	0
(5) インターネットの利用等に関わる規制の強化	15	8	26	9	18	6	0	0
(6) 利用しやすい人権相談体制の充実	16	9	32	11	29	9	0	0
(7) よくわからない	34	18	37	13	49	15	0	0
(8) その他	6	3	10	4	7	2	0	0
無回答	2	1	3	1	12	4	0	0
計	184	100	282	100	317	100	0	0

図 4-10

単位：％



同和問題を解決するために必要なことについて、「学校教育での人権学習の充実」22%、次いで、「人権教育・啓発活動の推進」が19%

同和問題を解決するために必要なことについて、「学校教育での人権学習の充実」と回答した人の割合は22%（前回 21%）と最も高く、次いで「人権教育・啓発活動の推進」（19%）（前回 18%）、「よくわからない」（16%）（前回 15%）、「えせ同和行為の排除」（11%）（前回 14%）の順となっている。これは前回調査とほぼ同様の傾向となっている。

性別で比較すると、女性の方が「学校教育での人権学習の充実」（23%）、「自由な意見交換ができる環境づくり」（11%）「よくわからない」（18%）と回答した人の割合が、男性の 21%、8%、14%と比べて高くなっている。

(11) 外国人に関しての人権問題

問 6 あなたは在住外国人に関して、現在どのような人権上の問題があると思いますか。3つまで選んでください。

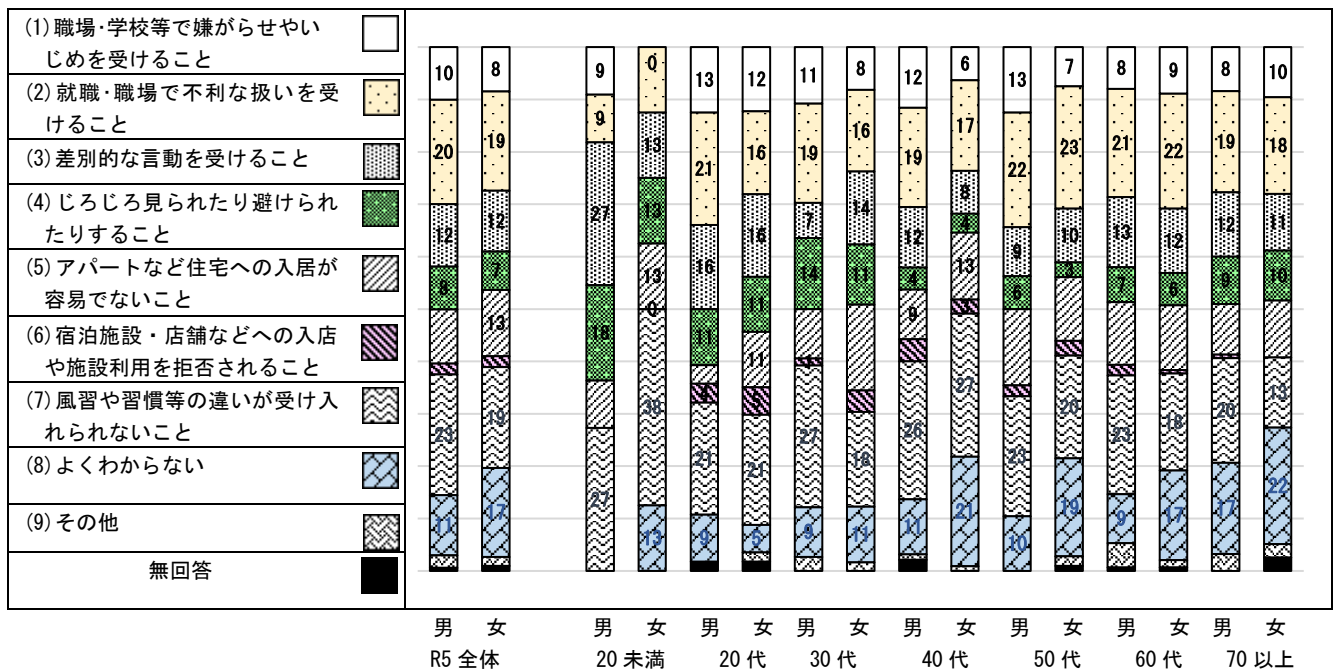
表 4-11 外国人に関しての人権問題

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) 職場・学校等で嫌がらせやいじめを受けること	125	9	64	10	60	8	1	5
(2) 就職・職場で不利な扱いを受けること	265	19	127	20	134	19	4	20
(3) 差別的な言動を受けること	161	12	76	12	82	12	3	15
(4) じろじろ見られたり避けられたりすること	105	8	52	8	52	7	1	5
(5) アパートなど住宅への入居が容易でないこと	155	11	66	10	89	13	0	0
(6) 宿泊施設・店舗などへの入店や施設利用を拒否されること	28	2	13	2	15	2	0	0
(7) 風習や習慣等の違いが受け入れられないこと	290	21	147	23	136	19	7	35
(8) よくわからない	197	14	73	11	120	17	4	20
(9) その他	27	2	15	2	12	2	0	0
無回答	11	1	4	1	7	1	0	0
計	1364	100	637	100	707	100	20	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1) 職場・学校等で嫌がらせやいじめを受けること	1	5	15	13	18	9	18	9
(2) 就職・職場で不利な扱いを受けること	2	11	23	19	34	17	37	18
(3) 差別的な言動を受けること	4	21	20	17	23	12	20	10
(4) じろじろ見られたり避けられたりすること	3	16	12	10	25	13	8	4
(5) アパートなど住宅への入居が容易でないこと	2	11	8	7	27	14	23	11
(6) 宿泊施設・店舗などへの入店や施設利用を拒否されること	0	0	5	4	6	3	7	3
(7) 風習や習慣等の違いが受け入れられないこと	6	32	25	21	42	21	57	28
(8) よくわからない	1	5	8	7	21	11	33	16
(9) その他	0	0	1	1	4	2	2	1
無回答	0	0	2	2	0	0	2	1
計	19	100	119	100	200	100	207	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1) 職場・学校等で嫌がらせやいじめを受けること	20	10	25	8	28	9	0	0
(2) 就職・職場で不利な扱いを受けること	46	23	64	21	59	19	0	0
(3) 差別的な言動を受けること	20	10	38	13	36	11	0	0
(4) じろじろ見られたり避けられたりすること	9	4	19	6	29	9	0	0
(5) アパートなど住宅への入居が容易でないこと	27	13	36	12	32	10	0	0
(6) 宿泊施設・店舗などへの入店や施設利用を拒否されること	5	2	4	1	1	0	0	0
(7) 風習や習慣等の違いが受け入れられないこと	43	21	64	21	53	17	0	0
(8) よくわからない	30	15	40	13	64	20	0	0
(9) その他	2	1	9	3	9	3	0	0
無回答	1	0	2	1	4	1	0	0
計	203	100	301	100	315	100	0	0

図 4-11

単位：％



在住外国人に関する人権問題について、「風習や習慣等の違いが受け入れられないこと」が21%

外国人に関する人権上の問題について、「風習や習慣等の違いが受け入れられないこと」と回答した人の割合は21%、次いで、「就職・職場で不利な扱いを受けること」が19%であった。

性別で見ると、「風習や習慣等の違いが受け入れられないこと」では、男性が23%、女性が19%であった。

年齢で比較すると、「就職・職場で不利な扱いを受けること」と回答した人の割合が50代、60代で23%、21%と高くなっている。

(12) 多様な性に関しての人権問題

問7 あなたは体と心の性別に違和感がある人や、性的指向等に関し、現在どのような人権上の問題が起きていると思いますか。 3つまで選んでください。

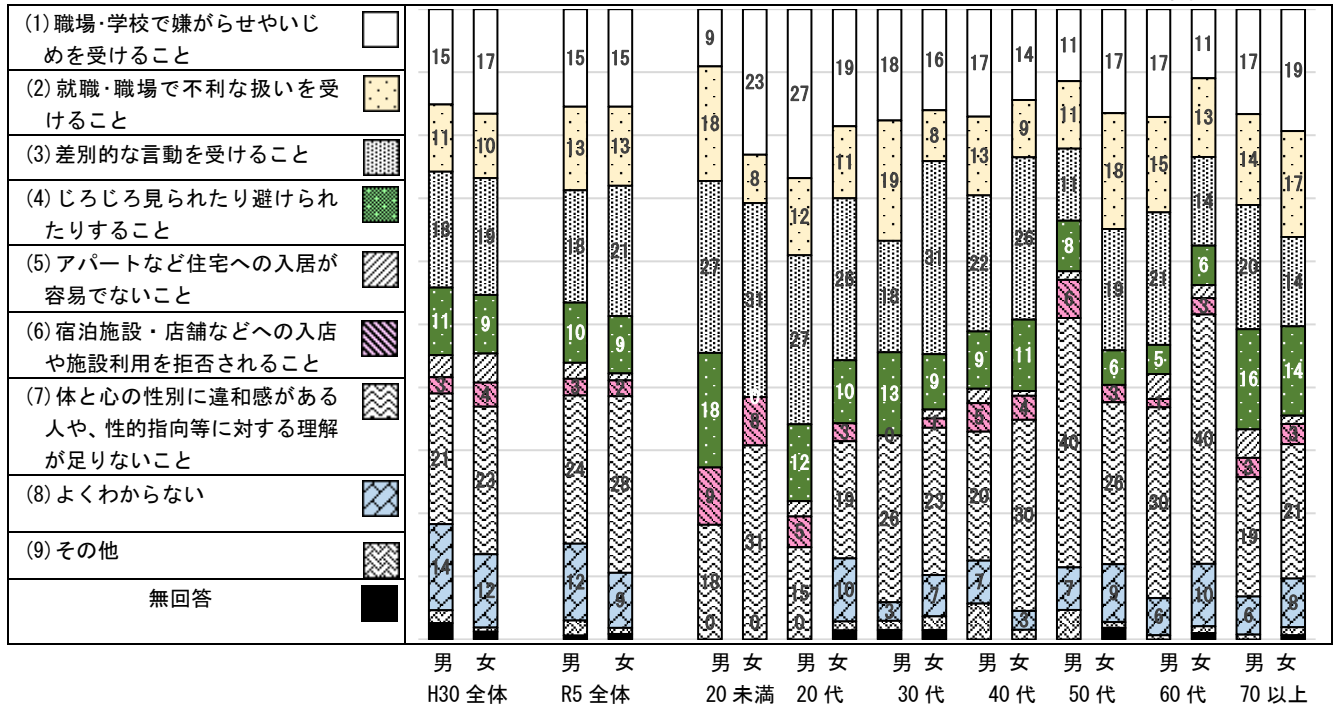
表4-12 多様な性に関しての人権問題

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) 職場・学校で嫌がらせやいじめを受けること	234	15	104	15	126	15	4	15
(2) 就職・職場で不利な扱いを受けること	194	13	89	13	102	13	3	11
(3) 差別的な言動を受けること	293	19	120	18	168	21	5	19
(4) じろじろ見られたり避けられたりすること	142	9	64	10	74	9	4	15
(5) アパートなど住宅への入居が容易でないこと	27	2	17	3	9	1	1	4
(6) 宿泊施設・店舗などへの入店や施設利用を拒否されること	38	3	18	3	20	2	0	0
(7) 体と心の性別に違和感がある人や、性的指向等に対する理解が足りないこと	392	26	158	24	228	28	6	22
(8) よくわからない	156	10	82	12	71	9	3	11
(9) その他	25	2	16	2	8	1	1	4
無回答	11	1	4	1	7	1	0	0
計	1512	100	672	100	813	100	27	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1) 職場・学校で嫌がらせやいじめを受けること	4	17	25	19	35	16	35	14
(2) 就職・職場で不利な扱いを受けること	3	13	13	10	24	11	23	9
(3) 差別的な言動を受けること	7	29	31	24	55	25	55	23
(4) じろじろ見られたり避けられたりすること	2	8	13	10	22	10	23	9
(5) アパートなど住宅への入居が容易でないこと	0	0	1	1	2	1	4	2
(6) 宿泊施設・店舗などへの入店や施設利用を拒否されること	2	8	2	2	9	4	5	2
(7) 体と心の性別に違和感がある人や、性的指向等に対する理解が足りないこと	6	25	32	24	59	26	76	31
(8) よくわからない	0	0	9	7	10	4	19	8
(9) その他	0	0	3	2	7	3	2	1
無回答	0	0	2	2	0	0	2	1
計	24	100	131	100	223	100	244	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1) 職場・学校で嫌がらせやいじめを受けること	35	16	48	15	52	15	0	0
(2) 就職・職場で不利な扱いを受けること	36	16	50	15	45	13	0	0
(3) 差別的な言動を受けること	38	17	59	18	48	14	0	0
(4) じろじろ見られたり避けられたりすること	18	8	21	6	43	12	0	0
(5) アパートなど住宅への入居が容易でないこと	2	1	10	3	8	2	0	0
(6) 宿泊施設・店舗などへの入店や施設利用を拒否されること	9	4	6	2	5	1	0	0
(7) 体と心の性別に違和感がある人や、性的指向等に対する理解が足りないこと	58	26	88	27	73	21	0	0
(8) よくわからない	20	9	35	11	63	18	0	0
(9) その他	3	1	6	2	4	1	0	0
無回答	1	0	2	1	4	1	0	0
計	220	100	325	100	345	100	0	0

図 4-12

単位：％



多様な性に関しての人権問題について、「体と心の性別に違和感がある人や、性的指向等に対する理解が足りないこと」が26%、「差別的な言動を受けること」が19%

多様な性に関する人権上の問題について、「体と心の性別に違和感がある人や、性的指向等に対する理解が足りないこと」と回答した人の割合は26%(前回22%)と最も高く、次いで「差別的な言動を受けること」19%(前回19%)、「職場・学校で嫌がらせやいじめを受けること」(15%)(前回16%)の順となっている。これは、前回と同様の傾向を示している。

性別では、「差別的な言動を受けること」(男性18%、女性21%)、「体と心の性別に違和感がある人や、性的指向等に対する理解が足りないこと」(男性24%、女性28%)が女性の割合が高くなっている。

年齢別で比較すると、「差別的な言動を受けること」と回答した人の割合は、10代から40代の、23～29%に対し、50代から70代は、14%～18%と、年齢の高い年代が低くなっている。「体と心の性別に違和感がある人や、性的指向等に対する理解が足りないこと」と回答した人は、どの年代でも高くなっている。

(13) インターネットに関しての人権問題

問 8 あなたは、インターネット上で、人権に関し現在どのような問題が起きていると思いますか。 3つまで選んでください。

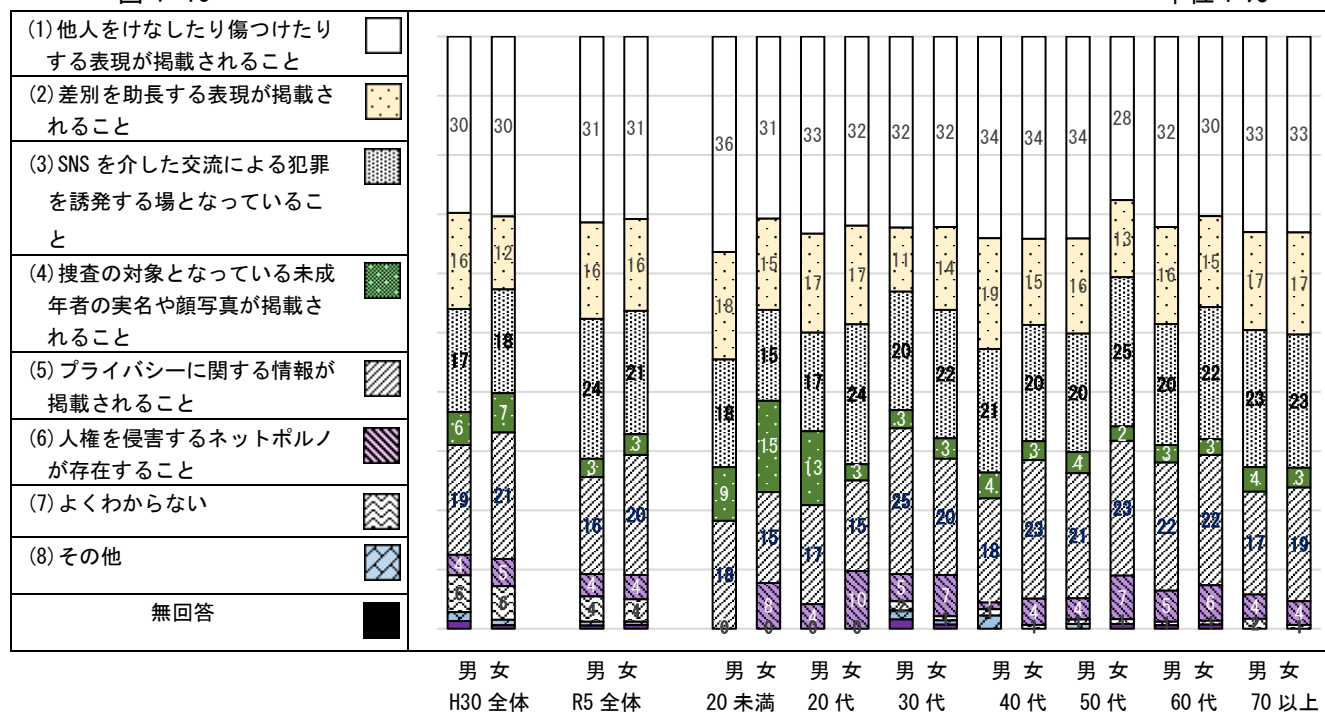
表 4 - 13 インターネットに関しての人権問題

単位：人、%

全体・性別	全体		男性		女性		性別不明	
(1) 他人をけなしたり傷つけたりする表現が掲載されること	545	31	242	31	292	31	11	31
(2) 差別を助長する表現が掲載されること	277	16	125	16	147	16	5	14
(3) SNS を介した交流による犯罪を誘発する場となっていること	386	22	182	24	197	21	7	20
(4) 捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されること	58	3	24	3	33	3	1	3
(5) プライバシーに関する情報が掲載されること	326	19	126	16	192	20	8	23
(6) 人権を侵害するネットポルノが存在すること	70	4	29	4	39	4	2	6
(7) よくわからない	70	4	33	4	36	4	1	3
(8) その他	10	1	5	1	5	1	0	0
無回答	10	1	4	1	6	1	0	0
計	1752	100	770	100	947	100	35	100
年齢別	18-19 歳		20-29 歳		30-39 歳		40-49 歳	
(1) 他人をけなしたり傷つけたりする表現が掲載されること	8	33	46	32	87	34	91	30
(2) 差別を助長する表現が掲載されること	4	17	20	14	41	16	46	15
(3) SNS を介した交流による犯罪を誘発する場となっていること	4	17	31	22	51	20	67	22
(4) 捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されること	3	13	5	3	9	4	8	3
(5) プライバシーに関する情報が掲載されること	4	17	28	20	54	21	66	22
(6) 人権を侵害するネットポルノが存在すること	1	4	10	7	9	4	18	6
(7) よくわからない	0	0	1	1	2	1	2	1
(8) その他	0	0	1	1	2	1	0	0
無回答	0	0	1	1	0	0	2	1
計	24	100	143	100	255	100	300	100
年齢別	50-59 歳		60-69 歳		70 歳以上		年齢不明	
(1) 他人をけなしたり傷つけたりする表現が掲載されること	90	33	120	32	103	27	0	0
(2) 差別を助長する表現が掲載されること	46	17	64	17	56	15	0	0
(3) SNS を介した交流による犯罪を誘発する場となっていること	62	23	88	24	83	22	0	0
(4) 捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されること	10	4	7	2	16	4	0	0
(5) プライバシーに関する情報が掲載されること	50	18	69	18	55	14	0	0
(6) 人権を侵害するネットポルノが存在すること	11	4	8	2	13	3	0	0
(7) よくわからない	3	1	15	4	47	12	0	0
(8) その他	0	0	2	1	5	1	0	0
無回答	0	0	1	0	6	2	0	0
計	272	100	374	100	384	100	0	0

図 4-13

単位：％



インターネット上での人権問題について、「他人をけなしたり傷つけたりする表現が掲載されること」が31%

インターネット上での人権問題について、「他人をけなしたり傷つけたりする表現が掲載されること」と回答した人の割合が31%(前回30%)と最も高く、次いで「SNS を介した交流による犯罪を誘発する場となっていること」(22%)(前回17%)、「プライバシーに関する情報が掲載されること」(19%)(前回20%)の順となっている。

性別では、性差による意識の差はほとんどの項目で見られなかったが、「プライバシーに関する情報が掲載されること」と回答した人の割合は、男性が16%、女性が20%と差があった。

5 その他

その他(人権に関わる意見・感想があれば記述してください。)

人権に関する意見・感想を自由回答方式で書いた結果をまとめると、104 名(14.6%)が、なんらかの意見・感想を述べている。前回調査の 212 名(30.5%)から半減したが、前々回は 125 名(14.2%)程度であった。「人権教育・啓発の基盤に関する意見」をはじめとして、「社会の人権状況に関する意見」「人権教育・啓発のあり方及びその進め方に関する意見」「様々な人権課題に関する意見」「人権に関する意識調査票に関する意見や感想」など、多岐にわたっている。比較的まとまったテーマごとに列記すると、以下のとおりである。

コロナに関する内容、LGBT 理解増進法等性の多様性、SNS やインターネットによる被害など、社会情勢の変化による意見が出ていることは、前回の調査時と大きく違う点になっている。

※()の数字は、件数

■人権教育・啓発の基盤に関する意見

- 「人権は最優先課題、永遠の課題として取り組むべき」(6)
- 「子どもを心豊かに育てるには、地域や家庭での話し合いが一番」(5)
- 「教育委員会、警察で子どもの人権を守る取り組みを望んでいる」(3)
- 「粘り強く教育・啓発活動を推進すること」(1)
- 「法の整備を望む」(1)
- 「所得に関わる貧富の差が根幹にある」(3)

■社会の人権状況に関する意見や感想

- 「スマートフォン、SNS 等による誹謗・中傷については社会で取り組む問題」(3)
- 「無関心さも必要。ただし、人間として認める意識が大切」(1)
- 「メディアを含めて、社会自体が、差別を助長している」(6)
- 「赤磐市で高齢者問題や啓発活動を真剣に行ってほしい」(2)
- 「いじめ問題などについてのバックグラウンドの知識が乏しい」(2)
- 「地域の閉鎖的な人間関係に苦慮している。ネットでの批判や陰口が辛い」(3)

■人権教育・啓発のあり方及びその進め方に関する意見や感想

- 「学校・企業・団体等で人権について考える機会を増やしてほしい」(2)
- 「学校での教育・啓発を充実してほしい」(7)
- 「SNS、インターネット、スマートフォン、ゲームによる差別の改善を望む」(3)
- 「偏見解消には、幼児の頃からの学びが必要。学校教育に期待する」(3)
- 「コロナへの対応が差別を生む」(1)
- 「LGBT 法成立による被害を懸念」(1)
- 「大人社会のいじめを考えるべき」(1)
- 「外国人差別について考えるべき」(3)
- 「ポスターやパンフレットには期待していない」(1)
- 「何もかもハラスメントの一言で処理されるため、注意出来ない環境にある」(1)
- 「差別解消の大義名分で極左活動を容認しないでほしい」(1)
- 「人権と平等、区別と差別が混在している」(1)

■ 様々な人権課題に関する意見や感想

● 「多様な性」について

「性別よりも人間としての理解を深めるべき」(2)

「性の問題は個人情報保護の観点で難しいと思う」(1)

● 「インターネットによる人権侵害」について

「インターネット上の人権を尊重しない書き込みの多さについて心配している」(2)

「インターネット規制を望む」(1)

● 「障害のある人」について

「障害者が守られていない。安心して暮らせる社会を望む」(2)

「交流しやすい環境づくりを希望する」(2)

● 「同和問題」について

「同和問題解決のため、継続して取り組む問題である。」(1)

「同和問題は、それを知らせるから差別や偏見が生まれてくると思う」(1)

「同和問題が今なお語られているのに驚かされる」(1)

● 「子ども」について

「ヤングケアラーの支援をお願いしたい」(1)

● その他

「不登校、非行、学力低下などを心配している。家庭や教員は、しっかりと子どもと向き合って対話をする
ことが大切だ」(2)

■ 人権に関する意識調査票記述中の意見や感想

「改めて人権について考えようと思った」(3)

「高齢であまり考えられない」(1)

「高齢者を守ろうとしているが、私は近所の高齢者に暴言を受けている。高齢者も個人情報やプライバシー
保護について、配慮すべきである」(2)

「片親で育った経験、近所の商業施設で受けた暴言、障害者として不便さを感じる」(3)

「アンケート項目が多すぎる、質問が難しい」(7)

「生きる意味を考えた。思いやりの心を再認識できた」(4)

「高齢者は同和の知識を学んでいない。噂のみの知識である」(1)

「人権カレンダーの取組みは続けてほしい」(1)

人権に関する意識調査票

【回答上の注意点】

- ※ 回答は、調査票の番号を○印で囲んでください。
- ※ 質問により、回答していただく内容が異なりますのでご注意ください。
- ※ 「3つまで選んでください」とは、1つ、2つの回答でも構いません。

I 属性について

問1 あなたの性別は

- | | | |
|-----|-----|----------|
| 1 男 | 2 女 | 3 答えたくない |
|-----|-----|----------|

問2 あなたの^{ねんれい}年齢は

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1 20歳未満 | 2 20～29歳 | 3 30～39歳 |
| 4 40～49歳 | 5 50～59歳 | 6 60～69歳 |
| 7 70歳以上 | | |

II 人権^{ぜんぱん}全般に対する意識について

問1 あなたは、基本的な人権は^{おか}侵すことのできない永久の権利として憲法で保障されていることを知っていますか。

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問2 今の社会は、「人権」が尊重されている社会だと思いますか。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 そう思わない |

問3 あなたは、「人権」について、ふだんどのように思っていますか。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 非常に大切なことだと思っている | 2 大切だと思っている |
| 3 あまり意識していない | 4 自分には関わりがないと思っている |
| 5 よくわからない | |

問4 子どもたちが支える未来は、「人権」が尊重される明るい社会になっていくと思いますか。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 そう思わない |

問5 差別や偏見^{へんけん}はなくなるとよく言われますが、どう思いますか。

- 1 なくなっていくと思う
- 2 学習することによってなくなっていくと思う
- 3 どちらかといえばなくなっていくと思う
- 4 なくなっていくと思う
- 5 その他 ()

問6 人権に関する学習をどう思いますか。

- | | |
|-----------------|------------|
| 1 大切な学習なので関心がある | 2 あまり関心はない |
| 3 学習の必要性を感じない | 4 よくわからない |
| 5 その他 (|) |

問7 今まで学習してきた人権学習を通じて、あなた自身に何か変化がありましたか。
^{がいとう}該当するもの^きすべてを選んでください。

- 1 自分が大切であると同時に他の人も大切であるとの思いが高まった
- 2 多様な人々との違いを尊重しあうことが大切だと思うようになった
- 3 人の意見をしっかり聴けるようになった
- 4 社会の出来事に関心が向くようになった
- 5 日常生活において、人権の視点から考えることが多くなった
- 6 今後も継続^{けいぞく}して学習する必要があると思うようになった
- 7 あまり変化はなかった
- 8 人権に関する学習はあまりやっていない
- 9 よくわからない
- 10 その他 ()

問8 あなたの周りでは、個人の考え方や生き方が大切にされていると思いますか。

- 1 大切にされていると思う
- 2 どちらかといえば大切にされていると思う
- 3 どちらかといえば大切にされていないと思う
- 4 大切にされていないと思う
- 5 よくわからない
- 6 その他 ()

Ⅲ 人権問題への対応について

問1 次の人権課題について、あなたの関心がある人権問題は何ですか。
 該当するものをすべて選んでください。

1 女性	2 子ども
3 高齢者	4 障害のある人
5 同和問題	6 外国人
7 ハンセン病問題	8 患者等（エイズ・H I V感染）
9 インターネットによる人権侵害	10 プライバシーの侵害
11 消費生活上の問題	12 犯罪被害者等
13 刑を終えて出所した人	
14 多様な性（体と心の性別に違和感がある人・性的指向）	
15 帰国した中国残留邦人とその家族	
16 ホームレス（路上生活者）	17 北朝鮮当局による拉致の問題
18 自殺対策	19 人身取引
20 アイヌの人々への偏見や差別	21 その他（ ）

※エイズ：ヒト免疫不全ウイルスに感染することによって、免疫機能が破壊される病気

※H I V感染：ヒト免疫不全ウイルスの感染者

※性的指向：異性愛、同性愛、両性愛等、人の性愛がどういう対象に向かうかを示す考え方

※同和問題：日本社会の歴史的過程で形づくられた身分制度に起因する差別で、我が国固有の人権問題

問2 あなたは差別や人権侵害を受けたと感じたことがありますか。

1 感じたことがある	2 感じたことはない	3 よくわからない
------------	------------	-----------

問3 問2で「感じたことがある」と回答された方は、どのようなことで人権が侵害されたと感じましたか。 該当するものをすべて選んでください。

1 あらぬ噂、他人からの悪口	2 名誉・信用のき損、侮辱
3 プライバシーの侵害	4 ハラスメント
5 ストーカー行為	6 警察官、公務員等による不当な扱い
7 地域などでの差別待遇	8 暴力・脅迫・強要など
9 インターネット等での悪質な書き込みや嫌がらせ	
10 労働強制や解雇等の不当な待遇	
11 公共機関や社会福祉施設等での不当な扱い	
12 その他（ ）	

※ハラスメント：嫌がらせ（セクハラ、パワハラなど）

問4 問2で「感じたことがある」と回答された方で、そのときあなたはどうされましたか。
該当するものをすべて選んでください。

- 1 友だち・同僚・家族などに相談した
- 2 職場の上司に相談した
- 3 公共機関（警察・市役所・法務局・県など）に相談した
- 4 人権擁護委員・民生委員・弁護士などに相談した
- 5 自分で抗議し処理（解決）した
- 6 何もしないで、我慢した
- 7 その他（ ）

問5 もし、あなたの人権が侵害された場合、どのような対応をしますか。
1つだけ選んでください。

- | | |
|------------------|-----------|
| 1 自分で抗議し処理（解決）する | 2 人に相談する |
| 3 何もしないで我慢する | 4 よくわからない |
| 5 その他（ ） | |

問6 あなたは、他の人の人権を尊重していると思いますか。

- | | |
|--------------|------------------|
| 1 尊重している | 2 どちらかといえば尊重している |
| 3 あまり尊重していない | 4 尊重していない |
| 5 その他（ ） | |

問7 あなたは、今までに、他の人の人権を侵害したことがあると思いますか。

- | | |
|---------|-------------------------|
| 1 ないと思う | 2 自分では気づかなかったが、あるかもしれない |
| 3 あると思う | 4 よくわからない |

問8 あなたは人権について、家族や知人と話すことがありますか。

- | | | | |
|--------|---------|----------|------|
| 1 よくある | 2 たまにある | 3 ほとんどない | 4 ない |
|--------|---------|----------|------|

問9 人権問題の解決のために、どのような方策が有効だと思いますか。
3つまで選んでください。

- 1 学校や地域における人権教育の充実
- 2 人権が侵害された場合の救済・支援の充実
- 3 人権課題に対する専門の相談機関の充実
- 4 教職員・行政など人権教育に関わりの深い職業に従事する人の人権意識の高揚
- 5 人権に関する情報の収集及び提供等の充実
- 6 人権意識を高めるための市民・企業などへの啓発の充実
- 7 その他（ ）

問 10 人権問題の解決のために、どのような教育・啓発活動が効果的だと思いますか。
3つまで選んでください。

- 1 人権のつどい、フォーラムなどの市民集会の開催
- 2 講師を依頼しての講演会や研修会の開催
- 3 作文・ポスター・標語の募集と活用（カレンダー作成や作品展）
- 4 広報紙やパンフレットを使っでの啓発活動
- 5 ハンセン病の患者や障害のある人等との交流・疑似体験
- 6 啓発映画の視聴と話し合い
- 7 インターネットの活用（ホームページ等での啓発活動）
- 8 その他（ ）

IV 赤磐市の人権に対する取り組みについて

問 1 赤磐市の「人権教育・啓発推進計画」があることを知っていますか。

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問 2 赤磐市の「男女共同参画基本計画」があることを知っていますか。

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問 3 あなたは、これまでに赤磐市が実施している人権に関するつどい・講演会・研修会・講座等に参加したことがありますか。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 よく参加している | 2 ときどき参加している |
| 3 参加したことはない | |

問 4 講演会・研修会・講座等に参加しなかった理由は何ですか。問 3 で参加したことはないと回答した方のみ（3 番の回答者）お答えください。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 人権問題はよく理解できている | 2 参加したかったが時間がなかった |
| 3 講演会等の開催を知らなかった | 4 人権問題には関心がない |
| 5 特に理由はない | |

問 5 赤磐市では、人権カレンダーを全戸に配布していますが、家庭内に掲示し、活用していますか。

- | | |
|--------------|--|
| 1 掲示して活用している | |
| 2 掲示していない | |
| 3 その他（ ） | |

問6 人権作文・ポスター・標語を募集し、優秀作品を表彰したり、作品展を開催したりしていますが、ご覧になったことはありますか。

1 ある 2 ない 3 その他（ ）

問7 市民一人ひとりの人権を尊重しあうために、心がけたり行動したりすべきことはどのようなことだと思いますか。 3つまで選んでください。

- 1 人権に対する正しい知識を身につけること
- 2 自分の生活している地域の人々を大切にすること
- 3 しきたりや誤った固定観念にとらわれないこと
- 4 自分の権利ばかりでなく、他人の権利も尊重すること
- 5 家庭内での話し合いやお互いの権利を大切にすること
- 6 職場で人権を尊重する意識を高めあうこと
- 7 地域活動等へ積極的に参加すること
- 8 その他（ ）

V さまざまな人権課題の意識や考え方について

問1 女性に関して

（1）あなたは女性に関して、現在どのような人権上の問題があると思いますか。
3つまで選んでください。

- 1 男女の固定的な役割分担意識（男は仕事、女は家庭など）
- 2 職場における差別待遇（賃金、昇給、昇格、職種など）
- 3 痴漢やストーカーなど性的暴力
- 4 職場や学校におけるハラスメント
- 5 夫や恋人からの肉体的・精神的な暴力（DV）
- 6 いわゆる「援助交際」を含む買春・売春
- 7 特に問題はないと思う
- 8 その他（ ）

（2）女性の人権を尊重するために必要なことはどのようなことだと思いますか。
3つまで選んでください。

- 1 各種審議会など市の政策決定の場における女性の登用
- 2 男女平等などの教育の充実
- 3 働く場での男女格差をなくすよう企業等への働きかけ
- 4 安心して働くための保育施設や制度の充実
- 5 女性のための各種相談業務の充実
- 6 健康対策や母性保護対策の推進
- 7 各種活動のリーダーとなる女性の養成
- 8 男性への啓発活動の推進
- 9 その他（ ）

問2 子どもに関して

- (1) あなたは子どもに関して、現在どのような人権上の問題があると思いますか。
3つまで選んでください。

- 1 「仲間はずれ」や相手を「無視する」などのいじめの問題
- 2 親が子育てを放棄したり、子どもに暴力を加えるなどの虐待の問題
- 3 子どもが学校に行けない不登校の問題
- 4 教職員等による体罰の問題
- 5 インターネットやスマートフォン、携帯電話の利用上の問題
- 6 障害のある子どもたちの学習環境の問題
- 7 児童買春や児童ポルノ等の性に関わる問題
- 8 ヤングケアラーの問題
- 9 特に問題はないと思う
- 10 その他 ()

※ヤングケアラー：本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども

- (2) 子どもの人権を尊重するために必要なことはどのようなことだと思いますか。
3つまで選んでください。

- 1 子どものための人権相談、カウンセリングの充実
- 2 子どもの人権を守るための教育・啓発活動の推進
- 3 子どもにとって有害な環境の浄化
- 4 家庭教育に対する支援の充実
- 5 教員の人間性や資質の向上
- 6 他人を思いやるなどの心を育てる教育の充実
- 7 たくましく生きていく力を身に付けさせるための体験の充実
- 8 いじめや非行、虐待の早期発見や予防対策の充実
- 9 その他 ()

問3 高齢者に関して

- (1) あなたは高齢者に関して、現在どのような人権上の問題があると思いますか。
3つまで選んでください。

- 1 就業が困難であったり、賃金などの労働条件が不利に扱われる
- 2 悪徳商法、振り込め詐欺被害
- 3 高齢者が暮らしやすい環境整備の問題
- 4 保健・福祉・医療サービスの問題
- 5 暴力をうけるなどの虐待
- 6 迷惑がられたり、中傷されたり、邪魔者扱いされる問題
- 7 経済的な保障が不十分（年金等）な問題
- 8 特に問題はないと思う
- 9 その他 ()

- (2) 高齢者こうれいしゃの人権を尊重するために必要なことはどのようなことだと思いますか。
3つまで選んでください。

- 1 高齢者こうれいしゃのための人権相談じゅうじつの充 実
- 2 福祉ふくしサービスや利用施設しせつの充 実
- 3 就業機会や働く場の確保
- 4 高齢者こうれいしゃと他の世代との異世代間交流そくしんの促進
- 5 高齢者こうれいしゃの人権を守るための教育・啓発活動けいはつの推進
- 6 保健・医療いりようサービスの充実
- 7 高齢者介護こうれいしゃかいごなどの支援しえんを社会全体で支える気運の高揚
- 8 その他 ()

問4 障害のある人に関して

- (1) あなたは障害のある人に関して、現在どのような人権上の問題があると思いますか。
3つまで選んでください。

- 1 結婚問題けっこんで周囲に反対される
- 2 就業上で不利益な扱いあつかいをされる
- 3 人権上はいいりよの配慮を欠いた差別的な言動がある
- 4 スポーツや文化活動、地域活動に気軽に参加できない
- 5 じろじろ見られたり、避けられたりする
- 6 人々の障害のある人に対する理解が足りない
- 7 学齢期がくれいきの子どもを中心に「いじめ」がある
- 8 特に問題はないと思う
- 9 その他 ()

- (2) 障害のある人の人権を尊重するために必要なことはどのようなことだと思いますか。
3つまで選んでください。

- 1 就業の機会や働く場の確保
- 2 障害のある人との交流そくしんの促進
- 3 障害のある人のための人権相談じゅうじつの充 実
- 4 建物や公共機関のバリアフリー化の推進
- 5 障害のある人の人権を守る教育・啓発活動けいはつの推進
- 6 本人の意思に基づいて生活できるようにするための支援しえん
- 7 医療いりようやリハビリテーションじゅうじつの充 実
- 8 早い時期からの障害のある人に対する理解を深める教育の実施
- 9 その他 ()

問5 同和問題に関して

- (1) あなたは同和問題に関して、現在どのような人権上の問題があると思いますか。
3つまで選んでください。

- 1 結婚^{けっこん}問題等で周囲に反対される
- 2 就業^{あつか}上で不利益な扱いをされる
- 3 インターネット等を利用して差別的な情報^{けいさい}を掲載される
- 4 身元調査をされる
- 5 えせ同和行為^{こうい}がある
- 6 人権^{はいりよ}上の配慮を欠いた差別的な言動が見られる
- 7 特に問題はないと思う
- 8 よくわからない
- 9 その他 ()

- (2) 同和問題を解決するために必要なことはどのようなことだと思いますか。
3つまで選んでください。

- 1 人権教育・啓発^{けいはつ}活動の推進
- 2 えせ同和行為^{こうい はいじよ}の排除
- 3 学校教育での人権学習^{じゅうじつ}の充実
- 4 自由な意見交換^{こうかん}ができる環境^{かんきょう}づくり
- 5 インターネットの利用等に関わる規制の強化
- 6 利用しやすい人権相談^{じゅうじつ}体制の充実
- 7 よくわからない
- 8 その他 ()

問6 外国人に関して

- あなたは在住外国人に関して、現在どのような人権上の問題があると思いますか。
3つまで選んでください。

- 1 職場・学校等で嫌^{いや}がらせやいじめを受けること
- 2 就職・職場で不利^{あつか}な扱いを受けること
- 3 差別的な言動を受けること
- 4 じろじろ見られたり避け^さられたりすること
- 5 アパートなど住宅への入居が容易でないこと
- 6 宿泊施設・店舗^{しゅくはくしせつ てんぽ}などへの入店や施設利用^{しせつ きょひ}を拒否されること
- 7 風習や習慣^{ちが}等の違いが受け入れられないこと
- 8 よくわからない
- 9 その他 ()

問7 多様な性に関して

あなたは体と心の性別に違和感^{いわかん}がある人や、性的指向等に関し、現在どのような人権上の問題が起きていると思いますか。 3つまで選んでください。

- 1 職場・学校で嫌がらせ^{いや}やいじめを受けること
- 2 就職・職場で不利な扱い^{あつか}を受けること
- 3 差別的な言動を受けること
- 4 じろじろ見られたり避け^さられたりすること
- 5 アパートなど住宅への入居が容易でないこと
- 6 宿泊施設^{しゅくはくしせつ}・店舗^{てんぽ}などへの入店^{しせつ}や施設利用^{きよひ}を拒否されること
- 7 体と心の性別に違和感^{いわかん}がある人や、性的指向等に対する理解が足りないこと
- 8 よくわからない
- 9 その他（ ）

問8 インターネットに関して

あなたは、インターネット上で、人権に関し現在どのような問題が起きていると思いますか。 3つまで選んでください。

- 1 他人をけなしたり傷つけたりする表現^{けいさい}が掲載されること
- 2 差別を助長する表現^{けいさい}が掲載されること
- 3 SNSを介した交流による犯罪を誘発^{ゆうはつ}する場となっていること
- 4 捜査^{そうさ}の対象となっている未成年者の実名や顔写真^{けいさい}が掲載されること
- 5 プライバシーに関する情報^{けいさい}が掲載されること
- 6 人権を侵害^{しんがい}するネットポルノが存在すること
- 7 よくわからない
- 8 その他（ ）

※SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）：インターネット上で人と人がつながりを持つことができるサービスであり、友人同士やまったく知らない人とコミュニケーションを取ることができる。

VI その他（人権に関わる意見・感想があれば記述してください。）

ご協力ありがとうございました。